

# 事務事業評価シート（1/2）

679 頁  
令和 5年 9月 5日

整理番号 0227  
 評価年度 令和 4年度  
 所属 2455  
 事務事業番号 01435

進捗区分 所属評価  
 教育委員会教職員室  
 教職員健康診断事業

所属長名 杉江 薫  
 記入者 杉江 薫

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	001	子どもの未来が輝くまちにします				
施策	003	子どもの教育の充実				
取組の方向性	002	特色ある学校づくりの推進				
事務事業	001	教職員健康診断事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	その他					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			

根拠法令等	学保安法第15条施行規則第13条, 第14条, 労安衛法第66条の10					
事業概要	<p>(事業概要)</p> <p>学校保健安全法第15条に基づき、教職員の健康診断を、労働安全衛生法に基づきストレスチェックを実施することにより、教職員の健康管理、保持増進を図る。</p>					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	<p>(事業を取りまく社会環境)</p> <p>脳・血管・心臓疾患につながる内臓脂肪症候群等の所見を有する労働者が増加している。また、精神疾患による私傷病休暇取得者や病気休職者も一定数ある。</p> <p>(見直しや改善等の経過)</p> <p>平成21年度から夏季休業中の健診時期を変更、胃検診を同時受診とした。平成26年の労働安全衛生法一部改正に伴い、平成27年にストレスチェックが義務化、平成28年度からストレスチェックを実施している。</p>					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	県費教職員、市費教職員（胃部検診のみ）を対象
目的(何のために)	教職員の健康状況を把握し、自己管理および適切な治療等に役立て、教職員の健康管理に努めるため。
手段(どのようなやり方で)	教職員健康診断（全員対象）と胃検診（40歳以上の教職員）の実施と検診結果の把握を行う。
成果(どのような状態にするのか)	教職員の健康の保持・増進を図るとともに、子どもたちに接することに適した健康状態を保つ。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	17,544	15,444	19,128	20,023	20,023	20,023	20,023
事業費	15,624	13,458	17,142	18,037	18,037	18,037	18,037
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	15,624	13,458	17,142	18,037	18,037	18,037	18,037
人件費計	1,920	1,986	1,986	1,986	1,986	1,986	1,986
事務・技術(人)	0.24	0.24	0.24	0.24	0.24	0.24	0.24
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02
会計年度任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

# 事務事業評価シート（2/2）

680 頁  
令和 5年 9月 5日

整理番号 0227  
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 所属評価  
 所属 2455 教育委員会教職員室  
 事務事業番号 01435 教職員健康診断事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-50-30-05-16-00-22-00	教職員健康診断事業費	教育委員会教職員室

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)健康診断受診者 (県費教職員)	人	1,570.00	1,570.00	1,570.00	1,570.00	1,570.00	1,570.00	1,570.00
		1,640.00	1,653.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)ストレスチェックの受検率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		96.90	96.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)健康診断受診率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		99.33	97.68	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)高ストレス者の面談率	%	7.50	10.00	12.50	12.50	12.50	12.50	12.50
		2.70	2.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	学校保健安全法や労働安全衛生法に基づき実施の必要がある。		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	B
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	健康診断は夏季休業中の実施とし受診率の向上を図っている。		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	健康診断と胃部検診を同時に行い、効率的に実施できている。		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	疾病の早期発見や健康管理を促す指導につながっている。		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	健康診断事業については、受診率の向上に向けて効率的に進めることができた。今後は、法定の健康診断の項目外ではあるが、悪性新生物（がん）の早期発見のため、がん検診の受検についても啓発と勧奨を行っていく。また、ストレスチェック事業についても、受検率の向上に向けての取組や高ストレス判定者への面接指導機会の創出に関する工夫等、改善を図り実施した。今後、さらに、高ストレス判定者への面接率の向上に向け検討していく必要がある。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	本市教職員の健康管理事業を推進し、子供たちに接する業務に適した健康状態を教職員が保持するため、受診率向上に努める。		



# 事務事業評価シート（1/2）

682 頁  
令和 5年 9月 5日

整理番号 0228  
評価年度 令和 4年度  
所属 2455  
事務事業番号 02671

進捗区分 所属評価  
教育委員会教職員室  
教職員人事管理事業

所属長名 杉江 薫  
記入者 杉江 薫

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	001	子どもの未来が輝くまちにします				
施策	003	子どもの教育の充実				
取組の方向性	002	特色ある学校づくりの推進				
事務事業	008	教職員人事管理事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			

根拠法令等	大津市立小中学校教員不祥事防止対策検討委員会答申				
事業概要	<p>(事業概要)</p> <p>大津市立小中学校教職員による不祥事の防止に向け、外部専門家による大津市立小中学校教員不祥事防止対策検討委員会を設置し、具体的な対策について検討を行った。その答申を受け、市立小中学校教職員による不祥事を未然に防ぐために、弁護士や臨床心理士、精神科医等の専門家による研修を各校で実施し、教職員の規範意識や倫理観の向上、ストレスマネジメントや同僚性の醸成を図る。</p>				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	<p>(事業を取りまく社会環境)</p> <p>小中学校教職員に求められる規範意識や倫理観はきわめて高く、公私を問わず教職員の言動について児童生徒への影響は非常に大きい状況であることから、教職員の不祥事防止に関する取組は重要である。 (見直しや改善等の経過)</p> <p>平成28年度から実施の事業であるが、平成30年度には不祥事が複数発生したことから、教職員一人ひとりが自分事として捉えられる研修内容への変更と職階別、年齢別の研修を取り入れ、実施する必要がある。</p>				

【事業分析】	
対象(何又は誰を)	大津市立小中学校教職員を対象
目的(何のために)	大津市立小中学校教職員による不祥事を防止するため。
手段(どのようなやり方で)	弁護士や臨床心理士等の専門家を招聘した、不祥事撲滅研修を市立小中学校全校で実施する。
成果(どのような状態にするのか)	市立小中学校教職員が教育公務員としての崇高な使命と誇りを自覚し、規範意識や倫理観を向上するとともに、職場の同僚性を醸成する中で職員間の自浄機能を向上させ、教職員による不祥事を防止する。

【コスト】		(単位：千円)						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
		決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト		7,935	7,669	9,116	9,281	9,266	9,266	9,266
事業費		5,935	5,719	7,166	7,331	7,316	7,316	7,316
国庫支出金		0	0	0	0	0	0	0
県支出金		0	0	0	0	0	0	0
地方債		0	0	0	0	0	0	0
その他		0	0	0	0	0	0	0
一般財源		5,935	5,719	7,166	7,331	7,316	7,316	7,316
人件費計		2,000	1,950	1,950	1,950	1,950	1,950	1,950
事務・技術(人)		0.25	0.25	0.25	0.25	0.25	0.25	0.25
技能労務(人)		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託(人)		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費		0	0	0	0	0	0	0





# 事務事業評価シート（1/2）

685 頁  
令和 5年 9月 5日

整理番号 0229  
 評価年度 令和 4年度  
 所属 2402  
 事務事業番号 00072

進捗区分 所属評価  
 教育委員会学校教育課  
 学校支援総合推進事業〔小・中学校〕

所属長名 上杉 康晴  
 記入者 那須 朱里

## 【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	001	子どもの未来が輝くまちにします				
施策	003	子どもの教育の充実				
取組の方向性	002	特色ある学校づくりの推進				
事務事業	004	学校支援総合推進事業〔小・中学校〕				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			
根拠法令等	市実施要項					
事業概要	(事業概要) 地域・家庭・学校が目標を共有し、地域ぐるみで子どもの成長を支えるコミュニティ・スクールの実施・運営を推進するとともに、中学校区を単位とした校種を超えた連携を進め、子どもの育ちや学びの連続性を一層重視した一貫的な教育を行う。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 子どもたちの健全な育成、安心・安全な学校づくりのために、地域ぐるみで子どもを育てる体制や就学前から中学校卒業までを見通した一貫した教育課程の充実が求められている。新型コロナウイルスの影響により、外部人材の活用が難しい状況にあったが、令和4年度以降は制限が緩和傾向にある。 (見直しや改善等の経過) コミュニティ・スクール事業、保幼小中連携推進事業を学校支援総合推進事業に統合し、地域、家庭、学校の連携・協働を推進している。学校運営協議会の全校設置に向け、支援を行っている。					

## 【事業分析】

対象(何又は誰を)	市立55校を対象に
目的(何のために)	地域の学校園が連携し、家庭や地域社会との結びつきを深め、地域ぐるみで子どもの成長を支える体制をつくるため
手段(どのようなやり方で)	校種を超えた学校間での研修等の交流や地域ぐるみで子どもを育てる体制に対する支援を行うことで
成果(どのような状態にするのか)	地域・家庭・学校が連携・協働して教育活動の質を高める。

## 【コスト】

(単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	13,285	15,038	18,130	19,763	19,707	19,631	19,565
事業費	6,445	8,338	10,490	12,123	12,067	11,991	11,925
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	6,445	8,338	10,490	12,123	12,067	11,991	11,925
人件費計	6,840	6,700	7,640	7,640	7,640	7,640	7,640
事務・技術(人)	0.70	0.70	0.90	0.90	0.90	0.90	0.90
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.40	0.40	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

# 事務事業評価シート (2/2)

686 頁  
令和 5年 9月 5日

整理番号 0229  
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 所属評価  
 所属 2402 教育委員会学校教育課  
 事務事業番号 00072 学校支援総合推進事業〔小・中学校〕

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-50-05-15-30-00-01-00	学校支援総合推進事業費〔小・中学校〕	教育委員会学校教育課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)学校支援総合推進事業活動状況	回	1,100.00	1,100.00	1,100.00	1,100.00	1,100.00	1,100.00	1,100.00
		642.00	1,153.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)家庭・地域との連携に関する学校評価	点	2.80	2.80	2.80	2.80	2.80	2.80	2.80
		2.50	2.72	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
		評価理由	
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	B
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
		評価理由	
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
		評価理由	
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
		評価理由	
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	令和4年度は49校で学校運営協議会を設置し、地域・家庭・学校が連携・協働した活動を行った。令和5年度は53校で設置予定。令和6年度までに55校すべての市立小中学校で学校運営協議会を設置し、充実した活動ができるように支援する。学校運営協議会を早期に設置した学校については、これまでの取組を踏まえ、趣旨を再確認して改善を図っていく必要がある。また、昨年度と比べコロナによる制限緩和が進んだことで、活動数は指標の目標以上となり、家庭・地域との連携に関する学校評価も向上した。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	多くの学校において学校運営協議会を設置し、地域・家庭・学校が協働する体制づくりが進んでおり、さらに、学校運営協議会における議論や活動を活性化して、地域とともに子どもを支えていく体制の強化を図っていく。		



# 事務事業評価指標一覧

687 頁  
令和 5年 9月 5日

評価年度 令和 4年度 進捗区分 所属評価  
 所属 2402 教育委員会学校教育課  
 総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画  
 事務事業番号 00072 学校支援総合推進事業 [小・中学校]

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)学校支援総合推進事業活動状況	回	1,100.00	1,100.00	1,100.00	1,100.00	1,100.00	1,100.00	1,100.00
		642.00	1,153.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
指標説明		小・中55校における学校支援総合推進事業に関する活動回数						
(成果)家庭・地域との連携に関する学校評価	点	2.80	2.80	2.80	2.80	2.80	2.80	2.80
		2.50	2.72	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
指標説明		学校評価における各校の関係者評価結果の平均点。						

# 事務事業評価シート（1/2）

688 頁  
令和 5年 9月 5日

整理番号 0230  
 評価年度 令和 4年度  
 所属 2402  
 事務事業番号 00089

進捗区分 所属評価  
 教育委員会学校教育課  
 う歯歯周疾患等予防事業

所属長名 上杉 康晴  
 記入者 川原 綾子

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	001	子どもの未来が輝くまちにします				
施策	003	子どもの教育の充実				
取組の方向性	002	特色ある学校づくりの推進				
事務事業	014	う歯歯周疾患等予防事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	その他					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			

根拠法令等	学校保健安全法第14条					
事業概要	(事業概要) 児童生徒が、歯や口の健康上の問題を自分で考え、生涯を通じて健康な生活の基礎を培うため、「口腔疾患指導対策事業、歯科保健指導事業、歯と口の健康週間事業」を実施する。また、令和4年度からフッ化物洗口事業を実施する。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 歯科の健康の重要性から「滋賀県歯および口腔の健康づくりの推進に関する条例」が制定された。児童生徒のう歯歯周疾患率に個人差が見られ、適切な歯磨き等の生活習慣づくりが必要である。 (見直しや改善等の経過) 新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度から口腔疾患対策事業は、中止をしたが、歯科保健指導事業は、令和3年度からICTを活用しオンライン形式で実施した。令和4年度より、新規にフッ化物洗口事業を実施・検証した。					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	児童生徒を対象に
目的(何のために)	生涯を通じて歯科衛生に関心を持ち、健康な生活を送るための基礎を培うため
手段(どのようなやり方で)	歯科保健指導事業などのう歯歯周疾患等予防を行うことで
成果(どのような状態にするのか)	児童生徒の歯科衛生の意識を高め、う歯歯周疾患率を低下につなげる。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	2,414	2,524	6,280	6,657	6,657	6,657	6,657
事業費	1,934	2,056	5,344	5,721	5,721	5,721	5,721
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	1,934	2,056	5,344	5,721	5,721	5,721	5,721
人件費計	480	468	936	936	936	936	936
事務・技術(人)	0.06	0.06	0.12	0.12	0.12	0.12	0.12
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

# 事務事業評価シート（2/2）

689 頁  
令和 5年 9月 5日

整理番号 0230  
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 所属評価  
 所属 2402 教育委員会学校教育課  
 事務事業番号 00089 う歯歯周疾患等予防事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-50-30-05-16-00-28-00	う歯歯周疾患等予防事業費	教育委員会学校教育課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)口腔疾患指導対策事業実施校数	校	21.00	21.00	21.00	21.00	21.00	21.00	21.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)口腔疾患指導対策事業実施率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)歯科保健指導事業実施校数	校	37.00	37.00	37.00	37.00	37.00	37.00	37.00
		34.00	36.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	保健指導の一環として子どもの心身の健康保持増進につながり妥当		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	う歯保有率は低下しており有効		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	専門家に依頼することで効率的に実施できる		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	歯科衛生の意識が高まり望ましい生活習慣づくりに貢献できている		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	歯科保健指導事業は、新型コロナウイルス感染症の影響により、対面での実施はできなかったものの、ICTを活用し、専門家による歯科保健指導やブラッシング指導の充実を図った。また、本市の歯科保健施策の一環として、フッ化物洗口事業をモデル校において実施した。引き続き、歯科医師会等との連携を図りながら、歯科疾患予防に努める。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	今後も歯科医師会等と緊密な連携を図りながら、各事業の円滑な実施に努め、児童生徒が自らの歯や口腔の健康を考え、その疾患予防のために望ましい生活習慣を身につけられるよう支援する。		

# 事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 4年度  
 所属 2402  
 総合計画 03  
 事務事業番号 00089

進捗区分 所属評価  
 教育委員会学校教育課  
 大津市総合計画 第2期実行計画  
 う歯歯周疾患等予防事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)口腔疾患指導対策事業実施校数	校	21.00 0.00	21.00 0.00	21.00 0.00	21.00 0.00	21.00 0.00	21.00 0.00	21.00 0.00
	指標説明	市内の小中学校で事業を実施した校数（令和3年度及び令和4年度は新型コロナウイルス感染拡大のため実施無し）						
(成果)口腔疾患指導対策事業実施率	%	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00
	指標説明	実施校数÷対象校数×100（令和3年度及び令和4年度は新型コロナウイルス感染拡大のため実施無し）						
(活動)歯科保健指導事業実施校数	校	37.00 34.00	37.00 36.00	37.00 0.00	37.00 0.00	37.00 0.00	37.00 0.00	37.00 0.00
	指標説明	市内の小中学校で事業を実施した校数						

# 事務事業評価シート（1/2）

691 頁  
令和 5年 9月 5日

整理番号 0231  
評価年度 令和 4年度  
所属 2402  
事務事業番号 00120

進捗区分 所属評価  
教育委員会学校教育課  
国際理解推進充実事業

所属長名 上杉 康晴  
記入者 松浦 哲洋

## 【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	001	子どもの未来が輝くまちにします				
施策	003	子どもの教育の充実				
取組の方向性	002	特色ある学校づくりの推進				
事務事業	002	国際理解推進充実事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	その他					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			
根拠法令等	学習指導要領 市要項					
事業概要	(事業概要) 質の高い英語教育を実施するため、ALTを配置する。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) グローバル化の進展の中で、国際共通語である英語力の向上が重要となり、義務教育段階においても、新しい学習指導要領に基づく英語教育が、小学校では令和2年度から、中学校では令和3年度から始まり、実際のコミュニケーション場面において活用できる能力の育成が求められている。 (見直しや改善等の経過) ALTの活用状況に応じて学校間の配置を見直し、最適な配置に努めることにより、授業におけるALTの活用率は年々増加し、質の高い英語教育が行われている。					

## 【事業分析】

対象(何又は誰を)	市立中学校生徒並びに市立小学校児童を対象として
目的(何のために)	英語活用能力及びコミュニケーション力を向上し社会のグローバル化に対応できる人材を育成するため
手段(どのようなやり方で)	外国語指導助手を配置し複数の指導者で授業や支援を行うことで
成果(どのような状態にするのか)	児童生徒の英語、国際理解、多文化理解に対する関心・意欲とコミュニケーション力の向上を図れるようにする。

## 【コスト】 (単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	153,522	146,756	150,758	150,778	150,778	150,778	150,778
事業費	148,642	141,998	147,170	147,190	147,190	147,190	147,190
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	148,642	141,998	147,170	147,190	147,190	147,190	147,190
人件費計	4,880	4,758	3,588	3,588	3,588	3,588	3,588
事務・技術(人)	0.61	0.61	0.46	0.46	0.46	0.46	0.46
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

# 事務事業評価シート（2/2）

692 頁  
令和 5年 9月 5日

整理番号 0231  
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 所属評価  
 所属 2402 教育委員会学校教育課  
 事務事業番号 00120 国際理解推進充実事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-50-05-15-27-00-01-00	国際理解推進充実事業費	教育委員会学校教育課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)外国語指導助手 配置人数	人	32.00	32.00	32.00	32.00	32.00	32.00	32.00
		32.00	32.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)ALTに関する アンケート調査での肯 定の回答の割合	%	90.00	95.00	95.00	95.00	95.00	95.00	95.00
		95.00	91.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥 当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	ALT配置は、質の高い英語教育を実施するため、妥当である		
2 有効性	事業分析の「成果」欄 に記載の成果は上がっ ているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	子どもの実践的コミュニケーション能力が向上している。		
3 効率性	事業手法は効率的であ るか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	学校規模や活用状況、勤務実績に応じて効率的に配置している。		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献 しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	ALTを効果的に活用し、質の高い英語教育を実施している。		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	学校規模や活用状況などに応じて、ALTの効果的な配置を計画することで、英語による児童生徒のコミュニケーション力の向上につながった。今後、さらに派遣事業者と連携し、ALTの勤務実績に応じて、学校の状況に応じた適材適所の効果的な配置に努めていく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	社会のグローバル化に対応できる人材の育成のため、外国語教育の充実が図られている。引き続き、ALTを効果的に配置するなど、国際理解、多文化理解が進むよう支援する。		

# 事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 4年度 進捗区分 所属評価  
 所属 2402 教育委員会学校教育課  
 総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画  
 事務事業番号 00120 国際理解推進充実事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)外国語指導助手 配置人数	人	32.00	32.00	32.00	32.00	32.00	32.00	32.00
	指標説明	32.00	32.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
民間の外国語指導助手の配置実人数								
(成果)ALTに関する アンケート調査での肯 定的回答の割合	%	90.00	95.00	95.00	95.00	95.00	95.00	95.00
	指標説明	95.00	91.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
教員を対象としたアンケート調査での肯定的回答の割合								

# 事務事業評価シート（1/2）

694 頁  
令和 5年 9月 5日

整理番号 0232  
評価年度 令和 4年度  
所属 2402  
事務事業番号 00126

進捗区分 所属評価  
教育委員会学校教育課  
体験的学習推進事業

所属長名 上杉 康晴  
記入者 小嶋 一磨

## 【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	001	子どもの未来が輝くまちにします				
施策	003	子どもの教育の充実				
取組の方向性	001	将来の夢を広げ次代を生き抜く力の育成				
事務事業	002	体験的学習推進事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			
根拠法令等	市実施要項 県自治振興交付金交付規則・実施要綱					

事業概要	<p>(事業概要)</p> <p>【体験的学習推進事業】子ども一人ひとりに豊かな感性と自律心、社会規範と道徳観、人間関係づくり、社会貢献など、人間としてのあり方や生き方を深く考えさせ、学校で取り組む体験的学習の充実を図ることにより、集団生活や社会生活をおくる上で人間として必要な資質・能力や態度を育成する。</p> <p>【中学生チャレンジウィーク事業】中学生が働く大人の生きざまに触れ、自分の生き方を考える機会とし、進路選択できる力や将来社会人として自立できる力を育てるとともに、地域と連携を深め、地域で子どもを育てる機運を高める。</p>
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	<p>(事業を取りまく社会環境)</p> <p>自然や地域社会と深く関わる機会が減少し、人間関係がうまくつけれない子どもの増加等が社会的に問題になっている。</p> <p>(見直しや改善等の経過)</p> <p>中学生チャレンジウィーク事業は、新型コロナウイルス感染症により中止、もしくは日程を短縮した形での実施となった。中止とした学校においては、職業講話や地域との協働による商店街活性化計画の立案などの工夫を凝らした代替事業を実施し、今後のキャリア教育のバリエーションを増やすものとなった。</p>

## 【事業分析】

対象(何又は誰を)	市立小学校及び中学校の児童・生徒を対象に
目的(何のために)	豊かな人間性と心を育むため
手段(どのようなやり方で)	各学校の教育課程に基づいて体験的な学習を実施することで
成果(どのような状態にするのか)	集団生活や社会生活を送る上で必要な資質や能力、態度を育成する。また、自分の生き方を考え、自ら進路選択できる力や将来社会人として自立できる力を育成する。

## 【コスト】

(単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	3,838	4,690	9,822	9,758	9,758	9,758	9,758
事業費	2,248	2,662	7,092	7,028	7,028	7,028	7,028
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	787	567	2,670	2,640	2,640	2,640	2,640
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	1,461	2,095	4,422	4,388	4,388	4,388	4,388
人件費計	1,590	2,028	2,730	2,730	2,730	2,730	2,730
事務・技術(人)	0.16	0.26	0.35	0.35	0.35	0.35	0.35
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0



# 事務事業評価シート（2/2）

695 頁  
令和 5年 9月 5日

整理番号 0232  
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 所属評価  
 所属 2402 教育委員会学校教育課  
 事務事業番号 00126 体験的学習推進事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-50-05-20-61-00-05-00	体験的学習推進事業費	教育委員会学校教育課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)全55校における体験的学習実施数	個	110.00	110.00	110.00	110.00	110.00	110.00	110.00
		88.00	93.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)職場体験アンケート（生徒向け）	%	0.00	90.00	90.00	90.00	90.00	90.00	90.00
		0.00	95.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	職場体験に代わる事業を各学校で工夫を凝らして実施できた		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	命の尊さや働くことの意義等を体験的に学ぶ機会となっている		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	各学校で予算を執行することで事務手続きの効率があがった		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	B
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	職場体験を含む系統立てたキャリア教育を実施していく必要がある		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	新型コロナウイルス感染症の影響により、体験的学習の一部を中止とした学校もあったが、工夫を凝らして取り組んだ。職場体験学習においても、縮小された実施となったが、職業講話の実施や、地域と協働した商店街活性化計画の立案などの代替事業が行われ、今後のキャリア教育におけるバリエーションを増やすものとなった。目的の明確化を図りながら、よりよい体験的学習につなげていく必要がある。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	命の尊さや自分らしい生き方など、栽培活動や職場体験、校外学習を通じて体験的に学び、考える機会となっている。豊かな人間性の育成のため、さらに教育課程全体を通じて取組を推進していく必要がある。		



# 事務事業評価シート（1/2）

697 頁  
令和 5年 9月 5日

整理番号 0233  
 評価年度 令和 4年度  
 所属 2402  
 事務事業番号 00128

進捗区分 所属評価  
 教育委員会学校教育課  
 部活動（文化部）等振興対策事業

所属長名 上杉 康晴  
 記入者 西村 道子

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	001	子どもの未来が輝くまちにします				
施策	003	子どもの教育の充実				
取組の方向性	001	将来の夢を広げ次代を生き抜く力の育成				
事務事業	013	部活動（文化部）等振興対策事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	その他					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			
根拠法令等	市要項					
事業概要	(事業概要) 小中学校における文化的活動（部活動等）を支援するために、特に器材等の経費が高額となる吹奏楽部等に対し、楽器の新規購入や修繕を行うとともに、関西大会以上の大会出場にかかる経費に対し、その一部を補助することにより、活動の活性化及び支援を図る。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 各校では、吹奏楽部が校外にも活動や発表の場を拡げており、音楽を通じて地域交流の役割も担っている。 (見直しや改善等の経過) 平成30年度に、大会出場に係る経費の補助を増額して保護者の負担減を図った。 楽器の購入・修理については、小中学校の希望調査を基に、計画的に進めている。					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	市立小学校及び中学校の文化部の活動を対象として
目的(何のために)	児童・生徒の文化的活動への興味関心を高め、その活動の推進を図るため
手段(どのようなやり方で)	小中学校からの希望調査をもとに、楽器の購入・修理対象校を決定する。また、関西大会以上のコンクールの出場費用について、その一部を補助金として交付することで
成果(どのような状態にするのか)	児童・生徒の音楽及び部活動に対する意欲関心の向上を図り、文化的活動の一層の活性化を図る。

【コスト】

(単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	5,429	5,895	5,722	6,210	6,210	6,210	6,210
事業費	4,959	4,959	5,412	5,900	5,900	5,900	5,900
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	4,767	880	800	0	0	0	0
一般財源	192	4,079	4,612	5,900	5,900	5,900	5,900
人件費計	470	936	310	310	310	310	310
事務・技術(人)	0.02	0.12	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.10	0.00	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

# 事務事業評価シート（2/2）

698 頁  
令和 5年 9月 5日

整理番号 0233  
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 所属評価  
 所属 2402 教育委員会学校教育課  
 事務事業番号 00128 部活動（文化部）等振興対策事業

## 【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-50-05-20-61-00-15-00	部活動（文化部）等振興対策事業費	教育委員会学校教育課

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)楽器購入・修理 対象校数	校	40.00	40.00	40.00	40.00	40.00	40.00	40.00
		33.00	30.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)関西大会以上の コンクール出場校数	校	3.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

評価項目	評価の観点	基準	評価	
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A	
		B ほぼ妥当である		
		C あまり妥当ではない		
		D 妥当ではない		
評価理由	補助を行うことで、文化的活動の関心を高めているため。			
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A	
		B やや上がっている		
		C あまり上がっていない		
		D 上がっていない		
評価理由	保護者の経済的負担を軽減し、活動への参加を促進しているため。			
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A	
		B やや効率的である		
		C あまり効率的でない		
		D 効率的でない		
評価理由	各学校の購入・修理の実態を的確に捉えているため。			
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A	
		B やや貢献している		
		C あまり貢献していない		
		D 貢献していない		
評価理由	音楽活動等への関心・意欲の向上を効果的に実現しているため。			
評価理由				

【所属評価結果】			
総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	各小学校の楽器修理希望、各中学校の楽器修理・購入希望の実態を捉えた上で、計画的に整備を行っている。各小・中学校ともに活動に必要な環境の維持充実を図り、支援に努める。		

【部局評価結果】			
総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	引き続き、児童生徒の文化的活動（部活動等）の活性化のため、計画的に、各校の活動支援や音楽環境の維持充実を図っていく。		



# 事務事業評価シート（1/2）

700 頁  
令和 5年 9月 5日

整理番号 0234  
評価年度 令和 4年度  
所属 2402  
事務事業番号 00136

進捗区分 所属評価  
教育委員会学校教育課  
中学校体育指導推進事業

所属長名 上杉 康晴  
記入者 奥野 雅也

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	001	子どもの未来が輝くまちにします				
施策	003	子どもの教育の充実				
取組の方向性	001	将来の夢を広げ次代を生き抜く力の育成				
事務事業	003	中学校体育指導推進事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	その他					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			
根拠法令等	学校教育法施行規則第78条の2					

事業概要	<p>(事業概要)</p> <p>本市中学生の体育活動・運動部活動の充実、活性化さらには強化練習会の補助、部活動指導員の活用事業、近畿・全国大会参加への旅費補助を行う。さらに、中学校部活動の地域移行について推進していく。</p>					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	<p>(事業を取りまく社会環境)</p> <p>運動部活動は、自主性・協調性・責任感等を育成するとともに体力の向上や仲間との触れ合いの場として重要な役割を持つが、少子化が進む中、学校部活動を従前と同様の体制で運営することは難しくなっており、学校と地域との連携・協働により、学校部活動の在り方についての改革を行い、持続可能な活動環境の整備が求められている。</p> <p>(見直しや改善等の経過)</p> <p>部活動指導員の配置基準を見直し、広く人材を求めるようにし、年次的に増員している。</p> <p>部活動地域移行の推進にむけ、大津市中学校部活動地域移行検討懇話会を設置し、検討を始めている。</p>					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	大津市立中学校、大津市中学校体育連盟を対象に					
目的(何のために)	中学校教育活動における運動部活動の指導により、中学生の体力向上、社会性の育成、生涯スポーツの基礎づくりを行うため					
手段(どのようなやり方で)	運動部活動備品・消耗品の整備、部活動指導員活用、中学校体育連盟への負担金及び補助金（運動部の各種大会開催運営、競技力向上事業、近畿・全国大会派遣費補助）を交付し					
成果(どのような状態にするのか)	中学校における体育活動の推進を図るため、運動部活動を充実させ、体力の向上につなげていく。					

【コスト】

(単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	12,077	13,011	16,238	19,973	20,964	20,658	20,658
事業費	9,917	10,905	13,118	16,853	17,844	17,538	17,538
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	100	200	100	100	100	100
一般財源	9,917	10,805	12,918	16,753	17,744	17,438	17,438
人件費計	2,160	2,106	3,120	3,120	3,120	3,120	3,120
事務・技術(人)	0.27	0.27	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

# 事務事業評価シート（2/2）

701 頁  
令和 5年 9月 5日

整理番号 0234  
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 所属評価  
 所属 2402 教育委員会学校教育課  
 事務事業番号 00136 中学校体育指導推進事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-50-30-05-55-00-02-00	学校体育指導推進費〔中学校〕	教育委員会学校教育課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)部活動指導員の配置校	人	4.00	6.00	7.00	10.00	15.00	20.00	20.00
		4.00	6.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)近畿大会・全国大会出場種目数	種目	0.00	129.00	137.00	137.00	137.00	137.00	137.00
		0.00	154.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)全国大会出場数	人	80.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		122.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)近畿大会出場数	人	200.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		224.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	大津市中体連との連携は運動部活動の充実を図る上で妥当である		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	令和4年度、近畿大会・全国大会の出場種目数は増加した		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	中体連への補助等により保護者の負担軽減、活動の活性化が図れる		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	部活動の支援を行うことで生徒の心身の健康につながっている		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
所属コメント (400文字)	部活動指導員を6名を6校に配置し、部活動指導を行うとともに、部活動外部指導者20名を活用し、部活動の技術指導のサポートを行った。また、部活動地域移行に向けて、大津市中学校部活動地域移行検討懇話会を設置し、部活動のコンセプトを明確化し、今後のモデル事業の進め方などについて議論した。部活動の地域移行のあり方について、引き続き、懇話会の意見を参考に、本市の現状に合わせ段階的に進めていく必要がある。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
部局コメント (400文字)	生徒がスポーツに親しみ、体力の向上等が図れるよう、部活動指導員等の配置とともに、中学校体育連盟等の関係機関と連携し事業を実施できている。本市の部活動の地域移行について、モデル事業の検証を行いながら検討を継続していく必要がある。		





# 事務事業評価シート（1/2）

703 頁  
令和 5年 9月 5日

整理番号 0235  
評価年度 令和 4年度  
所属 2402  
事務事業番号 00143

進捗区分 所属評価  
教育委員会学校教育課  
小学校体育指導推進事業

所属長名 上杉 康晴  
記入者 小松 且弥

## 【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画	
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります	
基本政策	001	子どもの未来が輝くまちにします	
施策	003	子どもの教育の充実	
取組の方向性	001	将来の夢を広げ次代を生き抜く力の育成	
事務事業	014	小学校体育指導推進事業	

新規継続区分	継続			
運営方法	その他			
評価区分	対象	主な取組区分	対象外	

根拠法令等

事業概要	<p>(事業概要)</p> <p>学校体育の充実、活性化及び教師の指導力の向上を図ることにより学校体育の充実を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大津市学校体育研究発表大会</li> <li>・大津市小学校体育連盟助成事業（陸上記録会・体力向上チャレンジ事業・研究活動費・体力向上事業等）</li> </ul>
------	---

事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	<p>(事業を取りまく社会環境)</p> <p>スマートフォンやゲーム遊び、塾通いなどにより、児童の遊びが変容し、運動時間が減少している。このことから学校における体力向上の取組、体育科の授業改善や児童の運動機会創出の必要性が年々増している。</p> <p>(見直しや改善等の経過)</p> <p>教育委員会と小学校体育連盟が密に連携をとることで、体力向上に向けた取組を進めたり、子どもの実態を把握したうえで授業改善を行うなど、現状に応じた事業を進めている。</p>
----------------------	--

## 【事業分析】

対象(何又は誰を)	大津市立小学校および大津市小学校体育連盟を対象に
目的(何のために)	体育科の授業改善、体力向上の取組の推進、教師の指導力向上により学校体育の充実させるため
手段(どのようなやり方で)	大津市小学校体育連盟に負担金を交付し事業を実施することで
成果(どのような状態にするのか)	運動好きな児童の増加、児童の体力向上、教師の指導力向上を図る。

## 【コスト】

(単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	1,977	2,704	2,968	2,998	2,968	2,968	2,968
事業費	857	1,612	1,876	1,906	1,876	1,876	1,876
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	857	1,612	1,876	1,906	1,876	1,876	1,876
人件費計	1,120	1,092	1,092	1,092	1,092	1,092	1,092
事務・技術(人)	0.14	0.14	0.14	0.14	0.14	0.14	0.14
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

# 事務事業評価シート（2/2）

704 頁  
令和 5年 9月 5日

整理番号 0235  
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 所属評価  
 所属 2402 教育委員会学校教育課  
 事務事業番号 00143 小学校体育指導推進事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-50-30-05-55-00-01-00	学校体育指導推進費〔小学校〕	教育委員会学校教育課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動) 大津市スポーツ ランキング参加校	校	37.00	37.00	37.00	37.00	37.00	37.00	37.00
		37.00	37.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動) 大津市学校体育 研究発表大会参加者数	人	80.00	80.00	80.00	80.00	80.00	80.00	80.00
		45.00	45.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 「体育の授業は 楽しい」と答える小学 5年生男子児童割合	%	73.80	73.80	74.00	74.00	74.50	74.50	74.50
		72.20	70.80	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 「体育の授業は 楽しい」と答える小学 5年生女子児童割合	%	60.20	60.00	60.00	60.00	60.00	60.00	60.00
		54.70	54.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥 当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	体力向上や授業改善のために工夫した取組を進めているため妥当		
2 有効性	事業分析の「成果」欄 に記載の成果は上がっ ているか	A 上がっている	B
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	コロナ禍で低下したが、工夫した取組により改善に向かっている		
3 効率性	事業手法は効率的であ るか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	小学校体育連盟と連携し、組織で効率よく進めることができている		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献 しているか	A 貢献している	B
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	児童が楽しいと思えるような授業改善を進める必要がある		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
所属コメント (400文字)	令和4年度は、大津っ子体力向上推進事業として効果的な授業づくりに向けた支援や体育用品の充実に努めることができた。また、小学校体育連盟と連携を取り、新たな運動遊びを作成したり、楽しい体育学習の研究を進めることができた。指標にある「体育の授業は楽しい」と回答する児童が、令和4年度減少したことも含めて、小学校の体育の授業改善に取り組んでいく必要がある。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
部局コメント (400文字)	大津市小学校体育連盟と連携しながら、陸上記録会や授業研究大会等の事業を行い、小学生が運動に親しみ体力の向上につながる取り組みを進めている。 新型コロナウイルス感染症の影響等により、子どもが運動する機会の減少も懸念されており、引き続き、小学校体育連盟と連携しながら、児童の体力向上につながる取組を推進していく。		

# 事務事業評価指標一覧

705 頁  
令和 5年 9月 5日

評価年度 令和 4年度 進捗区分 所属評価  
所属 2402 教育委員会学校教育課  
総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画  
事務事業番号 00143 小学校体育指導推進事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)天津市スポーツランキング参加校	校	37.00	37.00	37.00	37.00	37.00	37.00	37.00
	指標説明	市内公立小学校参加校数						
(活動)大津市学校体育研究発表大会参加者数	人	80.00	80.00	80.00	80.00	80.00	80.00	80.00
	指標説明	4回（4ブロック）ののべ人数						
(成果)「体育の授業は楽しい」と答える小学5年生男子児童割合	%	73.80	73.80	74.00	74.00	74.50	74.50	74.50
	指標説明	72.20 70.80 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 全国体力・運動能力、運動習慣等調査 目標値は滋賀県平均						
(成果)「体育の授業は楽しい」と答える小学5年生女子児童割合	%	60.20	60.00	60.00	60.00	60.00	60.00	60.00
	指標説明	54.70 54.20 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 全国体力・運動能力、運動習慣等調査 目標値は滋賀県平均						

# 事務事業評価シート（1/2）

706 頁  
令和 5年 9月 5日

整理番号 0236  
 評価年度 令和 4年度  
 所属 2402  
 事務事業番号 00146

進捗区分 所属評価  
 教育委員会学校教育課  
 学校図書充実事業〔小・中学校〕

所属長名 上杉 康晴  
 記入者 中西 香織

## 【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	001	子どもの未来が輝くまちにします				
施策	003	子どもの教育の充実				
取組の方向性	001	将来の夢を広げ次代を生き抜く力の育成				
事務事業	015	学校図書充実事業〔小・中学校〕				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			
根拠法令等	子どもの読書活動の推進に関する法律					
事業概要	児童、生徒の読書活動を推進するため、小中学校の学校図書館の蔵書等の充実を図る。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 子どもが楽しく自主的に読書に親しみ、読書習慣が身につけられるよう、本市をはじめ社会全体で子どもの読書活動を推進することが重要である。 （これまでの見直し） 蔵書数の目標値に対して達成率の低い学校に重点的に図書充実費の予算措置を行った。また、市立図書館との連携を図り、蔵書数の不足に対応した。					

## 【事業分析】

対象(何又は誰を)	各小中学校を対象に
目的(何のために)	各小中学校図書館の環境の充実を図るため
手段(どのようなやり方で)	各校において図書を選定し、図書室用図書を購入することで
成果(どのような状態にするのか)	小中学校の蔵書充実により、児童生徒の読書活動の環境整備を推進する。

## 【コスト】 (単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	15,069	32,823	33,440	39,894	45,101	50,308	55,515
事業費	14,989	32,745	33,050	39,504	44,711	49,918	55,125
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	30,000	0	0	0	0	0
一般財源	14,989	2,745	33,050	39,504	44,711	49,918	55,125
人件費計	80	78	390	390	390	390	390
事務・技術(人)	0.01	0.01	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

# 事務事業評価シート（2/2）

707 頁  
令和 5年 9月 5日

整理番号 0236  
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 所属評価  
 所属 2402 教育委員会学校教育課  
 事務事業番号 00146 学校図書充実事業〔小・中学校〕

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-50-05-20-61-00-40-00	学校図書充実事業費〔小・中学校〕	教育委員会学校教育課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)図書購入数(小学校)	冊	7,400.00	15,000.00	15,000.00	17,000.00	19,000.00	21,000.00	23,000.00
		5,417.00	10,774.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)図書購入数(中学校)	冊	5,100.00	10,000.00	10,000.00	12,000.00	14,000.00	16,000.00	18,000.00
		4,296.00	8,015.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)1人あたりの蔵書数(小学校)	冊	18.50	19.00	19.00	21.00	23.00	25.00	27.00
		18.30	19.60	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)1人あたりの蔵書数(中学校)	冊	19.00	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00
		19.20	20.70	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	学校図書を充実させることは教育活動において重要である。		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	B
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	一人あたりの蔵書数の増加が見られた。		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	団体貸出や選書会等で子どもたちに合わせた読書環境を整えた。		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	児童、生徒の読書活動の環境づくりに貢献している。		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
所属コメント (400文字)	令和4年度は学校司書5名を10校に配置し、通年で配置したことで学校図書館の継続した環境整備により学校図書館を利用する児童生徒の増加や不読率の改善など、子どもの読書活動の充実に図ることができた。今後も学校図書館の蔵書の充実に図るとともに、学校司書の活用、市立図書館、地域ボランティアとの連携を進めることで、これまで以上に児童生徒の読書活動を推進する。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
部局コメント (400文字)	学校図書館の計画的な蔵書の充実や学校司書の活用、市立図書館、地域ボランティアとの連携を図り、児童生徒の読書活動を推進する。		

# 事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 4年度  
 所属 2402  
 総合計画 03  
 事務事業番号 00146

進捗区分 所属評価  
 教育委員会学校教育課  
 大津市総合計画 第2期実行計画  
 学校図書充実事業〔小・中学校〕

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)図書購入数(小学校)	冊	7,400.00	15,000.00	15,000.00	17,000.00	19,000.00	21,000.00	23,000.00
	指標説明	5,417.00	10,774.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
指標説明		小学校の図書室図書購入冊数						
(活動)図書購入数(中学校)	冊	5,100.00	10,000.00	10,000.00	12,000.00	14,000.00	16,000.00	18,000.00
	指標説明	4,296.00	8,015.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
指標説明		中学校の図書室図書購入冊数						
(成果)1人あたりの蔵書数(小学校)	冊	18.50	19.00	19.00	21.00	23.00	25.00	27.00
	指標説明	18.30	19.60	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
指標説明		小学校の蔵書数/児童数(令和3年度事後評価から指標名を冊数から蔵書数に変更)						
(成果)1人あたりの蔵書数(中学校)	冊	19.00	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00
	指標説明	19.20	20.70	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
指標説明		中学校の蔵書数/生徒数(令和3年度事後評価から指標名を冊数から蔵書数に変更)						

# 事務事業評価シート（1/2）

709 頁  
令和 5年 9月 5日

整理番号 0237  
 評価年度 令和 4年度  
 所属 2402  
 事務事業番号 00147

進捗区分 所属評価  
 教育委員会学校教育課  
 小学校管理運営事業

所属長名 上杉 康晴  
 記入者 西村 道子

## 【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	001	子どもの未来が輝くまちにします				
施策	003	子どもの教育の充実				
取組の方向性	001	将来の夢を広げ次代を生き抜く力の育成				
事務事業	016	小学校管理運営事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			
根拠法令等	学校教育法第5条					
事業概要	(事業概要) 小学校37校の管理運営及び教育活動に必要な経費の確保と効率的な運用を図る。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 厳しい財政状況のなか、教育活動を充実させるため、一層の教育環境整備が求められている。 (見直しや改善等の経過) 一部の整備予算については各校に再配当し、円滑かつ弾力的な執行を進めている。					

## 【事業分析】

対象(何又は誰を)	児童を対象に
目的(何のために)	各小学校の管理運営及び教育活動を円滑に行うため
手段(どのようなやり方で)	管理運営に関わる必要経費を確保し、効率的に執行することで
成果(どのような状態にするのか)	教育環境の整備、充実を図る。

## 【コスト】 (単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	443,918	545,507	583,361	585,143	585,143	585,143	585,143
事業費	442,101	543,730	581,150	582,932	582,932	582,932	582,932
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	22	28	19	19	19	19	19
一般財源	442,079	543,702	581,131	582,913	582,913	582,913	582,913
人件費計	1,817	1,777	2,211	2,211	2,211	2,211	2,211
事務・技術(人)	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.07	0.07	0.21	0.21	0.21	0.21	0.21
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

# 事務事業評価シート（2/2）

710 頁  
令和 5年 9月 5日

整理番号 0237  
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 所属評価  
 所属 2402 教育委員会学校教育課  
 事務事業番号 00147 小学校管理運営事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-50-10-05-06-00-01-00	学校管理運営費（小）	教育委員会学校教育課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)教材及び備品	千円	120,465.00	117,810.00	116,882.00	116,882.00	116,882.00	116,882.00	116,882.00
		108,671.00	109,126.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)児童一人当たりの教材・設備費	円	6,546.00	6,455.00	6,460.00	6,460.00	6,460.00	6,460.00	6,460.00
		5,935.00	5,980.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価	
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A	
		B ほぼ妥当である		
		C あまり妥当ではない		
		D 妥当ではない		
評価理由	学校の設置者として管理運営及び教育活動の経費を負担している			
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A	
		B やや上がっている		
		C あまり上がっていない		
		D 上がっていない		
評価理由	各校の教育環境の整備に努めている			
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A	
		B やや効率的である		
		C あまり効率的でない		
		D 効率的でない		
評価理由	学校に予算を再配当することで学校が主体的に予算を執行できる			
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A	
		B やや貢献している		
		C あまり貢献していない		
		D 貢献していない		
評価理由	学校の教育環境の整備を図ることにより教育の充実に貢献している			
評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	各小学校の管理運営及び教育活動を円滑に行うための必要経費を確保し効率的に執行した。また、各校への予算再配当を行うことで円滑かつ主体的な学校経営を促し、学校のマネジメント力向上につながっている。引き続き、学校の状況を把握し、適正な予算確保と執行に努める。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	学校の管理運営状況を把握し、適正な教育環境の整備を行うとともに、予算管理の側面から学校のマネジメント力の更なる向上を図っていく。		



# 事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 4年度      進捗区分 所属評価  
 所属 2402      教育委員会学校教育課  
 総合計画 03      大津市総合計画 第2期実行計画  
 事務事業番号 00147      小学校管理運営事業

上段：目標値   下段：実績値

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)教材及び備品	千円	120,465.00	117,810.00	116,882.00	116,882.00	116,882.00	116,882.00	116,882.00
	指標説明	目標値：R2より地方交付税単位費用算定基礎に級数を乗じて算定：決算額（学校配当分）						
(成果)児童一人当たりの教材・設備費	円	6,546.00	6,455.00	6,460.00	6,460.00	6,460.00	6,460.00	6,460.00
	指標説明	教材用図書及び備品／児童数						

# 事務事業評価シート（1/2）

712 頁  
令和 5年 9月 5日

整理番号 0238  
評価年度 令和 4年度  
所属 2402  
事務事業番号 00163

進捗区分 所属評価  
教育委員会学校教育課  
中学校管理運営事業

所属長名 上杉 康晴  
記入者 西村 道子

## 【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	001	子どもの未来が輝くまちにします				
施策	003	子どもの教育の充実				
取組の方向性	001	将来の夢を広げ次代を生き抜く力の育成				
事務事業	020	中学校管理運営事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			
根拠法令等	学校教育法第5条					
事業概要	(事業概要) 中学校18校の管理運営及び教育活動に必要な経費の確保と効率的な運用を図る。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 厳しい財政状況のなか、教育活動を充実させるため、一層の教育環境整備が求められている。 (見直しや改善等の経過) 一部の整備予算については各校に再配当し、円滑かつ弾力的な執行を進めている。					

## 【事業分析】

対象(何又は誰を)	生徒を対象に
目的(何のために)	中学校の管理運営及び教育活動を円滑に行うため
手段(どのようなやり方で)	管理運営にかかわる必要経費を確保し、効率的に執行することで
成果(どのような状態にするのか)	教育環境の整備、充実を図る。

## 【コスト】 (単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	269,943	324,863	349,695	349,834	349,834	349,834	349,834
事業費	268,126	323,086	346,544	346,683	346,683	346,683	346,683
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	13	219	31	31	31	31	31
一般財源	268,113	322,867	346,513	346,652	346,652	346,652	346,652
人件費計	1,817	1,777	3,151	3,151	3,151	3,151	3,151
事務・技術(人)	0.20	0.20	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.07	0.07	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

# 事務事業評価シート（2/2）

713 頁  
令和 5年 9月 5日

整理番号 0238  
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 所属評価  
 所属 2402 教育委員会学校教育課  
 事務事業番号 00163 中学校管理運営事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-50-15-05-07-00-01-00	学校管理運営費（中）	教育委員会学校教育課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
（活動）教材及び備品	千円	63,007.00	62,682.00	64,850.00	64,850.00	64,850.00	64,850.00	64,850.00
		75,351.00	77,391.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
（成果）児童一人当たりの教材・設備費	千円	7,154.00	7,071.00	7,402.00	7,402.00	7,402.00	7,402.00	7,402.00
		8,443.00	8,730.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価	
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A	
		B ほぼ妥当である		
		C あまり妥当ではない		
		D 妥当ではない		
評価理由	学校の設置者として管理運営及び教育活動の経費を負担している			
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A	
		B やや上がっている		
		C あまり上がっていない		
		D 上がっていない		
評価理由	各校の教育環境の整備に努めている			
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A	
		B やや効率的である		
		C あまり効率的でない		
		D 効率的でない		
評価理由	学校に予算を再配当することで学校が主体的に予算を執行できる			
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A	
		B やや貢献している		
		C あまり貢献していない		
		D 貢献していない		
評価理由	学校の教育環境の整備を図ることにより教育の充実に貢献している			
評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	各中学校の管理運営及び教育活動を円滑に行うための必要経費を確保し効率的に執行した。また、各校への予算再配当を行うことで円滑かつ主体的な学校経営を促し、学校のマネジメント力向上につながっている。引き続き、学校の状況を把握し、適正な予算確保と執行に努める。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	学校の管理運営状況を把握し、適正な教育環境の整備を行うとともに、予算管理の側面から学校のマネジメント力の更なる向上を図っていく。		



# 事務事業評価シート（1/2）

715 頁  
令和 5年 9月 5日

整理番号 0239  
 評価年度 令和 4年度  
 所属 2402  
 事務事業番号 00186

進捗区分 所属評価  
 教育委員会学校教育課  
 児童・生徒通学バス運行事業（学校教育課）

所属長名 上杉 康晴  
 記入者 奥田 研二

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画	
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります	
基本政策	001	子どもの未来が輝くまちにします	
施策	003	子どもの教育の充実	
取組の方向性	001	将来の夢を広げ次代を生き抜く力の育成	
事務事業	024	児童・生徒通学バス運行事業（学校教育課）	

新規継続区分	継続		
運営方法	民間委託		
評価区分	対象	主な取組区分	対象外

事業概要	<p>(事業概要)</p> <p>山間地域には、学校までの通学距離が長く、加えて交通の便の悪い地域に居住する児童・生徒も多い。そうした地域の児童・生徒たちの登下校時の通学手段確保の目的で本事業を実施している。また、交通不便地の教育活動を保障するために、校外学習などの活動の際にもスクールバスの運行等を行っている。</p>
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	<p>(事業を取りまく社会環境)</p> <p>公共交通機関（路線バス）の廃線や減便されている当該地区の交通の不便さは増す傾向にあり、児童・生徒の通学への影響が懸念される。</p> <p>(見直しや改善等の経過)</p> <p>路線バスの廃線や減便に伴い、令和3年度より和邇地域でのタクシー送迎を、令和4年度より比叡平地域での路線バスの増発を開始した。</p>

【事業分析】

対象(何又は誰を)	葛川、伊香立、山中比叡平、大石、和邇地域に居住する児童及び生徒を対象に
目的(何のために)	学校からの距離が遠く、交通不便地に居住する児童及び生徒の登下校や教育活動を保障するため
手段(どのようなやり方で)	スクールバス及びスクールタクシーの運行及び路線バス運行への補助を行うことで
成果(どのような状態にするのか)	登下校の交通手段を確保する。

【コスト】

(単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	16,068	17,548	17,252	18,088	18,088	18,088	18,088
事業費	14,628	16,144	15,848	16,684	16,684	16,684	16,684
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	14,628	16,144	15,848	16,684	16,684	16,684	16,684
人件費計	1,440	1,404	1,404	1,404	1,404	1,404	1,404
事務・技術(人)	0.18	0.18	0.18	0.18	0.18	0.18	0.18
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

# 事務事業評価シート（2/2）

716 頁  
令和 5年 9月 5日

整理番号 0239  
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 所属評価  
 所属 2402 教育委員会学校教育課  
 事務事業番号 00186 児童・生徒通学バス運行事業（学校教育課）

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-50-05-20-41-00-02-00	児童・生徒通学バス運行事業費	教育委員会学校教育課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)スクールバス 運行本数	本	850.00	850.00	850.00	850.00	850.00	850.00	850.00
		838.00	842.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)スクールバス 利用人数	人	38.00	38.00	42.00	42.00	42.00	42.00	42.00
		38.00	41.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価	
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A	
		B ほぼ妥当である		
		C あまり妥当ではない		
		D 妥当ではない		
評価理由	義務教育の児童生徒の通学手段の確保の必要性から、妥当である			
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A	
		B やや上がっている		
		C あまり上がっていない		
		D 上がっていない		
評価理由	交通不便地の児童生徒の通学手段の確保が図られ、有効である			
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A	
		B やや効率的である		
		C あまり効率的でない		
		D 効率的でない		
評価理由	学校や地域の実情に応じて実施しており、効率的である			
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A	
		B やや貢献している		
		C あまり貢献していない		
		D 貢献していない		
評価理由	通学手段を確保することで、義務教育の円滑な実施に貢献している			
評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	京阪バスのダイヤ改正を受け、比叡平ー大津京間の臨時バスを同社あて依頼し、比叡平地域に居住する生徒の通学手段の確保に努めた。今後も公共交通機関（路線バス）の廃線及び減便の動向、特に交通不便地の状況を注視しながら、必要に応じて事業を見直し、安全性を考慮した通学手段を確保するよう当該事業を継続する。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	本事業により、義務教育課程の児童生徒の通学手段を確保し、交通不便地に居住する児童生徒の教育活動を保障することができている。今後も継続して事業を実施し、義務教育の円滑な実施に貢献する。		



# 事務事業評価シート（1/2）

718 頁  
令和 5年 9月 5日

整理番号 0240  
評価年度 令和 4年度  
所属 2402  
事務事業番号 00188

進捗区分 所属評価  
教育委員会学校教育課  
奨学資金給付事業

所属長名 上杉 康晴  
記入者 那須 朱里

## 【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	001	子どもの未来が輝くまちにします				
施策	002	子どもを守る仕組みの充実				
取組の方向性	002	子どもの貧困対策				
事務事業	001	奨学資金給付事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			
根拠法令等	大津市奨学資金給与条例、大津市奨学基金条例					
事業概要	<p>(事業概要) 向学心があるにもかかわらず、経済的事情により高等学校に進学することが困難な生徒に対し奨学金を給付する。 1人あたり・・・月額10,000円×12ヶ月×3年間</p>					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	<p>(事業を取りまく社会環境) 高等学校進学を希望し向上心があるにも関わらず、家庭の経済事情により進学が困難な生徒が存在する。 (見直しや改善等の経過) 高等学校授業料無償化に伴い、本事業の必要性を検討したが、教材をはじめとする必要経費等の負担軽減を目的に奨学金の給付を継続することとした。さらに、文部科学省の「子どもの学習費調査」（平成30年度実施）を踏まえ、令和4年度から月額7,000円を月額10,000円へ増額した。</p>					

## 【事業分析】

対象(何又は誰を)	経済的事情により高等学校に進学することが困難な生徒を対象に
目的(何のために)	向学心が強く能力がある生徒が高等学校に進学するため
手段(どのようなやり方で)	奨学金を給付することで
成果(どのような状態にするのか)	高校生活における経済的負担軽減を図る。

## 【コスト】

(単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	7,900	10,350	9,850	10,090	10,210	10,330	10,330
事業費	4,620	7,230	6,730	6,970	7,090	7,210	7,210
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	4,620	7,230	6,730	6,970	7,090	7,210	7,210
一般財源	0	0	0	0	0	0	0
人件費計	3,280	3,120	3,120	3,120	3,120	3,120	3,120
事務・技術(人)	0.41	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0



# 事務事業評価シート（2/2）

719 頁  
令和 5年 9月 5日

整理番号 0240  
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 所属評価  
 所属 2402 教育委員会学校教育課  
 事務事業番号 00188 奨学資金給付事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-50-05-30-63-00-01-00	奨学資金	教育委員会学校教育課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)奨学金の給付人数（新規）	人	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00
		18.00	19.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)給付対象者の高校卒業率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		100.00	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
		評価理由	
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
		評価理由	
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
		評価理由	
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
		評価理由	
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	令和4年度から給与月額を10,000円へ増額し、現在の社会情勢における家庭の実態に応じた制度の拡充を行った。引き続き本市の奨学金制度とともに民間の奨学金制度について、市ホームページの掲載や生徒及び保護者への案内文の配布等を通じて市民への周知を徹底する。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	高校進学や学業継続に対する経済的な負担や不安を軽減し、学業や部活動に励むことができおり、事業の必要性は高いと捉え、今後も奨学生の状況を把握しながら継続して実施していく。		

# 事務事業評価指標一覧

720 頁  
令和 5年 9月 5日

評価年度 令和 4年度 進捗区分 所属評価  
所属 2402 教育委員会学校教育課  
総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画  
事務事業番号 00188 奨学資金給付事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)奨学金の給付人数 (新規)	人	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00
	指標説明	18.00 19.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 選考委員会により決定した給付者の数						
(成果)給付対象者の 高校卒業率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
	指標説明	100.00 100.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 高校を卒業した生徒の割合						

# 事務事業評価シート（1/2）

721 頁  
令和 5年 9月 5日

整理番号 0241  
 評価年度 令和 4年度  
 所属 2402  
 事務事業番号 00189

進捗区分 所属評価  
 教育委員会学校教育課  
 小学校就学援助事業

所属長名 上杉 康晴  
 記入者 丸山 真依

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画	
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります	
基本政策	001	子どもの未来が輝くまちにします	
施策	002	子どもを守る仕組みの充実	
取組の方向性	002	子どもの貧困対策	
事務事業	002	小学校就学援助事業	
新規継続区分	継続		
運営方法	直営		
評価区分	対象	主な取組区分	対象

根拠法令等	学校教育法第19条 大津市就学援助費給付要綱		
事業概要	(事業概要) 経済的理由により、就学困難な児童の保護者に対して学用品等を援助し、義務教育の円滑な実施を図る。		
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 経済は改善傾向にあるが、物価高騰に伴い生活状況は依然として厳しい。 (見直しや改善等の経過) 要綱改正を行い、給付額を国の要保護児童生徒援助費の補助金額と同額に引き上げた。		

【事業分析】

対象(何又は誰を)	大津市在住の児童の保護者で要保護又は準要保護の該当者を対象に
目的(何のために)	経済的負担の軽減を図るため
手段(どのようなやり方で)	就学援助費を給付することで
成果(どのような状態にするのか)	円滑な義務教育の実施を図る。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	205,323	195,537	223,202	223,202	223,202	223,202	223,202
事業費	199,962	190,286	217,951	217,951	217,951	217,951	217,951
国庫支出金	6,442	7,327	9,272	9,272	9,272	9,272	9,272
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	193,520	182,959	208,679	208,679	208,679	208,679	208,679
人件費計	5,361	5,251	5,251	5,251	5,251	5,251	5,251
事務・技術(人)	0.55	0.55	0.55	0.55	0.55	0.55	0.55
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.31	0.31	0.31	0.31	0.31	0.31	0.31
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

# 事務事業評価シート（2/2）

722 頁  
令和 5年 9月 5日

整理番号 0241  
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 所属評価  
 所属 2402 教育委員会学校教育課  
 事務事業番号 00189 小学校就学援助事業

## 【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-50-10-10-67-00-02-00	就学援助費事業費（小学校）	教育委員会学校教育課

## 【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動) 就学援助事業にかかる給付額（年3回支給）	千円	203,871.00	221,280.00	217,951.00	217,951.00	217,951.00	217,951.00	217,951.00
		199,962.00	190,286.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 就学援助費受給認定割合	%	18.00	18.00	18.00	18.00	18.00	18.00	18.00
		16.00	15.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

## 【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	学校教育法第19条に基づき、市は経済的な理由により就学困難と		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	B
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	就学援助費を給付することで、保護者の経済的な負担が軽減される		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	関係課と連携、情報共有を行うことで添付書類の省略化を行う		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	就学援助費給付により就学環境が整い円滑に義務教育が実施される		
評価理由			

## 【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	令和5年度は、国の要保護児童生徒援助費補助金の予算単価と同額になるよう各給付費目の増額を行った。引き続き経済的に厳しい家庭の児童生徒が安心して学べるよう、保護者、関係機関へ就学援助制度の周知に努める。		

## 【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	経済的な支援により、児童生徒の円滑な学校生活につながっている。引き続き、国や他市の状況を注視しつつ事業を進める。		



# 事務事業評価シート（1/2）

724 頁  
令和 5年 9月 5日

整理番号 0242  
評価年度 令和 4年度  
所属 2402  
事務事業番号 00190

進捗区分 所属評価  
教育委員会学校教育課  
中学校就学援助事業

所属長名 上杉 康晴  
記入者 丸山 真依

## 【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	001	子どもの未来が輝くまちにします				
施策	002	子どもを守る仕組みの充実				
取組の方向性	002	子どもの貧困対策				
事務事業	003	中学校就学援助事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			
根拠法令等	学校教育法第19条 大津市就学援助費給付要綱					
事業概要	(事業概要) 経済的理由により、就学困難な生徒の保護者に対して学用品等を援助し、義務教育の円滑な実施を図る。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 経済は改善傾向にあるが、物価高騰に伴い生活状況は依然として厳しい。 (見直しや改善等の経過) 要綱改正を行い、給付額を国の要保護児童生徒援助費の補助金額と同額に引き上げた。					

## 【事業分析】

対象(何又は誰を)	大津市在住の生徒の保護者で要保護又は準要保護の該当者を対象に
目的(何のために)	経済的負担の軽減を図るため
手段(どのようなやり方で)	就学援助費を給付することで
成果(どのような状態にするのか)	円滑な義務教育の実施を図る。

## 【コスト】

(単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	166,036	185,993	215,280	215,280	215,280	215,280	215,280
事業費	160,675	180,742	210,029	210,029	210,029	210,029	210,029
国庫支出金	3,714	4,435	8,863	8,863	8,863	8,863	8,863
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	156,961	176,307	201,166	201,166	201,166	201,166	201,166
人件費計	5,361	5,251	5,251	5,251	5,251	5,251	5,251
事務・技術(人)	0.55	0.55	0.55	0.55	0.55	0.55	0.55
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.31	0.31	0.31	0.31	0.31	0.31	0.31
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

# 事務事業評価シート（2/2）

725 頁  
令和 5年 9月 5日

整理番号 0242  
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 所属評価  
 所属 2402 教育委員会学校教育課  
 事務事業番号 00190 中学校就学援助事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-50-15-10-71-00-02-00	就学援助費事業費（中学校）	教育委員会学校教育課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動) 就学援助事業にかかる給付額（年3回支給）	千円	212,301.00	216,241.00	210,029.00	210,029.00	210,029.00	210,029.00	210,029.00
		160,675.00	180,741.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 就学援助費受給認定割合	%	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00
		18.30	18.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	学校教育法第19条に基づき、市は経済的な理由により就学困難と		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	B
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	就学援助費を給付することで、保護者の経済的な負担が軽減される		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	関係課と連携、情報共有を行うことで添付書類の省略化を行う		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	就学援助費給付により就学環境が整い円滑に義務教育が実施される		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	令和5年度は、国の要保護児童生徒援助費補助金の予算単価と同額になるよう各給付費目の増額を行った。引き続き経済的に厳しい家庭の児童生徒が安心して学べるよう、保護者、関係機関へ就学援助制度の周知に努める。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	経済的な支援により、児童生徒の円滑な学校生活につながっている。引き続き、国や他市の状況を注視しつつ事業を進める。		





# 事務事業評価シート（1/2）

727 頁  
令和 5年 9月 5日

整理番号 0243  
 評価年度 令和 4年度  
 所属 2402  
 事務事業番号 01932

進捗区分 所属評価  
 教育委員会学校教育課  
 小学校 ICT環境整備事業

所属長名 上杉 康晴  
 記入者 近藤 真介

## 【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	001	子どもの未来が輝くまちにします				
施策	003	子どもの教育の充実				
取組の方向性	001	将来の夢を広げ次代を生き抜く力の育成				
事務事業	008	小学校 ICT環境整備事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			
根拠法令等	大津市総合計画 2017					
事業概要	(事業概要) ICT機器を効果的に活用した「分かりやすく深まる授業」を行うことで、学力の向上を図る。また、校務を効率化することで、教職員の働き方改革を推進して児童と向き合う時間を増やし、きめ細かな指導を行い、教育活動の質の改善を図る。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 第3期大津市教育振興基本計画の施策項目である「超スマート社会のニーズに対応できる教育の推進」のため、教育の情報化に向けた学校 ICT環境整備事業の推進が求められている。 (見直しや改善等の経過) 小学校におけるプログラミング教育の実施や、GIGAスクール構想の実現に向けた環境整備を行うなど、ICT機器を活用した教育活動の充実を図った。また、校務支援システムの改修等を行い、校務の効率化を図ってきた。					

## 【事業分析】

対象(何又は誰を)	児童、教職員を対象として
目的(何のために)	第3期大津市教育振興基本計画の施策項目「超スマート社会のニーズに対応できる教育の推進」を目的に、各小学校のICT機器を整備し、情報教育の環境整備を図るために
手段(どのようなやり方で)	学校ICT環境整備に関わる必要経費を確保し、効率的に執行することで
成果(どのような状態にするのか)	学校ICT環境の整備、充実を図ることにより、ICT活用能力を発揮できる人材を育成する。

## 【コスト】

(単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	251,494	334,781	411,776	415,434	383,406	502,031	513,031
事業費	238,894	321,760	397,580	402,413	370,385	489,010	500,010
国庫支出金	0	14,704	13,830	8,022	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	238,894	307,056	383,750	394,391	370,385	489,010	500,010
人件費計	12,600	13,021	14,196	13,021	13,021	13,021	13,021
事務・技術(人)	1.42	1.57	1.82	1.57	1.57	1.57	1.57
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.40	0.25	0.00	0.25	0.25	0.25	0.25
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

# 事務事業評価シート（2/2）

728 頁  
令和 5年 9月 5日

整理番号 0243  
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 所属評価  
 所属 2402 教育委員会学校教育課  
 事務事業番号 01932 小学校 ICT 環境整備事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-50-10-05-16-00-01-00	学校 ICT 環境整備事業費（小）	教育委員会学校教育課
01-50-10-05-16-00-01-00	学校 ICT 環境整備事業費（小）	教育委員会教育センター

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動) 教員の ICT 活用指導力	%	80.00	95.00	95.00	95.00	95.00	95.00	95.00
		92.70	89.70	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 授業における ICT 活用の向上	%	85.00	95.00	95.00	95.00	95.00	95.00	95.00
		96.50	94.60	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	児童の情報活用能力及び教員の資質向上に向けた整備であり妥当。		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	B
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	学校における環境整備と人材育成を着実に進めていく。		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	全校で統一した整備を進めており効率的である。		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	超スマート社会に「ニズ」に対応した教育の推進に貢献。		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	「GIGAスクール構想」に基づき、未整備であった小学校1年生から小学校3年生の児童用学習端末の整備を完了した。 日常的な活用から効果的な活用が図られるよう、情報化リーダー研修、指導主事の学校訪問による研修を実施し、教員のICT活用指導力の向上に努めた。 引き続き、教員のICT活用指導力のさらなる向上を図り、学校間、学級・教員間のICT活用格差の是正に努めていく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	引き続き、学校のICT環境の整備・充実に努めるとともに、ICT機器を有効活用して情報化時代に対応できる情報活用能力を育成していく。また、教員のICT活用指導力を高め、ICT活用の学校間格差を是正していくとともに、教職員の業務効率化を推進していく。		



# 事務事業評価シート（1/2）

730 頁  
令和 5年 9月 5日

整理番号 0244  
 評価年度 令和 4年度  
 所属 2402  
 事務事業番号 01933

進捗区分 所属評価  
 所属長名 上杉 康晴  
 記入者 近藤 真介

進捗区分 所属評価  
 教育委員会学校教育課  
 中学校 ICT環境整備事業

## 【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	001	子どもの未来が輝くまちにします				
施策	003	子どもの教育の充実				
取組の方向性	001	将来の夢を広げ次代を生き抜く力の育成				
事務事業	009	中学校 ICT環境整備事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			
根拠法令等	大津市総合計画 2017					
事業概要	(事業概要) ICT機器を効果的に活用した「分かりやすく深まる授業」を行うことで、学力の向上を図る。また、校務を効率化することで、教職員の働き方改革を推進して生徒と向き合う時間を増やし、きめ細かな指導を行い、教育活動の質の改善を図る。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 第3期大津市教育振興基本計画の施策項目である「超スマート社会のニーズに対応できる教育の推進」のため、教育の情報化に向けた学校 ICT環境整備事業の推進が求められている。 (見直しや改善等の経過) 中学校におけるプログラミング教育の実施や、GIGAスクール構想の実現に向けた環境整備を行うなど、ICT機器を活用した教育活動の充実を図った。また、校務支援システムの改修等を行い、校務の効率化を図ってきた。					

## 【事業分析】

対象(何又は誰を)	生徒、教職員を対象として
目的(何のために)	第3期大津市教育振興基本計画の施策項目「超スマート社会のニーズに対応できる教育の推進」を目的に、各中学校のICT機器を整備し、情報教育の環境整備を図るために
手段(どのようなやり方で)	学校ICT環境整備に関わる必要経費を確保し、効率的に執行することで
成果(どのような状態にするのか)	学校ICT環境の整備、充実を図ることにより、ICT活用能力を発揮できる人材を育成する。

## 【コスト】

(単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	132,905	125,454	149,219	162,767	156,576	260,753	258,496
事業費	123,815	116,333	138,923	153,646	147,455	251,632	249,375
国庫支出金	0	12,777	11,700	3,902	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	123,815	103,556	127,223	149,744	147,455	251,632	249,375
人件費計	9,090	9,121	10,296	9,121	9,121	9,121	9,121
事務・技術(人)	1.02	1.07	1.32	1.07	1.07	1.07	1.07
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.30	0.25	0.00	0.25	0.25	0.25	0.25
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

# 事務事業評価シート（2/2）

731 頁  
令和 5年 9月 5日

整理番号 0244  
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 所属評価  
 所属 2402 教育委員会学校教育課  
 事務事業番号 01933 中学校 ICT 環境整備事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-50-15-05-46-00-01-00	学校 ICT 環境整備事業費（中）	教育委員会学校教育課
01-50-15-05-46-00-01-00	学校 ICT 環境整備事業費（中）	教育委員会教育センター

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動) 教員の ICT 活用指導力	%	80.00	95.00	95.00	95.00	95.00	95.00	95.00
		85.00	83.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 授業における ICT 活用の向上	%	85.00	95.00	95.00	95.00	95.00	95.00	95.00
		94.40	94.40	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	生徒の情報活用能力及び教員の資質向上に向けた整備であり妥当。		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	B
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	学校における環境整備と人材育成を着実に進めていく。		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	全校で統一した整備を進めており効率的である。		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	超スマート社会のニーズに対応した教育の推進に貢献。		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	日常的な活用から効果的な活用が図られるよう、情報化リーダー研修、指導主事の学校訪問による研修を実施し、教員の ICT 活用指導力の向上に努めた。 引き続き、教員の ICT 活用指導力のさらなる向上を図り、学校間、学級・教員間の ICT 活用格差の是正に努めていく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	引き続き、学校の ICT 環境の整備・充実に努めるとともに、ICT 機器を有効活用して情報化時代に対応できる情報活用能力を育成していく。また、教員の ICT 活用指導力を高め、ICT 活用の学校間格差を是正していくとともに、教職員の業務効率化を推進していく。		

# 事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 4年度 進捗区分 所属評価  
 所属 2402 教育委員会学校教育課  
 総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画  
 事務事業番号 01933 中学校 I C T 環境整備事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)教員の I C T 活用指導力	%	80.00	95.00	95.00	95.00	95.00	95.00	95.00
		85.00	83.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
指標説明		授業に I C T を効果的に活用して指導する能力						
(成果)授業における I C T 活用の向上	%	85.00	95.00	95.00	95.00	95.00	95.00	95.00
		94.40	94.40	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
指標説明		授業で週に 3 回以上活用している割合						

# 事務事業評価シート（1/2）

733 頁  
令和 5年 9月 5日

整理番号 0245  
 評価年度 令和 4年度  
 所属 2402  
 事務事業番号 03416

進捗区分 所属評価  
 教育委員会学校教育課  
 学力向上推進事業

所属長名 上杉 康晴  
 記入者 中西 香織

## 【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	001	子どもの未来が輝くまちにします				
施策	003	子どもの教育の充実				
取組の方向性	001	将来の夢を広げ次代を生き抜く力の育成				
事務事業	005	学力向上推進事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			
根拠法令等	市実施要項					
事業概要	(事業概要) 確かな学力を育成するため、授業改善を進め、学校の主体的な取組を支援する事業を行う。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 小・中学校の学習指導要領においては、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善が重要である。加えて、全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと協働的な学びの実現が重要となってきている。 (見直しや改善等の経過) 授業力向上研修会および令和4年度から開催した研究発表大会では、教科の特性を生かした指導を行った。また、学校訪問においては、各校の課題に応じたきめ細やかな助言を行い、学ぶ力向上策がより実効性のあるものとなるよう指導することで事業の見直し、改善を図ってきた。					

## 【事業分析】

対象(何又は誰を)	市立小・中学校を対象として
目的(何のために)	大津市として進める学力向上策の方向性を示すとともに、学校の主体的な取組を支援するため
手段(どのようなやり方で)	学校訪問や研修会等で指導や支援を行うことで
成果(どのような状態にするのか)	各校における授業改善等の取組を推進を図る。

## 【コスト】 (単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	48,673	47,382	46,896	46,892	46,892	46,892	46,892
事業費	36,593	35,604	39,018	39,014	39,014	39,014	39,014
国庫支出金	0	34,773	38,328	0	0	0	0
県支出金	569	247	420	420	420	420	420
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	36,024	584	270	38,594	38,594	38,594	38,594
人件費計	12,080	11,778	7,878	7,878	7,878	7,878	7,878
事務・技術(人)	1.51	1.51	1.01	1.01	1.01	1.01	1.01
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

# 事務事業評価シート（2/2）

734 頁  
令和 5年 9月 5日

整理番号 0245  
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 所属評価  
 所属 2402 教育委員会学校教育課  
 事務事業番号 03416 学力向上推進事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-50-05-15-36-00-10-00	学力向上推進事業費	教育委員会学校教育課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)学校からの要請に応じた訪問の校数	校	55.00	55.00	55.00	55.00	55.00	55.00	55.00
		55.00	55.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)主体的・対話的で深い学びに関する学校評価	点	2.70	2.80	2.80	2.80	2.80	2.80	2.80
		2.69	2.72	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	授業改善のための学校訪問や研修を行うことは妥当である。		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	B
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	主体的・対話的で深い学びへの教員の意識の高まりが見られた		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	各校の目的や教育課程に沿った効率的な訪問や研修を行えた。		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	主体性を持って学力向上に取り組む学校が増えた。		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	学校訪問・研修を通して学力向上に成果を上げている学校も見られた。「笑顔輝く大津の教育」を目指して授業づくりにおける大切にしたい視点を具体的に提示したことにより、意識して授業改善に取り組む教員の姿が見られた。引き続き「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図り、組織的な学力向上の取組を推進していく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	教員の指導力の向上と授業改善を組織的に取り組み、成果をあげる学校も見られる。さらに、児童生徒の学び力の向上のため、研修や学校訪問の充実を図り、学校が主体的に取り組むを進められるよう指導支援していく。		



# 事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 4年度 進捗区分 所属評価  
所属 2402 教育委員会学校教育課  
総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画  
事務事業番号 03416 学力向上推進事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)学校からの要請 に応じた訪問の校数	校	55.00	55.00	55.00	55.00	55.00	55.00	55.00
	指標説明	55.00	55.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
指標説明		指導主事が、学力向上の視点で訪問する学校数						
(成果)主体的・対話的 で深い学びに関する学 校評価	点	2.70	2.80	2.80	2.80	2.80	2.80	2.80
	指標説明	2.69	2.72	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
指標説明		学校関係者評価結果の平均点（3点満点）						

# 事務事業評価シート（1/2）

736 頁  
令和 5年 9月 5日

整理番号 0246  
 評価年度 令和 4年度  
 所属 2402  
 事務事業番号 04155

進捗区分 所属評価  
 教育委員会学校教育課  
 学校夢づくりプロジェクト推進事業

所属長名 上杉 康晴  
 記入者 小嶋 一磨

## 【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	001	子どもの未来が輝くまちにします				
施策	003	子どもの教育の充実				
取組の方向性	002	特色ある学校づくりの推進				
事務事業	023	学校夢づくりプロジェクト推進事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			

根拠法令等	学校夢づくりプロジェクト実施概要				
事業概要	子どもたちの思いをもとに、地域・学校が力をあわせて創意工夫を凝らした夢のあるプロジェクトに取り組み、児童・生徒が主体的に学び、心豊かに生きていくことができる力の育成を目指す。また、学校運営協議会で承認された学校教育目標等の実現に向けて行われる地域学校協働活動との相乗効果を図りながら取り組む。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 地域社会と深く関わる機会が減少し、人間関係がうまくつけない子どもの増加等が社会的に問題になっている。 （見直しや改善等の経過） 令和3年度の成果と課題を踏まえ、地域との協働やSDGsの視点など、大切にしたいポイントを示し、各校の取組に生かせるようにした。				

## 【事業分析】

対象(何又は誰を)	市立小学校・中学校を対象に
目的(何のために)	児童・生徒が主体的に学び、心豊かに生きていくことができる力を育成するため
手段(どのようなやり方で)	子どもたちの思いをもとに、地域・学校が力をあわせて創意工夫を凝らした夢のあるプロジェクトに取り組むことで
成果(どのような状態にするのか)	特色ある学校づくりを推進する。

## 【コスト】

(単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	15,570	16,878	23,286	23,456	23,456	23,456	23,456
事業費	12,305	13,213	15,720	15,890	15,890	15,890	15,890
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	10,200	0	0	0	0	0
一般財源	12,305	3,013	15,720	15,890	15,890	15,890	15,890
人件費計	3,265	3,665	7,566	7,566	7,566	7,566	7,566
事務・技術(人)	0.35	0.45	0.97	0.97	0.97	0.97	0.97
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.15	0.05	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

# 事務事業評価シート（2/2）

737 頁  
令和 5年 9月 5日

整理番号 0246  
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 所属評価  
 所属 2402 教育委員会学校教育課  
 事務事業番号 04155 学校夢づくりプロジェクト推進事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-50-05-15-30-00-04-00	学校夢づくりプロジェクト推進事業費	教育委員会学校教育課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動) 地域との連携・協働が意識された取組	校	50.00	50.00	50.00	55.00	55.00	55.00	55.00
		46.00	50.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 特色ある学校づくりができた学校	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		100.00	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 児童・生徒が主体的に学ぶことができた学校	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		100.00	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	地域に合わせた特色化をはかることができるため		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	子どもの思いをもとにした特色ある学校づくりにつながっている		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	学校裁量により、独自性のある計画立案や予算執行ができる		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	子どもの思いや願いが実現する取組につながっている		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	前年度の成果と課題を踏まえ、児童生徒の思いや発想の生かし方、地域との協働のあり方など、取組に工夫が見られ、特色ある学校づくりにつながった学校も多く見られた。本事業が、学校の企画運営力やコーディネート力など、総合的な学校力をあげることにつながることから、その趣旨の再確認を行い、特色ある学校づくりや地域とともにある学校づくりを推進する。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	学校が地域と協働して子どもの育ちを支えることや地域の特色を生かした学校づくりを進めていくことは重要であり、本事業を核にして、その趣旨の浸透を図っていく。		



# 事務事業評価シート（1/2）

739 頁  
令和 5年 9月 5日

整理番号 0247  
評価年度 令和 4年度  
所属 2404  
事務事業番号 00139

進捗区分 評価完了  
教育委員会教育センター  
研究活動事業

所属長名 堀部 正明  
記入者 田原 也子

## 【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	001	子どもの未来が輝くまちにします				
施策	003	子どもの教育の充実				
取組の方向性	002	特色ある学校づくりの推進				
事務事業	021	研究活動事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			
根拠法令等	生涯学習センター条例第3条（3）					
事業概要	<p>(事業概要)</p> <p>幼小中一貫した資質・能力の育成を目指し、専門的な見地から調査研究を行う「学校園教育研究委員会」を開催し、実践的な研究に取り組む。また、教科等領域別研究会では、自主研究活動の活性化を図り、教科等の専門的な研究を進めることで、保育の見直しや授業改善、指導の充実に努める。</p>					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	<p>(事業を取りまく社会環境)</p> <p>教員は、次代に求められる学校教育を実現するため、教育の専門家としての資質の向上を図ることが求められている。</p> <p>(見直しや改善等の経過)</p> <p>確かな学力を育むための授業づくりや保育・学習指導の接続の在り方など、実践的な指導力を身につけることができるように研究活動の内容や方法を見直してきた。</p>					

## 【事業分析】

対象(何又は誰を)	市立幼稚園・小・中学校教職員を対象として
目的(何のために)	研究の推進、教職員の指導力の向上のために
手段(どのようなやり方で)	学校園教育研究委員会、教科等領域別研究会43部会等の事業を行うことで、
成果(どのような状態にするのか)	教職員の自主的な研究を活性化し、指導力の向上を目指す。

## 【コスト】

(単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	11,758	11,545	12,040	12,052	11,272	11,272	11,272
事業費	168	175	350	362	362	362	362
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	168	175	350	362	362	362	362
人件費計	11,590	11,370	11,690	11,690	10,910	10,910	10,910
事務・技術(人)	1.10	1.10	1.30	1.30	1.20	1.20	1.20
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.90	0.90	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

# 事務事業評価シート（2/2）

740 頁  
令和 5年 9月 5日

整理番号 0247  
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 評価完了  
 所属 2404 教育委員会教育センター  
 事務事業番号 00139 研究活動事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-50-05-35-26-00-01-00	研究活動費	教育委員会教育センター

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動) 部会加入率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		100.00	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動) 研究委員会開催数	回	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00
		4.00	5.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 部会参加人数	人	800.00	1,300.00	2,300.00	2,300.00	2,300.00	2,300.00	2,300.00
		1,100.00	2,086.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 研究委員会参加人数	人	50.00	50.00	50.00	50.00	50.00	50.00	50.00
		38.00	65.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	授業改善等の指導力向上を目的として事業を進めているから		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	教職員の自主的な研究を促し、指導力の向上につながっているから		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	保育や授業実践に生かせる教材の研究や開発を行っているから		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	教員の実践的な指導力の向上や指導体制の充実に貢献しているから		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	児童生徒に求められる資質・能力の育成を目指し、教員の実践的な指導力の向上を図るため、教科等領域別研究会において、主体的に学ぶ研究体制の強化を図る。また、「学校園教育研究委員会」においては、幼小中一貫した資質・能力の育成を目指し、研究を行う。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	本事業は、教職員の意識改革や実践的な指導力の向上、学校園の連携を図るために重要な事業である。学校園教育研究委員会における幼小中接続の推進や、教科等領域別研究会における自主的な研究等、学校園現場の課題やニーズに応じながら研究や研修を実施していく。		



# 事務事業評価シート（1/2）

742 頁  
令和 5年 9月 5日

整理番号 0248  
 評価年度 令和 4年度  
 所属 2404  
 事務事業番号 00140

進捗区分 評価完了  
 教育委員会教育センター  
 教職員研修事業

所属長名 堀部 正明  
 記入者 佐志原 嘉彦

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	001	子どもの未来が輝くまちにします				
施策	003	子どもの教育の充実				
取組の方向性	002	特色ある学校づくりの推進				
事務事業	003	教職員研修事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			

根拠法令等	地教法第59条 生涯学習センター条例 第3条（3）				
事業概要	(事業概要) 中核市として、市立幼稚園、小・中学校の教職員の専門性・指導力を育成するために研修を実施する。若手教員の指導力向上、また、経験豊かな教職員の指導力や専門性を高めるための研修等を行う。具体的には、法定研修である初任者研修や中堅教諭等資質向上研修、市独自に実施している教職2年次研修や教職3年次研修、教職6年次研修等のステージ研修のほか、ミドルリーダー研修や特別支援学級新任研修などの職務研修、マネジメント研修、教師の心と技を磨く研修などのスキルアップ研修を実施する。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 教員は、次代に求められる学校教育を実現するため、教育の専門家としての資質の向上を図ることが求められている。 (見直しや改善等の経過) 本市の教育課題に即した研修やキャリアステージに応じた研修となるよう工夫し、実践的な内容を取り入れるなど、教育の専門家としての指導力、豊かな感性、総合的な人間力を高められるよう改善してきた。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	市立幼稚園、小学校、中学校教職員を対象として
目的(何のために)	教職員一人一人の専門性の向上や総合的な人間力を高めるために
手段(どのようなやり方で)	本市の実態や課題に即した指定研修や希望研修を体系的に実施し、
成果(どのような状態にするのか)	信頼され、子どもたちが安心して学び健やかに成長できる学校・園を目指す。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	26,594	26,365	29,768	30,096	30,096	30,096	30,096
事業費	1,554	1,765	2,668	2,996	2,996	2,996	2,996
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	1,554	1,765	2,668	2,996	2,996	2,996	2,996
人件費計	25,040	24,600	27,100	27,100	27,100	27,100	27,100
事務・技術(人)	2.20	2.20	2.60	2.60	2.60	2.60	2.60
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	2.40	2.40	2.20	2.20	2.20	2.20	2.20
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0



# 事務事業評価シート（2/2）

743 頁  
令和 5年 9月 5日

整理番号 0248  
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 評価完了  
 所属 2404 教育委員会教育センター  
 事務事業番号 00140 教職員研修事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-50-05-35-26-00-04-00	教職員研修費	教育委員会教育センター

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動) 指定研修講座開催数	回	95.00	95.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		101.00	110.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動) 夏季研修講座開催数	回	15.00	20.00	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00
		16.00	28.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 指定研修受講者満足度	点	4.80	4.80	4.80	4.80	4.80	4.80	4.80
		4.86	4.84	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 夏季研修講座参加者数	人	1,000.00	1,200.00	2,000.00	2,000.00	2,000.00	2,000.00	2,000.00
		1,127.00	1,561.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
	C あまり妥当ではない		
	D 妥当ではない		
評価理由	社会や教職員のニーズに合った研修が提供できた		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
	C あまり上がっていない		
	D 上がっていない		
評価理由	成果指標の目標値を超える結果が得られた		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
	C あまり効率的でない		
	D 効率的でない		
評価理由	対象者の少ない研修を滋賀県総合教育センターへ委託した		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
	C あまり貢献していない		
	D 貢献していない		
評価理由	職務に応じた実践的な研修により資質向上に寄与した		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	受講者の満足度（成果指標）も高く、教育課題や教職員のキャリアステージに応じた研修を実施することができているため、新しい時代のニーズや学校園の実状に応じた研修形態や内容を検討しつつ、現状の事業内容と事業量を今後も継続していく。また、若手教員を対象に学校園訪問を実施し、保育や授業、学級経営等の基礎・基本を実践に生かせるよう指導助言し、教員の専門性や指導力の向上に取り組んでいく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	本市の実態や課題に即した研修に努めている。初任者から教職6年次の若手教職員、臨時的任用教員、中堅教諭等の授業力や指導力向上に貢献している。また、ミドルリーダー研修やマネジメント研修等、次代を担うリーダーの育成を目的とした研修の充実にも努めている。今後さらに、OJT推進リーダーを中心に現場での教育活動を研修として発展させ日常的な研修に努めていく。		



# 事務事業評価シート（1/2）

745 頁  
令和 5年 9月 5日

整理番号 0249  
 評価年度 令和 4年度  
 所属 2404  
 事務事業番号 00141

進捗区分 評価完了  
 教育委員会教育センター  
 「わたしたちの大津」作成事業

所属長名 堀部 正明  
 記入者 田原 也子

## 【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	001	子どもの未来が輝くまちにします				
施策	003	子どもの教育の充実				
取組の方向性	002	特色ある学校づくりの推進				
事務事業	022	「わたしたちの大津」作成事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			
根拠法令等	生涯学習センター条例 第3条（3）					
事業概要	(事業概要) 市内小学校3・4年生が使用する小学校社会科副読本「わたしたちの大津」作成に向けての資料収集および執筆・編集・校正・印刷を行う。また、副読本に対応した評価テスト、指導書、Webページ等の作成を行う。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 平成29年に小学校学習指導要領の全面改訂が行われた。育成を目指す資質・能力が明確化され、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の推進が図られている。 (見直しや改善等の経過) 年度ごとの見直しにより最新の情報を提供し、副読本として使いやすいよう改訂を加えている。また、副読本に対応した評価テストや指導書、Webページの作成を行い、活用を促している。					

## 【事業分析】

対象(何又は誰を)	小学校3・4年生の児童および小学校教員を対象として
目的(何のために)	よりよい地域社会を目指して問題解決しようとする態度、地域社会の生活についての理解や適切に思考、判断、表現する力を養うために
手段(どのようなやり方で)	社会科授業で使用する副読本「わたしたちの大津」の作成及び提供を行うことで
成果(どのような状態にするのか)	地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚などが養われ、地域社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成することを目指す。

## 【コスト】 (単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	9,713	9,692	8,899	9,501	8,918	8,918	8,918
事業費	1,633	1,752	1,889	2,491	1,908	1,908	1,908
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	1,633	1,752	1,889	2,491	1,908	1,908	1,908
人件費計	8,080	7,940	7,010	7,010	7,010	7,010	7,010
事務・技術(人)	0.70	0.70	0.70	0.70	0.70	0.70	0.70
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.80	0.80	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

# 事務事業評価シート（2/2）

746 頁  
令和 5年 9月 5日

整理番号 0249  
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 評価完了  
 所属 2404 教育委員会教育センター  
 事務事業番号 00141 「わたしたちの天津」作成事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-50-05-35-26-00-13-00	「わたしたちの天津」作成事業費	教育委員会教育センター

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)発行冊数	冊	3,500.00	3,500.00	3,500.00	3,500.00	3,500.00	3,500.00	3,500.00
(成果)副読本利用率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		100.00	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価	
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A	
		B ほぼ妥当である		
		C あまり妥当ではない		
		D 妥当ではない		
評価理由	市が独自の副読本を作成し、子どもの郷土愛を育成しているから			
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A	
		B やや上がっている		
		C あまり上がっていない		
		D 上がっていない		
評価理由	子どもが副読本を活用し、郷土への関心・理解を深めているから			
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A	
		B やや効率的である		
		C あまり効率的でない		
		D 効率的でない		
評価理由	小学校3・4年生の2年間、副読本を使用しているから			
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A	
		B やや貢献している		
		C あまり貢献していない		
		D 貢献していない		
評価理由	子どもがよりよい地域社会の担い手となる力を身に付けているから			
評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	小学校3・4年生用の社会科副読本は、他市でも独自に編集している。天津市においても、学習指導要領の改訂に合わせて副読本の全面改訂を行い、それに対応した評価テストや指導書の作成も行った。また、Webページにおいて、授業に活用できる資料等の充実も図った。今後は、副読本を部分的に改訂し、掲載内容を最新のものにした。副読本を活用した授業力の向上を図ったりすることで、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚を高める。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	子どもたちが天津市への関心を持ち、理解を深めることで、ふるさとへの誇りと愛情を醸成させるため、今後も副読本の改良及び活用の研究・研修を行う。		



# 事務事業評価シート（1/2）

748 頁  
令和 5年 9月 5日

整理番号 0250  
 評価年度 令和 4年度  
 所属 2460  
 事務事業番号 00885

進捗区分 評価完了  
 教育委員会葛川少年自然の家  
 少年自然の家管理運営事業

所属長名 石戸 勇雄  
 記入者 松井 和久

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	002	自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り				
基本政策	006	自然豊かな景観を守り育て、自然と共生するまちにします				
施策	016	環境教育の推進				
取組の方向性	001	「環境人」の育成の推進				
事務事業	007	少年自然の家管理運営事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			
根拠法令等	大津市立少年自然の家条例					
事業概要	(事業概要) 当施設は、昭和62年6月開設以降、令和4年度末で延べ約85万人の利用者があり、葛川の豊かな自然環境の中での自然体験活動を通じて、子どもたちに自然の偉大さや神秘さを体験させ、豊かな情操を育むとともに明るくたくましい生き方を学ばせ、よりよい人間関係を育てることを目的として適正な施設運営を行っており、安心・安全で快適な施設の利用環境を提供している。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 新型コロナウイルス感染症の影響により、前年度から引き続き宿泊を伴う利用は中止となり日帰りでの施設利用であった。宿泊再開に向け、施設利用者にとっては、より一層安全で安心して利用できる施設として適正な管理運営が求められている。 (見直しや改善等の経過) 今後も安全で安心できる適正な施設の管理運営を行い、快適な利用環境を提供する。					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	自然体験学習を通して、明るくたくましい人間形成に努める施設利用者を対象に
目的(何のために)	環境にやさしい集団自然体験施設として、適正な施設管理運営を行なうため
手段(どのようなやり方で)	設備維持管理のための保守点検、清掃等美化業務、その他管理運営のための業務を行うとともに施設、設備の維持補修等を行うことで
成果(どのような状態にするのか)	安心、安全な施設の利用環境を提供するようにする。

【コスト】

(単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	30,021	31,615	62,941	64,379	63,919	64,129	64,339
事業費	18,991	21,555	52,881	54,319	53,859	54,069	54,279
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	16,313	16,313	16,313	16,313	16,313
一般財源	18,991	21,555	36,568	38,006	37,546	37,756	37,966
人件費計	11,030	10,060	10,060	10,060	10,060	10,060	10,060
事務・技術(人)	0.60	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.70	0.70	0.70	0.70	0.70	0.70	0.70
会計年度任用(人)	0.70	0.70	0.70	0.70	0.70	0.70	0.70
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

# 事務事業評価シート（2/2）

749 頁  
令和 5年 9月 5日

整理番号 0250  
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 評価完了  
 所属 2460 教育委員会葛川少年自然の家  
 事務事業番号 00885 少年自然の家管理運営事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-50-25-45-50-00-01-00	少年自然の家管理運営事業費	教育委員会葛川少年自然の家

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)団体への貸出稼働泊数	泊	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)利用団体数	団体	100.00	70.00	70.00	70.00	70.00	70.00	70.00
		69.00	68.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)利用者の宿泊人数(延べ人数)	人	10,000.00	10,000.00	10,000.00	10,000.00	10,000.00	10,000.00	10,000.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	市内小中学校との密接な連携と指導が不可欠である		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	安全で快適な施設の利用環境を提供している		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	法的管理も含め適正な管理運営を行い経費の効率化が図られている		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	青少年が健全に育つまちづくりに貢献している		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	今後も施設管理運営経費の効率化・コストの軽減に取り組み、利用者に対してより一層安全で安心して利用できる施設環境が提供できるよう取り組んでいく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	より一層、事務の効率化・コストの軽減に努めると共に、施設利用の推進を図り、利用者が活動しやすく、満足感を得ることができるよう、人に優しく安全で安心な活動環境に向けて運営・管理に努める。		





# 事務事業評価シート（1/2）

751 頁  
令和 5年 9月 5日

整理番号 0251  
 評価年度 令和 4年度  
 所属 2460  
 事務事業番号 01436

進捗区分 評価完了  
 教育委員会葛川少年自然の家  
 ふるさと体験学習事業

所属長名 石戸 勇雄  
 記入者 片桐 愛

## 【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	002	自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り				
基本政策	006	自然豊かな景観を守り育て、自然と共生するまちにします				
施策	016	環境教育の推進				
取組の方向性	001	「環境人」の育成の推進				
事務事業	003	ふるさと体験学習事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			
根拠法令等	大津市立少年自然の家条例					
事業概要	(事業概要) 自然体験学習と集団宿泊体験を通して、自然を愛し、美しいものに感動する豊かな心を持ち、人間の力を超えたものに対する畏敬の念を深めるとともに、仲間づくりと集団生活の在り方を学び、心豊かでたくましい人間性の育成を目的とした活動を行っている。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 新型コロナウイルス感染症の影響により、R4年度においてはすべての学校が日帰り実施となり、体験活動は制限がかかった。R5年度においては5月以降、新型コロナウイルス感染症が5類移行に伴い、制限されていたことが緩和し。宿泊体験活動が再開となった。 (見直しや改善等の経過) 自然の家での活動を教育課程に位置づけ、教科等の関連を明らかにし、活動のねらいと教科のねらいのつながりを意識した深い学びの計画となるよう、各学校と相談や指示、助言をした。					

## 【事業分析】

対象(何又は誰を)	中学校1年生を対象に(命の学習は、市内小学校4年生も対象)
目的(何のために)	21世紀に生きる心豊かでたくましい人間の育成を図るため
手段(どのようなやり方で)	少年自然の家やその周辺地域を利用して、集団宿泊体験やさまざまな自然体験活動を実施し
成果(どのような状態にするのか)	安全に生活する中で、自然の美しさや厳しさを感じとり、集団生活のあり方や仲間と協力するすばらしさを学ぶようにする。また自然環境の中で五感を使い、感性を養いつつ、的確な判断力、課題解決の実践力を培うようにする。

## 【コスト】

(単位：千円)

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	15,627	16,044	19,356	20,615	20,615	20,566	20,526
事業費	7,367	7,944	11,256	12,515	12,515	12,466	12,426
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	7,367	7,944	11,256	12,515	12,515	12,466	12,426
人件費計	8,260	8,100	8,100	8,100	8,100	8,100	8,100
事務・技術(人)	0.80	0.80	0.80	0.80	0.80	0.80	0.80
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.60	0.60	0.60	0.60	0.60	0.60	0.60
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

# 事務事業評価シート（2/2）

752 頁  
令和 5年 9月 5日

整理番号 0251  
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 評価完了  
 所属 2460 教育委員会葛川少年自然の家  
 事務事業番号 01436 ふるさと体験学習事業

## 【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-50-05-20-16-00-01-00	ふるさと体験学習事業費	教育委員会葛川少年自然の家

【定量評価】		上段：目標値 下段：実績値						
指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)ふるさと体験学習参加者数	人	3,036.00	2,943.00	2,882.00	3,074.00	3,018.00	3,051.00	2,982.00
(成果)ふるさと体験学習のねらいの達成度	%	3,113.00	2,933.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		90.00	90.00	90.00	90.00	90.00	90.00	90.00
		86.20	90.97	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】		評価の観点		基準		評価	
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A		
	B		ほぼ妥当である				
C	あまり妥当ではない						
D	妥当ではない						
	評価理由	命の学習や自然体験等の実体験が大きな経験となっている					
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	A		
	B		やや上がっている				
C	あまり上がっていない						
D	上がっていない						
	評価理由	自然体験活動を通して、仲間とともに深く学び合っている					
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A		
	B		やや効率的である				
C	あまり効率的でない						
D	効率的でない						
	評価理由	命や仲間の大切さを学び、充実した活動が展開できている					
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A		
	B		やや貢献している				
C	あまり貢献していない						
D	貢献していない						
	評価理由	仲間との協力や集団生活の在り方を学び自己実現につながっている					
	評価理由						

【所属評価結果】			
総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	生徒自身が伸び伸びと活動を行い、安心安全に体験できるよう各プログラムについて見直しを行い、精選していく必要がある。また、集団宿泊体験や活動プログラムで自主性や自律性を伸ばし、心豊かでたくましい人間の育成を目指していく。		

【部局評価結果】			
総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	大津市の豊かな自然の中で宿泊体験や野外活動を経験し、良好な人間関係の構築や主体的に行動する態度の育成を学ぶ体験は、他では得がたい体験である。今後も、引き続き、学校、保護者、生徒の思いを改善アンケートで把握し、内容の充実に取り組むと共に、各学校が主体的な活動の取り組みとして展開する必要がある。		



# 事務事業評価シート（1/2）

754 頁  
令和 5年 9月 5日

整理番号 0252  
 評価年度 令和 4年度  
 所属 2460  
 事務事業番号 01437

進捗区分 評価完了  
 所属長名 石戸 勇雄  
 記入者 山本 輝明

進捗区分 評価完了  
 教育委員会葛川少年自然の家  
 森林環境学習「やまのこ」事業

## 【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	002	自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り				
基本政策	006	自然豊かな景観を守り育て、自然と共生するまちにします				
施策	016	環境教育の推進				
取組の方向性	001	「環境人」の育成の推進				
事務事業	004	森林環境学習「やまのこ」事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			
根拠法令等	大津市立少年自然の家条例					
事業概要	(事業概要) 森林をはじめとする環境に理解を深めるとともに人と豊かに関わる力をはぐくむため、学校教育の一環として小学4年生を対象に葛川少年自然の家とその周辺森林を使った体験型の学習を行う。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 学習指導要領の中の「豊かな心と生きる力を育む」ためにも、1泊2日の森林環境学習「やまのこ」事業の取り組みへの期待は大きいものの、新型コロナウイルス感染症の影響により日帰りでの実施となった。 (見直しや改善等の経過) 条例に基づき、平成19年度より当事業が学校教育の一環として県内小学校4年生を対象に施行された。					

## 【事業分析】

対象(何又は誰を)	大津市内全小学校4年生37校及び葛川少年自然の家での事業実施を希望する県内の小学4年生を対象に
目的(何のために)	森林をはじめとする環境に理解を深めるとともに人と豊かに関わる力を育むため
手段(どのようなやり方で)	自然の家やその周辺森林を利用し、集団宿泊体験(1泊2日)とさまざまな森林環境学習を実施し
成果(どのような状態にするのか)	安全に生活する中で、森林に興味を持ち、その働きの重要性や危機回避する力を身につけ、環境を守ろうという意欲をもつようにする。また、優しさや思いやり、協力し合う心の大切さに気づくようにする。

## 【コスト】 (単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	26,501	27,047	31,902	31,902	31,902	31,902	31,902
事業費	11,141	11,167	16,022	16,022	16,022	16,022	16,022
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	11,141	8,147	11,722	11,722	11,722	11,722	11,722
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	0	3,020	4,300	4,300	4,300	4,300	4,300
人件費計	15,360	15,880	15,880	15,880	15,880	15,880	15,880
事務・技術(人)	1.30	1.40	1.40	1.40	1.40	1.40	1.40
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	1.60	1.60	1.60	1.60	1.60	1.60	1.60
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

# 事務事業評価シート（2/2）

755 頁  
令和 5年 9月 5日

整理番号 0252  
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 評価完了  
 所属 2460 教育委員会葛川少年自然の家  
 事務事業番号 01437 森林環境学習「やまのこ」事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-50-05-20-16-00-02-00	森林環境学習「やまのこ」事業費	教育委員会葛川少年自然の家

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)森林環境学習「やまのこ」事業受入者数	人	3,131.00	3,031.00	3,051.00	2,982.00	3,051.00	2,918.00	2,935.00
		3,057.00	3,030.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)事業の「取り組み」についての達成度	%	90.00	90.00	90.00	90.00	90.00	90.00	90.00
		84.37	87.04	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	当施設が森林に囲まれた施設で、小学校に効果的な指導ができた		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	当施設の活動を通して、森林の有用性を学ぶことができた		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	やまのこ専任指導員が児童に専門的な指導、活動支援を行った		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	やまのこ事業を通し、環境を大切に作る人材の育成に貢献できた		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	滋賀県の補助事業として学校教育に位置づけ、小学4年生を対象に行う森林環境学習であり、大津市が掲げている環境人の育成にも合致している。本来は集団宿泊体験を通して、ゆとりある時間の中で自然や森林に触れながら自然の大切さを学び、自ら森林環境の保全に貢献できる子どもを育成するねらいがある。しかし令和4年度も昨年度同様、新型コロナの影響で日帰りとなったが、本事業の活動は一定の評価を得ることができた。令和5年度から、安心安全に体験できるよう各プログラムの精選を行うなかで集団宿泊体験として本事業を行い、事業を継続していく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	葛川の豊かな自然を生かして、森を教材とし、森を守るための取り組みについて学んだり、間伐材を利用した活動をしたりすることは、森林環境学習の推進や大津市の環境人育成につながっている。今後も人と人とが豊かに関わる力を育み、持続可能な社会の形成に積極的に寄与する次世代の育成に努める事業を推進する。		



# 事務事業評価シート（1/2）

757 頁  
令和 5年 9月 5日

整理番号 0253  
 評価年度 令和 4年度  
 所属 2460  
 事務事業番号 01438

進捗区分 評価完了  
 所属長名 石戸 勇雄  
 記入者 佐々木 貢

進捗区分 評価完了  
 教育委員会葛川少年自然の家  
 研修事業

## 【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	002	自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り				
基本政策	006	自然豊かな景観を守り育て、自然と共生するまちにします				
施策	016	環境教育の推進				
取組の方向性	001	「環境人」の育成の推進				
事務事業	005	研修事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			

根拠法令等	大津市立少年自然の家条例				
事業概要	(事業概要) 子どもたちの学校外体験活動の充実を図る社会教育施設として、自然の家の役割が一層増している。そこで研修事業の自然体験学習に子どもたちの五感に働きかける活動を多く取り入れ、心豊かな人間性の育成を図ることを目標に掲げ主催研修事業を実施する。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) コロナ禍で活動が制限される中、本所の活動も日帰りとなったが、野外活動は健全な心身を育み、家族の絆を深める機会となり、年齢に関わらずたくましく生き抜く力を養っていくために欠かせない意義を持っている。 (見直しや改善等の経過) 課題に自主的に取り組み、試行錯誤しながら自分の考えをしっかりと持てるよう、また学ぶことが楽しいという気持ちを持てるよう、自ら課題を設定し探究的な活動を行う研修事業内容に変更した。				

## 【事業分析】

対象(何又は誰を)	大津市内の小学生、中学生、高校生、大学生及び小中学生を含む家族、大津市民を対象に				
目的(何のために)	自然体験や野外活動を通して青少年の健全育成を図るとともに、地域リーダーやボランティア等の青少年の指導者の育成を図るため				
手段(どのようなやり方で)	葛川の豊かな自然環境を活かし、宿泊研修や日帰り研修の中で、さまざまな野外活動プログラムや自然体験活動を実施し				
成果(どのような状態にするのか)	自然の素晴らしさや偉大さを感じ、仲間と協力することの大切さや家族のふれあいを深めるとともに、探究する楽しさと問題解決能力を養うようにする。また、地域ボランティアやリーダー等の指導者が育つようにする。				

## 【コスト】

(単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	4,066	3,855	5,287	5,287	5,287	5,287	5,287
事業費	860	709	2,141	2,141	2,141	2,141	2,141
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	112	199	836	836	836	836	836
一般財源	748	510	1,305	1,305	1,305	1,305	1,305
人件費計	3,206	3,146	3,146	3,146	3,146	3,146	3,146
事務・技術(人)	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.26	0.26	0.26	0.26	0.26	0.26	0.26
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

# 事務事業評価シート（2/2）

758 頁  
令和 5年 9月 5日

整理番号 0253  
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 評価完了  
 所属 2460 教育委員会葛川少年自然の家  
 事務事業番号 01438 研修事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-50-25-45-50-00-08-00	自然の家研修事業費	教育委員会葛川少年自然の家

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)重点研修事業応募者数	人	300.00	300.00	300.00	300.00	300.00	300.00	300.00
		960.00	1,994.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)市民対象事業応募者数	人	150.00	150.00	150.00	150.00	150.00	150.00	150.00
		364.00	286.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)重点研修事業実施後のアンケートによる満足度	%	90.00	90.00	90.00	90.00	90.00	90.00	90.00
		97.23	97.19	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)市民対象事業実施後のアンケートによる満足度	%	90.00	90.00	90.00	90.00	90.00	90.00	90.00
		95.09	95.17	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	野外活動研修を、教育の視点で計画的に実施している		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	自然の中での活動が家族の絆を深め、探求する楽しさを養っている		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	様々な野外活動プログラムを提示して、参加者を募っている		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	自然体験や集団宿泊研修を通して青少年の健全育成に貢献している		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	自然体験や宿泊体験の機会が減少している中、葛川の自然を活かした探究的なプログラムを充実させ事業を推進していくとともに、指導者の育成も図っていききたい。また、宿泊を再開していくにあたり、活動プログラムの安全性を十分に考慮し、無理のない計画を立てることで、市民が安心安全に楽しく参加できる活動になるようにしていきたい。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	葛川少年自然の家での自然体験活動を通して、豊かな心や健やかな体の育成や人とのかかわる協働の喜びの体得など、社会的に自立した社会人として、明るくたくましく生きていく態度や危機管理能力を育成する。また、今後も健全なレクリエーションと憩いの場を市民に提供できるよう内容を一層充実させて事業を推進していく。		





# 事務事業評価シート（1/2）

760 頁  
令和 5年 9月 5日

整理番号 0254  
評価年度 令和 4年度  
所属 2485  
事務事業番号 02427

進捗区分 評価完了  
教育委員会児童生徒支援課  
いじめ対策等充実事業

所属長名 沖本 光史  
記入者 小西 尚之

## 【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	001	子どもの未来が輝くまちにします				
施策	002	子どもを守る仕組みの充実				
取組の方向性	001	子どもの人権の尊重				
事務事業	002	いじめ対策等充実事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			
根拠法令等	いじめ防止対策推進法、大津市子どものいじめの防止に関する条例					
事業概要	<p>(事業概要)</p> <p>いじめの未然防止、早期発見及び早期対応を行うため、各学校にいじめ対策委員会を設置して組織的に対応している。さらに、学校だけでは対応が困難な案件については外部専門家を各校に派遣して指導助言を受けられる体制とするとともに、重大事態については、附属機関において調査審議を実施することで事案の解明と解決を図っている。また、いじめ防止啓発月間である6月、10月を中心とした児童生徒主体のいじめ防止対策の取組推進や、弁護士等の専門家によるいじめ問題や人権に関する授業の実施等を行う。</p>					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	<p>(事業を取りまく社会環境)</p> <p>学校で発生するいじめ等の事案について、事案増に加えてその背景の複雑化・多様化が見られるなかで、学校対応だけでは解決が困難な事例が増えており、外部専門家による支援が不可欠となっている。</p> <p>(見直しや改善等の経過)</p> <p>専門家によるいじめ問題や人権に関する授業については、令和2年度までは弁護士の派遣のみとしていたが、令和3年度から、各学校の実情に応じた専門家を学校が選定し、授業を実施することも可能な事業とした。</p>					

## 【事業分析】

対象(何又は誰を)	すべての児童・生徒を対象として
目的(何のために)	各校におけるいじめ対策を推進するために
手段(どのようなやり方で)	相談窓口や緊急時における支援体制を確保することにより
成果(どのような状態にするのか)	いじめの未然防止、早期発見及び早期対応を進める。

## 【コスト】

(単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	41,047	296,595	311,877	309,189	313,604	309,204	311,476
事業費	16,994	271,886	285,277	283,116	287,531	283,131	285,403
国庫支出金	1,924	1,809	550	528	528	528	528
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	15,070	270,077	284,727	282,588	287,003	282,603	284,875
人件費計	24,053	24,709	26,600	26,073	26,073	26,073	26,073
事務・技術(人)	1.60	1.90	1.90	1.90	1.90	1.90	1.90
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	3.63	3.19	3.80	3.63	3.63	3.63	3.63
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

# 事務事業評価シート (2/2)

761 頁  
令和 5年 9月 5日

整理番号 0254  
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 評価完了  
 所属 2485 教育委員会児童生徒支援課  
 事務事業番号 02427 いじめ対策等充実事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-50-05-15-17-00-09-00	いじめ対策等充実事業費	教育委員会児童生徒支援課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)いじめ等事案対策検討委員会開催回数	回	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00
		6.00	12.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)いじめ対策委員会開催回数	回	7,650.00	20,000.00	20,000.00	20,000.00	20,000.00	20,000.00	20,000.00
		16,684.00	20,720.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)小・中学校いじめ認知件数	件	2,700.00	8,000.00	8,000.00	8,000.00	8,000.00	8,000.00	8,000.00
		7,872.00	8,263.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)子ども支援コーディネーター対応件数	件	0.00	80,000.00	80,000.00	80,000.00	80,000.00	80,000.00	80,000.00
		0.00	92,199.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	条例及び行動計画に基づき、市が主体となって取り組むべきもの		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	いじめ認知件数は増加しており、学校組織として対応できている		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	学校組織の対応のほか、外部専門家や保護者、地域と連携している		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	様々な取組により子どもが安心して学べる環境確保に貢献している		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	令和2年度より、「いじめ対策担当教員」から「子ども支援コーディネーター」に変更することで、その役割を発展させている。これにより、いじめにつながる可能性のある児童虐待や不登校、ヤングケアラーなど、子どもの抱える課題に対し、組織的な対応を進めている。今後はこれらの取組をさらに充実させるため、令和5年度に策定した「第3期大津市いじめの防止に関する行動計画」に基づき、福祉部局等の関連機関と連携した重層的な支援の推進など、いじめ対策事業を着実に実施していく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	これまで積み上げてきたいじめ対策を基本に、これからは歩みを止めることなく着実に、いじめに関する取組を推し進めるべく、令和5年度より「第3期大津市いじめの防止に関する行動計画」を策定している。今後も、子ども一人ひとりに焦点を当てながら、きめ細やかに寄り添い、最適な方策や手立てを講じていく。		



# 事務事業評価シート（1/2）

763 頁  
令和 5年 9月 5日

整理番号 0255  
 評価年度 令和 4年度  
 所属 2476  
 事務事業番号 00074

進捗区分 所属評価  
 教育委員会教育支援センター  
 教育相談事業

所属長名 菊谷 愛  
 記入者 源田 扶左子

## 【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	001	子どもの未来が輝くまちにします				
施策	002	子どもを守る仕組みの充実				
取組の方向性	001	子どもの人権の尊重				
事務事業	006	教育相談事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			
根拠法令等	教育支援センター条例 教育支援センターの管理運営に関する規則					

事業概要	<p>(事業概要)                  不登校や特別な支援を要する子どもの教育についての課題及び子育てに悩む保護者や教職員、並びに情緒不安や集団になじめない等の悩みを持つ子どもに対して教育相談を実施し、課題解決への支援を行う。</p>
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	<p>(事業を取りまく社会環境)                  社会や教育環境の変化に伴い、子どもを巡る課題も年々多様化、深刻化している。相談内容も不登校、子育て、発達に関する課題等、多岐にわたるとともに深刻なケースが増えている。                  (見直しや改善等の経過)                  各ケースへの対応を通して学校や医療・福祉関係機関との連携を強化するとともに、専門家（公認心理師）の活用により、教育相談体制の強化を図る。</p>

## 【事業分析】

対象(何又は誰を)	保護者・教職員・子どもを対象に
目的(何のために)	教育についての課題や子育てに関する悩みの相談を受け、課題解決への支援を行うため
手段(どのようなやり方で)	電話による教育相談や来所による面接相談を実施することで
成果(どのような状態にするのか)	子どもの社会的自立を支援する。

## 【コスト】 (単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	15,502	16,911	18,380	18,584	18,584	18,584	18,584
事業費	134	141	830	1,034	1,034	1,034	1,034
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	134	141	830	1,034	1,034	1,034	1,034
人件費計	15,368	16,770	17,550	17,550	17,550	17,550	17,550
事務・技術(人)	0.65	0.60	0.70	0.70	0.70	0.70	0.70
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	3.28	3.90	3.90	3.90	3.90	3.90	3.90
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

# 事務事業評価シート（2/2）

764 頁  
令和 5年 9月 5日

整理番号 0255  
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 所属評価  
 所属 2476 教育委員会教育支援センター  
 事務事業番号 00074 教育相談事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-50-05-15-13-00-01-00	教育相談事業費	教育委員会教育支援センター

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動) 電話による相談件数	件	1,100.00	800.00	800.00	800.00	800.00	800.00	800.00
		978.00	1,163.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動) 来所面接による延べ相談人数	人	0.00	0.00	1,800.00	1,800.00	1,800.00	1,800.00	1,800.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 来所面接相談の最終件数	件	1,100.00	800.00	800.00	800.00	800.00	800.00	800.00
		833.00	1,007.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動) 来所面接による延べ相談人数（R4年度までの指標）	人	1,900.00	1,700.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		1,400.00	1,580.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	子育て等に悩む市民の相談を実施することは本市の責務である		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	電話相談件数に対する学校連携率は上がっている		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	ケース会議等を行い個に応じた担当者を充て、協議を行っている		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	重大事案にかかる相談も受け入れており、支援につながっている		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
所属コメント (400文字)	教育を取り巻く環境の変化から、集団になじめない子どもや発達に課題のある子どもにかかる複雑で困難な相談事例もある。また、複雑な相談内容のため、年度をまたいでの相談も増えていることから、専門的見地により相談及び学校連携ができる公認心理師と相談員の活用充実により、教育相談体制の強化を図る。同時に市民や教職員、保護者を対象に教育相談講演会を実施することで、子どもの心理や発達に対する理解や教育相談の充実につなげる。また、令和5年度より、学校による対応だけでは解決が難しい、医療面の課題を抱えた長期欠席の児童生徒ならびにその家族等への適切な支援について、精神科専門医による相談、助言を受けることで、疾患や治療に対する正しい理解の促進を図り、よりよい対応につなげていく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
部局コメント (400文字)	深刻な家庭環境の課題や発達課題のある児童生徒への対応については、在籍校及び関係機関との連携を密にして対応すること。特に相談内容が多様化・複雑化していることから、相談員の資質向上のための研修を実施したり、発達相談員や公認心理師を学校へ派遣し専門的見地から助言したりするなど、専門性を高めた相談体制を強化すること。また、医療面の課題を抱えた児童生徒並びにその家族等へ適切な支援が行えるよう、精神科専門医の活用を検討・実施すること。		



# 事務事業評価シート（1/2）

766 頁  
令和 5年 9月 5日

整理番号 0256  
 評価年度 令和 4年度  
 所属 2476  
 事務事業番号 00076

進捗区分 所属評価  
 教育委員会教育支援センター  
 教育支援事業

所属長名 菊谷 愛  
 記入者 源田 扶左子

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	001	子どもの未来が輝くまちにします				
施策	002	子どもを守る仕組みの充実				
取組の方向性	001	子どもの人権の尊重				
事務事業	007	教育支援事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			

根拠法令等	教育支援センター条例 教育支援センターの管理運営に関する規則				
事業概要	(事業概要) 大津市内に在住し、不登校（傾向）の状況にある子どもに対して、教育支援ルーム「ウイング」を開設するとともに、その長期化・固定化を防ぐため、当該の学校や家庭を訪問して要因や背景等の見立てを行い、個に応じた支援方を検討・実施することで、学校復帰や社会的自立につながる支援を行う。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 不登校（傾向）にある子どもは、社会環境の変化や家庭環境等、様々な要因や背景により、学校に登校できない状況が長期化・固定化する傾向にある。 (見直しや改善等の経過) 令和2年度から通級対象を小学校1年生からと拡大して実施。令和2年10月より特別支援学級在籍児童の通級を可能とする。令和3年度から小学校内に開設していた分室「せた」の会場を「瀬田北市民センター」内に変更して開設する。令和4年度から「適応指導教室」を「教育支援ルーム」に改め、開設日を拡大して実施。また、「不登校対策事業」と「適応指導教室事業」を統合し「教育支援事業」として包括的に事業を実施する。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	市内に在住する子どもで不登校（傾向）の状態が継続し、学校以外で通うことができる場を望んでいる者を対象に
目的(何のために)	不登校（傾向）にある子どもに対して、その長期化・固定化を防ぎ、心身の健康を取り戻すとともに、学校復帰や社会的自立につながるため
手段(どのようなやり方で)	教育支援ルームにおける学習支援や体験活動による支援及び巡回相談において、支援方を検討、実施することで
成果(どのような状態にするのか)	心身の健康を取り戻し、学校復帰や社会的自立を目指す。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	20,903	36,076	38,886	40,329	40,060	40,060	40,233
事業費	692	2,306	3,168	4,611	4,342	4,342	4,515
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	25	115	100	100	100	100
一般財源	692	2,281	3,053	4,511	4,242	4,242	4,415
人件費計	20,211	33,770	35,718	35,718	35,718	35,718	35,718
事務・技術(人)	1.05	1.15	1.05	1.05	1.05	1.05	1.05
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	3.81	8.00	8.88	8.88	8.88	8.88	8.88
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0



# 事務事業評価シート（2/2）

767 頁  
令和 5年 9月 5日

整理番号 0256  
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 所属評価  
 所属 2476 教育委員会教育支援センター  
 事務事業番号 00076 教育支援事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-50-05-15-13-00-03-00	教育支援事業費	教育委員会教育支援センター

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)アウトリーチ型支援の訪問件数	件	0.00	0.00	220.00	220.00	220.00	220.00	220.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)教育支援ルーム通級児童生徒の不登校状況の改善率	%	0.00	0.00	90.00	90.00	90.00	90.00	90.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)不登校対策巡回相談員の訪問件数（R4年度までの指標）	回	80.00	80.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		64.00	89.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)保護者及び児童面談者数（R4年度までの指標）	人数	160.00	160.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		149.00	109.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
評価理由	不登校が長期化するまでの早期に巡回相談により助言等を行える	C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
評価理由	教育支援ルームに通級できた児童については改善がみられる	C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
評価理由	巡回相談訪問から教育支援ルームでの指導支援につなげられる	C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
評価理由	不登校児童生徒の学校復帰や社会的自立につなげられている	C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
所属コメント (400文字)	教育機会確保の観点から、ICTを活用した不登校児童への学習支援等を進めるとともに、令和4年度より教育支援ルームの開設日数を拡大して不登校児童生徒の学びの機会を確保し、支援の充実を図る。さらに、在籍校や家庭を訪問して巡回相談を実施し、関係機関との連携強化を図るとともに、フリースクール等の民間施設を把握するための調査を行う。また、令和5年度より北部地域に中学校ウイングを開設し、通所生徒の拡大を図るとともに、在籍校や家庭訪問等を行うアウトリーチ型支援について、対象を中学生にも拡大して行っていく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
部局コメント (400文字)	教育支援ルームの開設日の拡大、ICT機器を活用した学習機会の充実を検討すること。特にICT機器を活用した学習においては、個々に応じた内容の取組について、適切に指導・支援を行い、その状況を学校と共有すること。また、不登校の固定化・長期化を防ぐため、在籍校や家庭を訪問して相談を実施するアウトリーチ型支援を実施し、個々の子どもの状況を把握して、アセスメントを行い、学校と連携しながら、適切な支援を行うこと。		



# 事務事業評価シート（1/2）

769 頁  
令和 5年 9月 5日

整理番号 0257  
 評価年度 令和 4年度  
 所属 2476  
 事務事業番号 00119

進捗区分 所属評価  
 教育委員会教育支援センター  
 特別支援教育充実事業

所属長名 菊谷 愛  
 記入者 源田 扶左子

## 【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	001	子どもの未来が輝くまちにします				
施策	003	子どもの教育の充実				
取組の方向性	001	将来の夢を広げ次代を生き抜く力の育成				
事務事業	010	特別支援教育充実事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			
根拠法令等	学校教育法 教育基本法 学校教育施行規則 学校教育施行令					

事業概要	(事業概要) 特別な支援を要する児童生徒の健やかな成長に資するため、学校訪問や講師招聘による研修支援を行うとともに、個に応じた支援体制を整える。					
------	---	--	--	--	--	--

事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 『障害者差別解消法』施行以降、年々インクルーシブ教育体制の充実が求められている。さらに平成31年3月「学校における医療的ケアの今後の対応について」（文部科学省通知）を受けた対応が必要になってきている。（見直しや改善等の経過） 平成28年度に、医療的ケア支援員を配置した。また、平成30年度より、支援を要する子どもに学校が柔軟に対応できるように、特別支援教育支援員を他の支援員に統合した。					
----------------------	---	--	--	--	--	--

## 【事業分析】

対象(何又は誰を)	市内在住の小学校、中学校の在籍児童生徒を対象として					
目的(何のために)	特別な支援を要する児童生徒の健やかな成長に資するため					
手段(どのようなやり方で)	学校訪問の実施や講師の招聘を通じて					
成果(どのような状態にするのか)	各学校園が校種間で円滑な連携を行い、個に応じた支援体制を整える。					

## 【コスト】 (単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	8,294	7,282	8,113	8,069	8,078	8,234	8,186
事業費	1,014	1,124	1,955	1,911	1,920	2,076	2,028
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	1,014	1,124	1,955	1,911	1,920	2,076	2,028
人件費計	7,280	6,158	6,158	6,158	6,158	6,158	6,158
事務・技術(人)	0.91	0.71	0.71	0.71	0.71	0.71	0.71
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.00	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

# 事務事業評価シート（2/2）

770 頁  
令和 5年 9月 5日

整理番号 0257  
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 所属評価  
 所属 2476 教育委員会教育支援センター  
 事務事業番号 00119 特別支援教育充実事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-50-05-15-21-00-01-00	特別支援教育充実事業費	教育委員会教育支援センター

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動) 学校からの要請に応じた訪問の回数	回	120.00	120.00	130.00	130.00	130.00	130.00	130.00
		151.00	182.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 特別支援教育体制が整備されている学校数	校	55.00	55.00	55.00	55.00	55.00	55.00	55.00
		55.00	55.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	小・中学校設置者である市が事業実施することは妥当である		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	全小・中学校において学校生活支援員を配置している		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	学校訪問や講師の派遣により、きめ細やかな支援が行われている		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	指導助言は、本市の特別支援教育の充実に大きく貢献している		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	特別な教育的支援を要する児童生徒数は年々増加しており、各校の特別支援教育体制整備の充実に向け、医療的ケア支援員（看護師）を配置するとともに通級指導教室担当者等の指導支援を継続する。令和4年度より発達相談員を増員し、学校への訪問指導、支援を充実させる。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	特別な支援を必要とする児童生徒の増加に対応できるよう、特別支援教育の支援体制を充実していく。また、専門的な知識・経験を有する相談員が学校を訪問し、特別な支援を必要とする児童生徒の状況を把握し、学校での具体的な支援の方法について相談・助言や検査等を実施することによって、指導支援を充実していく。通級指導教室担当者等の研修を充実するとともに、運営会議を開催し、通級指導教室の設置・運営に関して協議を行うこと。		



# 事務事業評価シート（1/2）

772 頁  
令和 5年 9月 5日

整理番号 0258  
 評価年度 令和 4年度  
 所属 2476  
 事務事業番号 01439

進捗区分 所属評価  
 教育委員会教育支援センター  
 教育支援センター管理運営事業

所属長名 菊谷 愛  
 記入者 源田 扶左子

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	001	子どもの未来が輝くまちにします				
施策	002	子どもを守る仕組みの充実				
取組の方向性	003	一貫した子どもの発達支援				
事務事業	004	教育支援センター管理運営事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			

根拠法令等	教育支援センター条例 教育支援センターの管理運営に関する規則				
事業概要	(事業概要) 教育についての課題及び子育てに悩む保護者等に対して、子どもの健全育成を図るため、教育相談等の事業を行う。教育相談センターは平成27年2月に明日都浜大津ビルの1階・3階に移転した。開所日は月曜日から土曜日（日曜日と祝日と年末年始の定められた日は休み）の6日間である。 令和4年度、教育相談センターと特別支援教育室を統合し教育支援センターとなり、相談・支援窓口の一元化を図る。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 社会環境の変化等、様々な要因や背景により、集団不適應や情緒不安等、教育に関する課題及び子育ての悩みが複雑化、多様化してきている。 (見直しや改善等の経過) 平成27年2月に明日都浜大津に移転。子ども発達相談センター、学校教育課特別支援教育室と同一執務室で業務を行っており、連携を強化している。 令和4年度、教育相談センターと特別支援教育室を統合し、教育支援センターとなり包括的な支援を目指す。				

【事業分析】	
対象(何又は誰を)	教育についての課題や子育てに悩む保護者や教職員、不安や悩みを抱える子どもを対象に
目的(何のために)	市内小中学校・園の教育相談の中核機関として、教育相談を実施し、不登校（傾向）の子どもに対し適応指導教室を開設して、心身の健全な育成を図るため
手段(どのようなやり方で)	相談室の提供・適応指導教室の提供、教育相談講演会を実施することで
成果(どのような状態にするのか)	子どもの心身の健全な育成を図る教育施設として、適切な運営を行う。

【コスト】		(単位：千円)						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
		決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト		8,512	8,137	9,136	9,187	9,142	9,158	9,142
事業費		1,312	1,667	2,196	2,247	2,202	2,218	2,202
国庫支出金		0	0	0	0	0	0	0
県支出金		0	0	0	0	0	0	0
地方債		0	0	0	0	0	0	0
その他		0	0	0	0	0	0	0
一般財源		1,312	1,667	2,196	2,247	2,202	2,218	2,202
人件費計		7,200	6,470	6,940	6,940	6,940	6,940	6,940
事務・技術(人)		0.90	0.75	0.85	0.85	0.85	0.85	0.85
技能労務(人)		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)		0.00	0.20	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10
嘱託(人)		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費		0	0	0	0	0	0	0

# 事務事業評価シート（2/2）

773 頁  
令和 5年 9月 5日

整理番号 0258  
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 所属評価  
 所属 2476 教育委員会教育支援センター  
 事務事業番号 01439 教育支援センター管理運営事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-50-05-15-13-00-05-00	教育支援センター管理運営事業費	教育委員会教育支援センター

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)教育支援センタ 一開所日数	日	296.00	294.00	292.00	293.00	292.00	292.00	293.00
		293.00	294.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)教育支援センタ 一来所件数	件	4,500.00	4,000.00	4,000.00	4,000.00	4,000.00	4,000.00	4,000.00
		3,035.00	3,628.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	子育てに悩む市民に対して相談の場を提供することができる		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	市民からの教育相談にかかるニーズに応じることができている		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	子どもの在籍する学校との連携を図り支援を行うことができている		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	子どもが安心して学ぶことができる環境づくりに貢献している		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	平成27年2月より明日都浜大津内で子ども発達相談センターと同一施設で開設。令和2年4月には、特別支援教育室が開設され、令和4年度からは特別支援教育室の事務を教育支援センターに一元化することにより、相談・支援窓口の一元化による包括的な支援機能を確保する。2所属での執務室共用とともに、利用者数の漸増による相談室共用が難しくなってきたことから、何らかの対策が今後必要である。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	子ども発達相談センターとは一部対象年齢や対象者が異なっていることから、就学相談やことばの教室、学校園訪問の実施等において、一層連携を密にし、支援を充実させること。現在、当センターと子ども発達相談センターが同室で執務にあたっており、保護者や幼児・児童生徒との面談室を共用しているため、相談者数の増加に伴い面談室として、貸室を定期的に予約し備えておくこと。		





# 事務事業評価シート（1/2）

775 頁  
令和 5年 9月 5日

整理番号 0259  
評価年度 令和 4年度  
所属 2476  
事務事業番号 02222

進捗区分 所属評価  
教育委員会教育支援センター  
特別支援教育相談事業

所属長名 菊谷 愛  
記入者 源田 扶左子

## 【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	001	子どもの未来が輝くまちにします				
施策	002	子どもを守る仕組みの充実				
取組の方向性	003	一貫した子どもの発達支援				
事務事業	003	特別支援教育相談事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			

根拠法令等	大津市特別支援教育対象児等教育支援委員会規則					
事業概要	<p>(事業概要)</p> <p>○就学相談：子どもの状況把握と保護者の願いの聴取、専門家の意見聴取を行う。</p> <p>○特別支援教育巡回相談：学校における特別支援教育に係る助言や児童生徒観察、保護者相談を実施する。</p> <p>○大津市ことばの教室：ことばやコミュニケーションに課題がある子どもへの指導と保護者相談を行う。</p>					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	<p>(事業を取りまく社会環境)</p> <p>平成28年の障害者差別解消法の施行により、インクルーシブ教育体制づくりが求められるとともに、特別な支援を要する児童生徒への支援ニーズが年々高まってきている。</p> <p>(見直しや改善等の経過)</p> <p>就学相談件数の漸増により、効率的な就学相談の実施を目指して就学相談ガイドブックを発刊するとともに、毎年改訂を行うことで就学相談業務の適正化を図っている。</p>					

## 【事業分析】

対象(何又は誰を)	市内在住の幼児・児童・生徒を対象として					
目的(何のために)	特別な教育的支援を要する幼児、児童生徒の健やかな成長に資するため					
手段(どのようなやり方で)	巡回訪問の実施やことばの教室の運営、就学相談会を開催することで					
成果(どのような状態にするのか)	各学校園との円滑な連携、指導、相談を行い、個に応じた就学指導や特別な教育的支援の充実を図る。また、ことばの教室においては、保護者への相談活動や幼児児童生徒への言語指導の促進を図る。					

## 【コスト】

(単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	33,162	37,706	42,345	41,363	40,521	40,511	40,571
事業費	2,271	2,406	4,595	3,613	2,771	2,761	2,821
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	2,271	2,406	4,595	3,613	2,771	2,761	2,821
人件費計	30,891	35,300	37,750	37,750	37,750	37,750	37,750
事務・技術(人)	0.99	1.06	1.08	1.08	1.08	1.08	1.08
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	7.41	8.72	9.46	9.46	9.46	9.46	9.46
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

# 事務事業評価シート（2/2）

776 頁  
令和 5年 9月 5日

整理番号 0259  
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 所属評価  
 所属 2476 教育委員会教育支援センター  
 事務事業番号 02222 特別支援教育相談事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-50-05-15-21-00-02-00	特別支援教育相談事業費	教育委員会教育支援センター

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)特別支援教育相談実施件数	件	2,500.00	2,500.00	2,500.00	2,500.00	2,500.00	2,500.00	2,500.00
(成果)就学相談実施件数	件	2,492.00	3,167.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)就園就学相談実施率（令和4年度までの指標とする）	%	0.00	0.00	550.00	550.00	550.00	550.00	550.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		100.00	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		156.00	133.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
	C あまり妥当ではない		
	D 妥当ではない		
評価理由	特別な支援を要する児童生徒への支援ニーズは年々高まっている		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
	C あまり上がっていない		
	D 上がっていない		
評価理由	同一校園から複数回の相談依頼があり、支援の充実が見られる		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
	C あまり効率的でない		
	D 効率的でない		
評価理由	ガイドブック発刊等で効率的な相談実施が図れている		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
	C あまり貢献していない		
	D 貢献していない		
評価理由	増加する特別支援教育相談に対応し、本市特別支援教育推進に貢献		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	特別な支援を必要とする児童生徒に対して、更に適切な相談・支援を行うため、令和4年度より、ことばの教室指導員を増員するとともに専門的な視点から相談・支援を行う発達相談員を増員し、学校への巡回相談を充実させる。また、適正な就学先決定のための就学相談についても、年々相談件数が増加しており、その内容も複雑・多岐にわたることから、公認心理師および巡回相談の活用を今後より一層充実させる必要がある。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	特別な教育的支援を要する児童生徒への相談・支援を充実させるとともに、保護者の心情に沿った丁寧な就学相談の実施に必要な体制整備を検討する。また、多職種巡回相談員による巡回相談を実施し、より個別で専門的な相談・助言や検査等を行うことによって、指導支援の充実を図っていく。ことばの教室指導員が、難聴言語障害教育について専門性を高めたり、ICTを活用した指導やオンライン相談を実施したりするなど、きめ細かな支援の充実を図ること。		



# 事務事業評価シート（1/2）

778 頁  
令和 5年 9月 5日

整理番号 0260  
評価年度 令和 4年度  
所属 2412  
事務事業番号 02592

進捗区分 評価完了  
教育委員会学校給食課  
学校給食総務事業

所属長名 藤原 順二  
記入者 藤原 順二

## 【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	001	子どもの未来が輝くまちにします				
施策	003	子どもの教育の充実				
取組の方向性	001	将来の夢を広げ次代を生き抜く力の育成				
事務事業	027	学校給食総務事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			
根拠法令等	学校給食法					
事業概要	<p>(事業概要) 成長期にある児童生徒たちに、栄養バランスのとれた安全、安心な昼食を提供することにより、食事に関する正しい知識と望ましい食習慣を身につけられるよう学校給食事業を行っている。</p>					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	<p>(事業を取りまく社会環境) 子どもたちの健康増進と食事のバランス、安全、安心な食材の使用、食育の推進など、学校給食が果たす役割が年々大きくなってきている。 (見直しや改善等の経過) 令和2年1月から中学校給食を開始し全大津市立小中学校で完全給食を実施している。令和2年からの新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、感染対策をしながら給食を実施しているが、従前のように会話をしながら楽しく喫食することはまだ難しい状況である。そのような中においても更なる食育の推進を図るため、令和4年度から食育指導専門員を新規に雇用し活用するなど、学校において継続的な食育指導を行っている。</p>					

## 【事業分析】

対象(何又は誰を)	児童及び生徒を対象として
目的(何のために)	給食を通して、健康で心豊かな食習慣の形成を図るため
手段(どのようなやり方で)	地場産物を活用し、地域の郷土食や行事食を提供するとともに、給食の時間や関連する教科、学校における「食育の日」を活用しながら、食育を推進することで
成果(どのような状態にするのか)	望ましい食習慣を身につけるとともに、食文化の継承や地域の産物を理解し、命の大切さや食への感謝の気持ちを育む。

## 【コスト】

(単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	1,377,132	1,403,399	1,422,916	1,464,484	1,464,912	1,464,376	1,464,306
事業費	1,337,437	1,357,811	1,374,989	1,415,952	1,416,380	1,415,844	1,415,774
国庫支出金	710	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	1,264,413	1,253,037	1,222,860	1,170,539	1,170,539	1,170,539	1,170,539
一般財源	72,314	104,774	152,129	245,413	245,841	245,305	245,235
人件費計	39,695	45,588	47,927	48,532	48,532	48,532	48,532
事務・技術(人)	3.16	3.46	3.43	3.44	3.44	3.44	3.44
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	4.65	6.00	6.83	7.00	7.00	7.00	7.00
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

# 事務事業評価シート（2/2）

779 頁  
令和 5年 9月 5日

整理番号 0260  
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 評価完了  
 所属 2412 教育委員会学校給食課  
 事務事業番号 02592 学校給食総務事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
33-05-05-05-10-00-01-00	学校給食総務費	教育委員会学校給食課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)「食育の日」取組事業数	件	605.00	605.00	605.00	605.00	605.00	605.00	605.00
		381.00	377.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)地場産物の利用率	%	25.00	25.00	25.00	25.00	25.00	25.00	25.00
		22.50	21.70	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)残菜量(1食当)	g	45.00	45.00	45.00	45.00	45.00	45.00	45.00
		71.00	71.90	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	児童生徒が正しい食の知識や習慣を身につけるために食育が必要		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	B
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	教諭等による継続的な指導を行っており、引き続き取り組んでいく		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	給食費の徴収や食材調達を市で一元化し効率性を高めている		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	安心安全な学校給食を提供しつつ食育の推進を図っている		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	食育の推進は、児童生徒が望ましい食習慣を身につけ、また命の大切さや食への感謝の気持ちを育むために重要であり、今後も学校、栄養教諭、食育指導専門員の指導等による推進を図っていく。 地場産物の利用については、給食の実施規模が大きいことから供給量の確保に課題があるが、生産者団体や市内他部局と連携しながら可能な限り取り組みを進めているところであり、他市の事例等も参考に、引き続き地場産物を利用した給食献立の策定を行っていく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	学校給食は子どもたちにとって心身の健全な発達に必要なだけでなく、食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身につけるなど大きな役割を担っている。今後も事業の推進を図ることで食育の推進を図っていく。		



# 事務事業評価シート（1/2）

781 頁  
令和 5年 9月 5日

整理番号 0261  
 評価年度 令和 4年度  
 所属 2403  
 事務事業番号 00013

進捗区分 部局評価  
 教育委員会生涯学習課  
 社会教育関係団体推進事業

所属長名 足立 寿通  
 記入者 平松 理枝

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	003	生き生きと健康に過ごせるまちにします				
施策	009	生涯学習の推進				
取組の方向性	002	地域人材の育成				
事務事業	002	社会教育関係団体推進事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	その他					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			
根拠法令等	大津市補助金等交付規則、大津市社会教育推進事業補助金交付要綱					
事業概要	(事業概要) 青少年の健全育成の推進と社会教育活動の振興、家庭の教育力向上を図ること目的に、社会教育関係団体等が実施する社会教育推進事業に対し補助金を交付する。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 令和4年度までは新型コロナウイルス感染防止のため、講演会や研修会などの事業の規模が縮小される状態が続いていた。また、団体としても活動の幅が狭まっている。 (見直しや改善等の経過) 令和2年度から社会教育関係団体補助金、ジュニアリーダー育成推進事業補助金、家庭教育推進事業補助金を統合した。					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	社会教育関係団体等を対象に
目的(何のために)	青少年の健全育成の推進と社会教育活動の振興、家庭の教育力向上を図るため
手段(どのようなやり方で)	事業補助金を交付し
成果(どのような状態にするのか)	地域の社会教育事業の充実を図る。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	2,692	2,141	3,682	3,889	3,940	3,991	3,991
事業費	782	1,020	1,937	1,988	2,039	2,090	2,090
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	782	1,020	1,937	1,988	2,039	2,090	2,090
人件費計	1,910	1,121	1,745	1,901	1,901	1,901	1,901
事務・技術(人)	0.20	0.10	0.18	0.20	0.20	0.20	0.20
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.10	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

# 事務事業評価シート（2/2）

782 頁  
令和 5年 9月 5日

整理番号 0261  
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 部局評価  
 所属 2403 教育委員会生涯学習課  
 事務事業番号 00013 社会教育関係団体推進事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-50-25-05-20-00-05-00	社会教育関係団体等推進事業費	教育委員会生涯学習課

【定量評価】 上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動) 交付団体数	団体	10.00	10.00	11.00	12.00	13.00	14.00	14.00
		7.00	8.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 活動事業数（事業補助）	回	40.00	40.00	41.00	42.00	43.00	44.00	44.00
		16.00	21.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
		評価理由	
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	B
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
		評価理由	
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
		評価理由	
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
		評価理由	
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	令和4年度までは新型コロナウイルス感染症の影響により、従前に比べると活動を縮小・自粛する団体が多くなっている。引き続き、健全かつ適正な補助金交付に努めるとともに、社会教育に関する事業を活性化させるため、新たな団体へも補助金制度の周知及び申請手続きの支援を積極的に行い、更なる社会教育の推進を図っていく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	平成29年度の運営補助から事業補助への転換により、社会教育関係団体の事業の充実を図っている。また、令和2年度より既存団体だけでなく、社会教育推進事業を行う団体を広く公募しているが、コロナ禍により活動を自粛していた団体が多く、回復への兆しは見えるものの、コロナ前の水準には至っていない。今後は積極的に当該補助金の周知を行い、各地域の団体が幅広い分野で補助金を活用することにより、地域に根ざした社会教育の更なる充実を図る。		





# 事務事業評価シート（1/2）

784 頁  
令和 5年 9月 5日

整理番号 0262  
 評価年度 令和 4年度  
 所属 2403  
 事務事業番号 00804

進捗区分 部局評価  
 所属長名 足立 寿通  
 記入者 高山 泰照

教育委員会生涯学習課  
 生涯学習推進事業

## 【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	003	生き生きと健康に過ごせるまちにします				
施策	009	生涯学習の推進				
取組の方向性	001	生涯にわたって学べる環境づくり				
事務事業	001	生涯学習推進事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			

根拠法令等	教育基本法				
事業概要	(事業概要) 大津市生涯学習推進本部を設置し、生涯学習に関する施策を総合的かつ機能的に推進するとともに、大津市生涯学習推進会議においては、市内の関係団体等の連携、協力による生涯学習の推進を図る。また、住民等で構成される団体からの要請に基づき、職員を講師として派遣して専門知識を生かした出前講座を開催し、住民が行政に関する理解を深め、学習機会の充実と意識啓発を図って生涯学習によるまちづくりの推進を図る。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 本格的な人口減少社会に加え、新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり、行動制限などが余儀なくされる中、持続可能な自主自立のまちづくりが必要であり、必要課題に係る学習機会の提供と学習成果を地域づくりに生かすことが求められている。 (見直しや改善等の経過) ここ数年において、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で出前講座の申し込みが減少したことを受け、改めて多くの方に前講座を知っていただくためにプロモーション動画を制作した。また、コロナ禍で急速に普及したオンライン利用やオンデマンドに対応すべく、オンライン開催できる講座を充実させた。				

## 【事業分析】

対象(何又は誰を)	一般市民及び生涯学習を推進する関係団体等を対象に
目的(何のために)	生涯学習に関する施策を総合的かつ機能的に推進するとともに、市内の関係団体等の連携、協力を促進し、本市における生涯学習の振興を図るため
手段(どのようなやり方で)	生涯学習推進フォーラムの開催、熱心まちづくり出前講座などの各種事業による学ぶ機会の提供及び関係団体のネットワークを構築し
成果(どのような状態にするのか)	市民一人ひとりが、その生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができ、その成果を地域のために生かすことのできる社会を実現する。

## 【コスト】

(単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	3,056	11,183	13,513	14,833	13,833	13,833	13,833
事業費	101	893	1,273	2,983	1,983	1,983	1,983
国庫支出金	0	501	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	62	110	62	62	62
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	101	392	1,211	2,873	1,921	1,921	1,921
人件費計	2,955	10,290	12,240	11,850	11,850	11,850	11,850
事務・技術(人)	0.35	1.20	1.45	1.40	1.40	1.40	1.40
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.05	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

# 事務事業評価シート（2/2）

785 頁  
令和 5年 9月 5日

整理番号 0262  
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 部局評価  
 所属 2403 教育委員会生涯学習課  
 事務事業番号 00804 生涯学習推進事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-50-25-10-26-00-04-00	生涯学習推進事業費	教育委員会生涯学習課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)熱心まちづくり 出前講座メニュー数	個	114.00	142.00	144.00	146.00	148.00	150.00	150.00
		140.00	142.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)熱心まちづくり 出前講座参加者数	人	2,850.00	2,900.00	2,950.00	3,000.00	3,050.00	3,100.00	3,100.00
		650.00	1,341.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)熱心まちづくり 出前講座利用者の満足度	%	74.00	76.00	78.00	80.00	80.00	80.00	80.00
		70.00	79.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	生涯学習の推進を図ることが行政に求められている		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	3つの講座において、一部の方がオンラインで参加された		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	出前講座では、オンライン開催可能な講座を充実させた		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	多様な学習機会を提供しライフステージに応じて学ぶことができる		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	出前講座については、プロモーション動画を活用して周知を行い、更なる出前講座の参加者数の増加と満足度アップを図り、引き続き住民の学習ニーズに対応した講座の提供を行いながら自主的な学びを充実させる。また、生涯学習を推進する各種団体との連携や団体同士の連携も強化しながら、学びのネットワークを広げることができる環境づくりに取り組む。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	今後も引き続き、市民のライフステージに応じた学習機会の提供、さらには時間や場所にとらわれない、多様な学習機会が提供できるよう、熱心まちづくり出前講座のPR動画などを活用し、学びと活動の循環を促進していく。また、ここ3年間のコロナ禍を踏まえ、少しずつ出前講座の参加者数が戻りつつあるが、今後は時代に即した新たな提供方法も模索していく。		



# 事務事業評価シート（1/2）

787 頁  
令和 5年 9月 5日

整理番号 0263  
 評価年度 令和 4年度  
 所属 2403  
 事務事業番号 00811

進捗区分 部局評価  
 教育委員会生涯学習課  
 20歳（はたち）のつどい開催事業

所属長名 足立 寿通  
 記入者 平松 理枝

## 【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	003	生き生きと健康に過ごせるまちにします				
施策	010	青少年の健全育成				
取組の方向性	001	子ども・若者の健やかな育成				
事務事業	004	20歳（はたち）のつどい開催事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			
根拠法令等						
事業概要	(事業概要) 次代を担う20歳（はたち）の青年の門出を祝福するとともに、大人になったことを自覚し、生き抜こうとする意欲の高揚を図るため、20歳（はたち）のつどいを挙げる。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 式典前後における一部参加者の迷惑行為や会場周辺の混雑が例年の課題となっており、引き続き、効率的な運営手法の検討が必要である。 (これまでの見直し) 新型コロナウイルス感染拡大により、令和2年度より会場を分散して開催することとした。					

## 【事業分析】

対象(何又は誰を)	平成14年4月2日～平成15年4月1日生まれの者を対象に
目的(何のために)	次代を担う20歳（はたち）の青年の門出を祝福するとともに、大人になったことを自覚し、生き抜こうとする意欲の高揚を図るため
手段(どのようなやり方で)	20歳（はたち）の者の意見を取り入れた式典を挙行し
成果(どのような状態にするのか)	参加者に20歳（はたち）になったことの自覚を促すとともに、社会の一員としての責務を再認識させる。

## 【コスト】

(単位：千円)

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	14,051	18,008	18,244	18,833	18,833	18,833	18,833
事業費	8,265	9,118	9,510	9,943	9,943	9,943	9,943
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	8,265	9,118	9,510	9,943	9,943	9,943	9,943
人件費計	5,786	8,890	8,734	8,890	8,890	8,890	8,890
事務・技術(人)	0.70	1.10	1.08	1.10	1.10	1.10	1.10
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.06	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

# 事務事業評価シート（2/2）

788 頁  
令和 5年 9月 5日

整理番号 0263  
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 部局評価  
 所属 2403 教育委員会生涯学習課  
 事務事業番号 00811 20歳（はたち）のつどい開催事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-50-25-10-60-00-11-00	20歳（はたち）のつどい開催事業費	教育委員会生涯学習課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)参加者	人	2,160.00	2,340.00	2,482.00	2,388.00	2,277.00	2,475.00	2,489.00
(成果)参加率	%	2,158.00	2,092.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		60.00	65.00	70.00	71.00	72.00	73.00	74.00
		61.13	58.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
		評価理由	
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	B
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
		評価理由	
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	B
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
		評価理由	
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
		評価理由	
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	令和4年度は前年度までの反省を生かし、参加者の円滑な入退場を実現することができた。今後も次代を担う20歳（はたち）の青年の門出を祝福するとともに、20歳（はたち）としての意識の高揚を図るため、企画委員等の意見を取り入れつつ、記念式典を開催する。参加者にとって、より思い出深い事業となるよう企画の充実を図っていく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	平成28年度から実行委員会形式で事業実施することにより、参加者と同年代の若者の声を取り入れた式典となるよう取り組んでいる。令和4年度はコロナ禍の下ではあったが、工夫を凝らし円滑に実施することができた。今後も参加者が自分たちで作りに上げる式典であるという当事者意識を持って参加できるよう、引き続き企画の充実を図っていく。		



# 事務事業評価シート（1/2）

790 頁  
令和 5年 9月 5日

整理番号 0264  
評価年度 令和 4年度  
所属 2403  
事務事業番号 00816

進捗区分 部局評価  
教育委員会生涯学習課  
公民館講座等開設事業

所属長名 足立 寿通  
記入者 高山 泰照

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	002	心豊かに暮らせる、福祉が充実したまちにします				
施策	004	高齢者の福祉・介護の充実				
取組の方向性	001	高齢者が元気で活躍する暮らしの推進				
事務事業	010	公民館講座等開設事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			

根拠法令等	教育基本法、社会教育法、公民館の設置及び管理に関する条例、同規則				
事業概要	<p>(事業概要)</p> <p>公民館において、住民の学習ニーズに応えるとともに、団塊世代の地域参加や子どもの体験活動など、様々な講座を通じて地域社会の諸問題を認識し、主体的に行動する人材育成をめざす。</p>				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	<p>(事業を取りまく社会環境)</p> <p>少子高齢化の進行などから地方創生や持続可能なまちづくり等が求められている。また、価値観の多様化などから人間関係が希薄化しており、さまざまな主体が協働し地域課題の解決に取り組むことが必要である。 (見直しや改善等の経過)</p> <p>令和2年度からの地域の各種団体と協働して行う「地域提案事業」を開始した。今後も幅広い講座開設に努める。</p>				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	すべての地域住民を対象に
目的(何のために)	少子高齢化や核家族化等、地域社会のさまざまな課題を認識し、学びの成果を地域に還元できる人材を育成するため
手段(どのようなやり方で)	住民の学習ニーズに応えつつ、地域社会が抱えている課題に対応した講座を開催し
成果(どのような状態にするのか)	地域のために行動できる人材の育成を図り、社会教育の充実したまちづくりへの貢献を図る。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	73,457	64,058	58,139	57,664	53,818	48,857	45,192
事業費	1,464	1,502	2,320	2,320	2,279	2,324	2,193
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	1,464	1,502	2,320	2,320	2,279	2,324	2,193
人件費計	71,993	62,556	55,819	55,344	51,539	46,533	42,999
事務・技術(人)	2.40	2.44	2.24	2.35	2.20	1.90	1.90
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	17.03	14.04	12.37	11.94	11.09	10.23	9.09
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0



# 事務事業評価シート（2/2）

791 頁  
令和 5年 9月 5日

整理番号 0264  
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 部局評価  
 所属 2403 教育委員会生涯学習課  
 事務事業番号 00816 公民館講座等開設事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-50-25-35-16-00-01-00	公民館講座等開設費	教育委員会生涯学習課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動) 公民館講座の開催数	回	540.00	863.00	825.00	675.00	540.00	430.00	350.00
		530.00	547.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 公民館講座の参加者数	人	21,000.00	33,900.00	32,400.00	26,500.00	21,000.00	17,000.00	14,000.00
		14,100.00	10,449.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
		評価理由	
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	B
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
		評価理由	
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	B
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
		評価理由	
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
		評価理由	
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	令和2年度から始まったコミュニティセンターへの移行について、令和4年度は移行した公民館が6館（小野、仰木、滋賀、藤尾、富士見、晴嵐）となったこともあり、公民館講座の参加者数が減少した。今後も社会状況の変化や地域住民のニーズに注視しながら、地域を超えた団体同士の交流や情報交換などが積極的に行える場所を提供できるよう継続した公民館活動を推進していく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	令和4年度は、公民館講座の開催数が増えたものの、新型コロナウイルス感染症の影響やコミュニティセンターへの移行に伴い、参加者数は減少した。公民館での講座は、様々な人々が連携し、地域のために主体的に行動できる人材の育成につながるものであることから、地域の課題解決を踏まえながら幅広い講座開催に努めていく。		



# 事務事業評価シート（1/2）

793 頁  
令和 5年 9月 5日

整理番号 0265  
評価年度 令和 4年度  
所属 2403  
事務事業番号 00831

進捗区分 部局評価  
教育委員会生涯学習課  
人権・生涯学習推進事業

所属長名 足立 寿通  
記入者 石田 明生

## 【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画	
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります	
基本政策	004	つながりを大切に、共に支えあうまちにします	
施策	012	人権及び平和意識の高揚と男女共同参画の推進	
取組の方向性	001	人権啓発の推進	
事務事業	002	人権・生涯学習推進事業	
新規継続区分	継続		
運営方法	直営		
評価区分	対象	主な取組区分	対象

根拠法令等	教育基本法、人権教育及び人権啓発の推進に関する法律		
事業概要	<p>(事業概要)</p> <p>市民一人ひとりが、人権学習を生涯学習として捉え、互いの人権を尊重する心豊かな社会の確立に向けた自主的な活動を支援するほか、様々な人権学習の機会を提供していく。また、市内の人権学習において、中心的な役割を果たしている地域の「人権・生涯」学習推進協議会や大津市「人権・生涯」学習推進協議会連合会、「人権を守る大津市民の会」、「人権を考える大津市民のつどい運営委員会」の団体の活動を支援するもの。</p>		
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	<p>(事業を取りまく社会環境)</p> <p>差別やいじめ、虐待やDV、様々なハラスメントやインターネットによる人権侵害など、新たな人権課題が出現しているため、正しい理解と認識を広げ、深める取組みが求められている。</p> <p>(見直しや改善等の経過)</p> <p>持続可能な事業の進め方について、適宜見直しを図ってきた。大津市「人権・生涯」学習推進協議会連合会の負担軽減のため委託業務の見直しを行い、人権講座や全体交流研修会などを直営とした。</p>		

## 【事業分析】

対象(何又は誰を)	全市民を対象に
目的(何のために)	市民一人ひとりの人権が尊重されるまちづくりを推進するため
手段(どのようなやり方で)	各学区「人権・生涯」学習推進協議会を始めとする人権学習推進団体等に対する支援のほか、様々な人権学習の機会を提供し
成果(どのような状態にするのか)	生涯を通じて、人権学習に取り組める環境を実現する。

## 【コスト】 (単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	21,175	22,049	23,670	23,670	23,750	23,885	23,910
事業費	7,603	8,714	7,984	7,984	8,064	8,199	8,224
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	7,603	8,714	7,984	7,984	8,064	8,199	8,224
人件費計	13,572	13,335	15,686	15,686	15,686	15,686	15,686
事務・技術(人)	1.65	1.65	1.55	1.55	1.55	1.55	1.55
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.12	0.15	1.16	1.16	1.16	1.16	1.16
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

# 事務事業評価シート（2/2）

794 頁  
令和 5年 9月 5日

整理番号 0265  
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 部局評価  
 所属 2403 教育委員会生涯学習課  
 事務事業番号 00831 人権・生涯学習推進事業

## 【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-50-25-10-26-00-01-00	人権・生涯学習推進事業費	教育委員会生涯学習課

【定量評価】		上段：目標値 下段：実績値						
指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)人権を考える大津市民のつどい参加者数	人	5,000.00	5,000.00	5,000.00	5,000.00	5,000.00	5,000.00	5,000.00
		1,120.00	2,419.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)人権作品応募総数	点	40,000.00	40,000.00	40,000.00	40,000.00	40,000.00	40,000.00	40,000.00
		29,252.00	30,866.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)人権を考える大津市民のつどい満足度	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		98.00	98.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)人権作品展満足度	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		97.00	93.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】		評価の観点		基準		評価
評価項目						
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	B	
			B	ほぼ妥当である		
			C	あまり妥当ではない		
			D	妥当ではない		
評価理由		事務分担について、一部見直しを行った				
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	A	
			B	やや上がっている		
			C	あまり上がっていない		
			D	上がっていない		
評価理由		ほとんどのブロックでつどいが開催された				
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A	
			B	やや効率的である		
			C	あまり効率的でない		
			D	効率的でない		
評価理由		開催方針等の検討を行い、実施に向けて見直しをしている				
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A	
			B	やや貢献している		
			C	あまり貢献していない		
			D	貢献していない		
評価理由		市民への人権啓発や学びの場となっている				
評価理由						

【所属評価結果】			
総合評価	事業の進め方に改善が必要	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	コロナ禍においても、大津市「人権・生涯」学習推進協議会連合会を始めとする人権学習推進団体等が工夫を凝らしながら事業を進めており、各地域の団体が主体となって地域に根差した人権学習が実施されている。しかしながら、高齢化や地域の担い手不足等が課題のため、持続可能な形への見直しを続ける必要がある。		

【部局評価結果】			
総合評価	事業の進め方に改善が必要	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	本市と人権学習団体とが両輪となって人権学習を推進していくため、持続可能な推進体制の在り方を検討してきた。今後も引き続き、全ての市民の人権が尊重される地域社会の実現に向け、人権に対する正しい理解と認識を深める取り組みを進めていく。		



# 事務事業評価シート（1/2）

796 頁  
令和 5年 9月 5日

整理番号 0266  
 評価年度 令和 4年度  
 所属 2403  
 事務事業番号 00834

進捗区分 部局評価  
 教育委員会生涯学習課  
 家庭・地域教育推進事業

所属長名 足立 寿通  
 記入者 平出 新

## 【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	003	生き生きと健康に過ごせるまちにします				
施策	009	生涯学習の推進				
取組の方向性	001	生涯にわたって学べる環境づくり				
事務事業	002	家庭・地域教育推進事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	その他					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			
根拠法令等	教育基本法					
事業概要	(事業概要) 家庭や家族を取り巻く社会環境が変化し、家庭のあり方や教育機能が変わっている。心豊かでたくましい子どもを育てるため、親子ふれあいのための社寺等無料開放事業を実施するとともに、「おおつ家庭教育5か条」を策定し、家庭教育の推進を図っている。 また、コミュニティ・スクールが設置された地域に地域学校協働活動推進員を委嘱し、地域社会全体で子どもの成長を支える活動を推進している。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 近年の急激な社会構造の変化により、地域社会の人間関係の希薄化、核家族化が進み、家庭や地域の教育力が低下してきている。 (見直しや改善等の経過) 平成23年度に策定した「おおつ家庭教育5か条」については、令和3年度に、啓発の方法をリーフレットからクリアファイルの配布に変更した。					

## 【事業分析】

対象(何又は誰を)	保護者や子ども、地域住民を対象に
目的(何のために)	地域における様々な家庭教育支援の取り組みを充実させることにより、家庭及び地域の教育力の向上を目指すため
手段(どのようなやり方で)	親の学びや親同士の交流、親子若しくは世代間のふれあいを促進する事業の実施や、地域学校協働活動推進員を委嘱し
成果(どのような状態にするのか)	保護者や子どもたちに、様々な学びやふれあいの場の拡大と充実を図り、家庭教育の意識の高揚を図るとともに、学校と地域が連携して地域社会全体で子どもの成長を支える意識が根付く。

## 【コスト】

(単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	13,437	12,241	16,023	16,832	17,106	17,106	17,126
事業費	2,355	2,433	4,812	5,075	5,349	5,349	5,369
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	2,355	2,433	4,812	5,075	5,349	5,349	5,369
人件費計	11,082	9,808	11,211	11,757	11,757	11,757	11,757
事務・技術(人)	1.30	1.17	1.33	1.40	1.40	1.40	1.40
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.22	0.22	0.27	0.27	0.27	0.27	0.27
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

# 事務事業評価シート（2/2）

797 頁  
令和 5年 9月 5日

整理番号 0266  
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 部局評価  
 所属 2403 教育委員会生涯学習課  
 事務事業番号 00834 家庭・地域教育推進事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-50-25-05-20-00-04-00	家庭・地域教育推進事業費	教育委員会生涯学習課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動) 地域学校協働活動推進員委嘱数	人	40.00	46.00	49.00	51.00	51.00	51.00	51.00
		42.00	45.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 地域学校協働本部数	件	3.00	1.00	3.00	5.00	7.00	10.00	10.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	地域人材同士が関わりを持ち、ネットワークを構築している		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	B
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	地域学校協働本部を導入するための協議が進んでいる		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	B
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	これまでの経過をふまえながら各事業について効率化を進めている		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	B
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	家庭・地域総がかりで子どもを育てていく下地が構築されつつある		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
所属コメント (400文字)	コロナ禍で大きく社会環境が変化し、家庭や地域における教育の重要性について再認識をしてもらうため、「我が家の1か条」の募集を通じて「おおつ家庭教育5か条」の周知を図るとともに、家族のふれあいを深める「文化財等家族参観事業」を継続する。また、各地域の状況をふまえ、地域学校協働活動を推進し、学校・地域・家庭の連携を進めていく。子ども読書活動については「大津市子ども読書活動推進計画（第4次）」に基づき関係課が連携し、体系的に事業を進める。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
部局コメント (400文字)	家庭、地域、学校が連携・協働して社会全体で子どもの成長を支えていくために、地域学校協働活動とコミュニティスクールを一体的に推進する。また、「おおつ家庭教育5か条」がより浸透するよう、学校園や公民館等とも連携しながら、周知の機会の充実を図っていく。		





# 事務事業評価シート（1/2）

799 頁  
令和 5年 9月 5日

整理番号 0267  
 評価年度 令和 4年度  
 所属 2403  
 事務事業番号 00890

進捗区分 部局評価  
 教育委員会生涯学習課  
 青少年教育推進事業

所属長名 足立 寿通  
 記入者 大田 美都里

## 【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画	
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります	
基本政策	003	生き生きと健康に過ごせるまちにします	
施策	010	青少年の健全育成	
取組の方向性	001	子ども・若者の健やかな育成	
事務事業	002	青少年教育推進事業	

新規継続区分	継続			
運営方法	直営			
評価区分	対象	主な取組区分	対象外	

## 【事業概要】

事業概要	<p>(事業概要)                  青少年の健全育成並びに青少年活動の活性化のための事業を行う。(ユースボランティアセミナー研修会の開催、青少年セミナーハウスの設置)</p>
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	<p>(事業を取りまく社会環境)                  少子化の進行とともに自然体験の機会が減少していること等から、青少年及び青少年指導者の養成、育成の機会は減少傾向にある。                  (見直しや改善等の経過)                  ジュニアリーダー推進事業補助金は平成29年度から大津市社会教育関係団体事業補助金に統合した。平成26年度からユースボランティアセミナーを開設し、指導者の養成及び育成を図っている。</p>

## 【事業分析】

対象(何又は誰を)	ユースボランティアセミナー参加者及び同企画委員を対象に
目的(何のために)	青少年が、若さと情熱を持って積極的、自主的にまちづくりに貢献するため
手段(どのようなやり方で)	ユースボランティアセミナー研修会の開催や、青少年関係団体が活動できる場所を提供し
成果(どのような状態にするのか)	青少年指導者の養成・育成を図る。

## 【コスト】 (単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	2,376	3,432	2,274	2,430	2,430	2,430	2,430
事業費	314	281	449	449	449	449	449
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	314	281	449	449	449	449	449
人件費計	2,062	3,151	1,825	1,981	1,981	1,981	1,981
事務・技術(人)	0.25	0.40	0.23	0.25	0.25	0.25	0.25
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.02	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

# 事務事業評価シート（2/2）

800 頁  
令和 5年 9月 5日

整理番号 0267  
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 部局評価  
 所属 2403 教育委員会生涯学習課  
 事務事業番号 00890 青少年教育推進事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-50-25-10-60-00-01-00	青少年教育推進事業費	教育委員会生涯学習課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動) 青少年指導者研修（ユースボランティアアセミナー）委員数	人	15.00	15.00	15.00	15.00	15.00	15.00	15.00
(成果) 青少年指導者研修（ユースボランティアアセミナー）参加者	人	11.00	10.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		20.00	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00
		8.00	4.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	B
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
		評価理由	
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	B
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
		評価理由	
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	B
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
		評価理由	
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	B
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
		評価理由	
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	事業の進め方に改善が必要	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	ここ数年はコロナ禍により事業規模を縮小した研修会の実施となっている。令和5年度は、コロナ前と同様の取り組みを行い青少年が活躍できる場を提供するとともに、社会の変化の状況をふまえつつ、今後の青少年教育推進事業の在り方等を検討していく。		

【部局評価結果】

総合評価	事業の進め方に改善が必要	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	「ユースボランティアアセミナー研修会」などを通して、青少年リーダーの養成を図っているが、令和2年度以降は新型コロナウイルス感染症の影響により事業の規模縮小を余儀なくされ、機会を十分生かせなかった。今後は、事業の方向性の見直しも含めて検討し、青少年指導者の養成及び育成を図っていく。		



# 事務事業評価シート（1/2）

802 頁  
令和 5年 9月 5日

整理番号 0268  
評価年度 令和 4年度  
所属 2403  
事務事業番号 03371

進捗区分 部局評価  
教育委員会生涯学習課  
おおつ学推進事業

所属長名 足立 寿通  
記入者 高見 勇人

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	003	生き生きと健康に過ごせるまちにします				
施策	009	生涯学習の推進				
取組の方向性	002	地域人材の育成				
事務事業	001	おおつ学推進事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			
根拠法令等	教育基本法					
事業概要	<p>(事業概要) 大津の資源を生かした体験型の連続講座を通して、地域への関心を高め、地域を愛する心を育むとともに、学ぶ者同士がつながり、地域づくりのために行動できる人材の育成を図る。</p>					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	<p>(事業を取りまく社会環境) 少子高齢化や地域コミュニティの希薄化など地域を取り巻く問題・課題が多様化しているなか、住民主体の持続可能なまちづくりが必要であり、個の学びだけでなく学習成果を地域づくりに生かすことが求められている。 (見直しや改善等の経過) 平成29年度から実際に特定の地域に入り込み、地域の方と一緒に学ぶ機会を設定するとともに、包括協定を締結している大学と連携しながら、受講生、地域、大学生がともに学ぶ内容とした。</p>					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	一般市民を対象に
目的(何のために)	地域への関心を高め、地域を愛する心を育むとともに、学ぶ者同士がつながり、地域づくりのために行動できる人材の育成を図るため
手段(どのようなやり方で)	体験型の連続講座を通して
成果(どのような状態にするのか)	地域のために行動できる人材を増やす。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	3,697	2,731	4,274	3,494	3,494	3,494	3,494
事業費	274	303	454	454	454	454	454
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	57	75	75	0	0	0	0
一般財源	217	228	379	454	454	454	454
人件費計	3,423	2,428	3,820	3,040	3,040	3,040	3,040
事務・技術(人)	0.30	0.20	0.45	0.35	0.35	0.35	0.35
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.33	0.28	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

# 事務事業評価シート（2/2）

803 頁  
令和 5年 9月 5日

整理番号 0268  
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 部局評価  
 所属 2403 教育委員会生涯学習課  
 事務事業番号 03371 おおつ学推進事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-50-25-10-26-00-05-00	おおつ学推進事業費	教育委員会生涯学習課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動) 受講者数	人	20.00	25.00	25.00	25.00	25.00	25.00	25.00
		19.00	25.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 地域活動への意欲度	%	70.00	95.00	95.00	95.00	95.00	95.00	95.00
		93.30	79.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	B
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	地域人材の育成を市が行うことが妥当である		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	B
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	修了生と地域が連携した取り組みとなっている		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	B
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	受講生・地域・学生との協働による1つの学習手法となっている		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	B
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	修了生の地域活動への意欲度が高まっている		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	事業の進め方に改善が必要	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	大津人実践講座については、令和4年度は中央学区をフィールドに地域づくりにつながる学習機会を提供しており、大津を知り、大津を愛する大津人を育てるきっかけとして、引き続き大学や地域との連携を進めていく。ただし、手法については、単位制など課題のあった講座の方法を変更し、より多くの市民の受講機会を増やしていく。		

【部局評価結果】

総合評価	事業の進め方に改善が必要	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	講座修了生で組織する「おおつびと倶楽部」の活動や、受講生の企画案が地域の取り組みにつながるなど「学びと活動の循環」が形成され、まちづくりへの気運を高まるきっかけとなっている。今後も引き続き、大学や地域の連携を深めるとともに、大津人基礎講座については定員を増やすなど、大津の魅力の発見や地域への関心を高める講座を目指す。		



# 事務事業評価シート（1/2）

805 頁  
令和 5年 9月 5日

整理番号 0269  
 評価年度 令和 4年度  
 所属 2462  
 事務事業番号 00807

進捗区分 評価完了  
 教育委員会生涯学習センター  
 生涯学習センター管理運営事業

所属長名 遠藤 健  
 記入者 岩田 浩二

## 【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	003	生き生きと健康に過ごせるまちにします				
施策	009	生涯学習の推進				
取組の方向性	001	生涯にわたって学べる環境づくり				
事務事業	014	生涯学習センター管理運営事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			
根拠法令等	大津市生涯学習センター条例・規則					
事業概要	(事業概要) 市民の生涯学習活動の拠点として、平成4年4月に7つの機能を併せ持つ総合教育文化施設「生涯学習センター」を開館。以来、建物と設備の維持管理と保全を図りながら、市民の自主活動を支援するため、各種学習室や多目的ホールの貸し出し業務を実施すると共に、センターの機能を生かした自主事業を開催し、多くの市民に学習の機会や場を提供している。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 持続可能な都市経営を目指すため、公共施設マネジメントの推進により効率的で効果的な施設運営が求められている。コロナウイルス対策をする等、利用者にとって安全で快適な学習環境を提供し、自主的な学習活動の支援に重点を置いている。 (見直しや改善等の経過) 当施設は開館以来30年が経過しており、設備機器等の老朽化が進んでいる。計画的な修繕や改修を行い、施設の長寿命化を図るとともに、今後照明設備のLED化を行い経費の削減を行う。					

## 【事業分析】

対象(何又は誰を)	子どもから高齢者まで幅広い世代を対象として
目的(何のために)	利用者の生涯にわたる学習活動や発表の場を提供し、また、自主事業を通して利用者の交流や様々な学習機会の提供を図るため
手段(どのようなやり方で)	多様化する学習ニーズの中で、より多くの方が生涯学習活動に参加できるよう情報の発信と快適に学習できる環境を提供することで
成果(どのような状態にするのか)	多くの利用者にとって、満足度の高い施設とする。

## 【コスト】 (単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	111,293	121,079	118,362	125,061	145,069	124,841	124,841
事業費	69,448	88,732	87,437	91,856	111,864	91,636	91,636
国庫支出金	0	26,818	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	20,394	20,255	20,207	20,207	20,207	20,207	20,207
一般財源	49,054	41,659	67,230	71,649	91,657	71,429	71,429
人件費計	41,845	32,347	30,925	33,205	33,205	33,205	33,205
事務・技術(人)	2.20	1.24	1.10	1.10	1.10	1.10	1.10
技能労務(人)	0.00	0.00	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30
再任用(人)	1.00	1.15	0.75	1.15	1.15	1.15	1.15
会計年度任用(人)	5.95	5.20	5.20	5.20	5.20	5.20	5.20
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

# 事務事業評価シート（2/2）

806 頁  
令和 5年 9月 5日

整理番号 0269  
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 評価完了  
 所属 2462 教育委員会生涯学習センター  
 事務事業番号 00807 生涯学習センター管理運営事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-50-25-15-50-00-01-00	生涯学習センター管理運営事業費	教育委員会生涯学習センター

【定量評価】 上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)生涯学習関連講座、講演会等開催事業数	事業	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00
		4.00	6.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)視聴覚ライブラリー関連講座開催日数	日	7.00	7.00	7.00	7.00	7.00	7.00	7.00
		0.00	13.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)ホール・学習室等年間利用者数	人	144,000.00	144,000.00	144,000.00	144,000.00	144,000.00	144,000.00	144,000.00
		107,702.00	145,697.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)講座等参加人数	人	300.00	300.00	300.00	300.00	300.00	300.00	300.00
		269.00	433.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
		評価理由	
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
		評価理由	
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
		評価理由	
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
		評価理由	
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	新型コロナウイルス感染症が5類となり利用者数が増加しているが、安全・安心な学習環境となるよう一定の感染対策を維持しながらセンターの利用促進を進める。引きつづき大津市に関する様々な学習情報や文化情報の発信拠点としての位置づけを強化し、市民の総合的な学びの場となるよう適切な管理運営を行っていく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	市民の生涯学習の拠点施設として、安全で快適な学習環境の提供と、情報発信を行い、また、複合施設としての魅力向上、利用者満足度の向上に取り組む。		





# 事務事業評価シート（1/2）

808 頁  
令和 5年 9月 5日

整理番号 0270  
評価年度 令和 4年度  
所属 2469  
事務事業番号 00812

進捗区分 評価完了  
教育委員会北部地域文化センター  
北部地域文化センター運営事業

所属長名 金利 辰夫  
記入者 石田 喜代之

## 【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	003	生き生きと健康に過ごせるまちにします				
施策	009	生涯学習の推進				
取組の方向性	001	生涯にわたって学べる環境づくり				
事務事業	015	北部地域文化センター運営事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			
根拠法令等	大津市北部地域文化センター条例					
事業概要	<p>(事業概要)</p> <p>北部地域における文化活動や生涯学習活動の拠点として、積極的な活用を図る。また、複合施設（文化ホール・北図書館・堅田少年センター・堅田児童館）としての維持管理の充実に努めている。</p>					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	<p>(事業を取りまく社会環境)</p> <p>平成5年7月の開設以来、北部地域の文化芸術活動・生涯学習の拠点施設として根つき、地域住民に親しまれてきたが、少子高齢化や市民ニーズの多様化の進展に伴い、新規需要に応える事業展開が求められている。（見直しや改善等の経過）</p> <p>平成25年度から自主事業を地域密着型の文化事業に見直し、また平成29年度以降はニーズの高い新規自主事業を積極的に展開し、着実に成果をあげてきた。</p>					

## 【事業分析】

対象(何又は誰を)	市民を対象に
目的(何のために)	市民の文化芸術活動や生涯学習の活動を支援する施設として、市民の利用促進を図るとともに、安心して安全に利用できる施設の整備充実のため
手段(どのようなやり方で)	情報紙（北部地域文化センターだより）発行、自主事業ポスター・チラシ作成、ホームページの充実等により、施設の利用促進を広報（PR）するとともに、また、施設の経年劣化に対応するため、年次計画により施設の整備等を行うこと
成果(どのような状態にするのか)	文化芸術活動や生涯学習の拠点施設として市民の幅広い層に利用いただき、地域の文化振興について住民の参加意識が高まり、北部地域全体の文化力が向上する。

## 【コスト】

(単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	50,358	102,094	174,085	157,005	102,517	78,704	189,986
事業費	35,778	87,629	159,620	142,540	88,052	64,239	175,521
国庫支出金	0	22,165	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	16,633	0	90,300	50,100	0	0	97,500
その他	2,668	2,880	3,104	3,104	3,104	3,104	3,104
一般財源	16,477	62,584	66,216	89,336	84,948	61,135	74,917
人件費計	14,580	14,465	14,465	14,465	14,465	14,465	14,465
事務・技術(人)	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.55	0.55	0.55	0.55	0.55	0.55	0.55
会計年度任用(人)	2.90	2.90	2.90	2.90	2.90	2.90	2.90
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

# 事務事業評価シート（2/2）

809 頁  
令和 5年 9月 5日

整理番号 0270  
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 評価完了  
 所属 2469 教育委員会北部地域文化センター  
 事務事業番号 00812 北部地域文化センター運営事業

## 【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-50-25-05-17-00-01-00	北部地域文化センター運営事業費	教育委員会北部地域文化センター

## 【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動) ホール利用人数	人	20,000.00	16,000.00	12,000.00	17,000.00	17,000.00	17,000.00	17,000.00
		15,470.00	14,562.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動) ホール貸出件数	件	150.00	165.00	120.00	165.00	165.00	165.00	165.00
		183.00	146.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 利用者数対前年比	比	1.00	1.00	0.82	1.00	1.00	1.00	1.00
		1.46	0.94	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 稼働率	%	60.00	55.00	41.00	55.00	55.00	55.00	55.00
		59.00	61.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

## 【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	年間を通じて高齢者から子どもまで幅広い層の利用がある		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	施設改修による閉館日を考慮すると貸出件数は月7%増となった		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	新型コロナウイルスの影響を受け、少人数による催しが多かった		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	北部地域の文化芸術活動や生涯学習の拠点として貢献している		
評価理由			

## 【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	平成29年度から始めた新規自主事業の内容を毎年見直しするとともに、稼働率を上げながら使用料収入の増加につなげていく。また、年次計画により老朽化した施設の大規模な改修等を行い、今後とも継続して魅力ある事業を計画し推進していく。		

## 【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	北部地域の文化振興を担う拠点施設として、年次計画により施設の大規模改修を行いながら、魅力ある自主事業を推進するなかで、幅広いホール利用者の拡大につなげていく。また、本市他部局の事業の中には市内中心部で開催されるが、北部地域では開催されないものもあるため、庁内での連携を図ることにより、事業展開の拡大に努めていく。		



# 事務事業評価シート（1/2）

811 頁  
令和 5年 9月 5日

整理番号 0271  
 評価年度 令和 4年度  
 所属 2453  
 事務事業番号 00806

進捗区分 評価完了  
 所属長名 伊藤 善紀  
 記入者 伊藤 善紀

進捗区分 評価完了  
 教育委員会和邇文化センター  
 和邇文化センター管理運営事業

## 【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	003	生き生きと健康に過ごせるまちにします				
施策	009	生涯学習の推進				
取組の方向性	001	生涯にわたって学べる環境づくり				
事務事業	013	和邇文化センター管理運営事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			
根拠法令等	大津市和邇文化センター条例					
事業概要	(事業概要) 和邇文化センターは、市民の文化及び教養の高揚並びに芸術の振興に寄与するため貸館をはじめ関連する事業を実施している。同センターは昭和63年4月に旧志賀町民センターとして開館し、500席（固定席）のホールと20名収容の会議室がある。ホールはピアノや日本舞踊などの発表会や各種講演会などに活用されている。施設には、和邇支所や和邇すこやか相談所・和邇あんしん長寿相談所及び和邇コミュニティセンターが併設されている。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) ホールの利用状況は、社会構造の変化や少子高齢化の進展に加えて、新型コロナウイルス感染拡大防止対策が進む中、今後は、新たな視点により、利活用の促進や自主事業を開拓していく。 (見直しや改善等の経過) 当ホールは、座席が固定式で利用が限定されるが、ゆったりと観覧できるメリットを活かした舞台活用をアピールし利用促進を図っている。また、新型コロナウイルス感染防止対策が進展する中、新たな視点により多目的で幅広い利活用を図っている。					

## 【事業分析】

対象(何又は誰を)	市民及び関係団体
目的(何のために)	「自ら学ぶ」「自分で学ぶ」ことを基本とする生涯学習への関心の高まりと、個性を生かし多種多様化、高度化している人々の要求に対応するため。
手段(どのようなやり方で)	ホームページ、広報おつをはじめ、毎月発行の和邇文化センターだより等の広報媒体への掲載及び各種パンフレットの配布や自主事業の開催により周知に努める。
成果(どのような状態にするのか)	利用促進を図ることで、広く市民等に利用していただき生涯学習の場として貢献する。

## 【コスト】 (単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	35,036	61,000	104,047	130,383	40,344	36,644	40,144
事業費	25,065	52,417	92,842	118,950	28,911	25,211	28,711
国庫支出金	0	14,410	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	911	0	49,800	63,100	0	0	2,600
その他	2,207	2,962	2,223	2,223	2,425	2,425	2,425
一般財源	21,947	35,045	40,819	53,627	26,486	22,786	23,686
人件費計	9,971	8,583	11,205	11,433	11,433	11,433	11,433
事務・技術(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.88	0.38	0.84	0.88	0.88	0.88	0.88
会計年度任用(人)	1.57	2.07	2.07	2.07	2.07	2.07	2.07
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

# 事務事業評価シート（2/2）

812 頁  
令和 5年 9月 5日

整理番号 0271  
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 評価完了  
 所属 2453 教育委員会和邇文化センター  
 事務事業番号 00806 和邇文化センター管理運営事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-50-25-05-35-00-01-00	和邇文化センター管理運営事業費	教育委員会和邇文化センター

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)自主事業参加延べ人数	人	200.00	200.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00
		158.00	602.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)開館日数	日	291.00	291.00	292.00	293.00	292.00	291.00	291.00
		288.00	285.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)入館者数	人	4,700.00	8,000.00	10,000.00	12,000.00	14,000.00	16,000.00	16,000.00
		8,432.00	18,580.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)ホール稼働率	%	35.00	35.00	35.00	35.00	35.00	35.00	35.00
		25.00	40.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	市民や各種団体が日頃の成果を発表する機会や生涯学習の場が必要		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	舞台を多目的に利用した事業や会議等を推奨し、稼働率が向上		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	催物や発表の場だけでなく多種多様なホールの利活用を図っている		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	市民の生涯学習の拠点として貢献しており、市民の満足度は高い		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	社会構造の変化や少子高齢化の急速な進展に加えて、新型コロナウイルス感染症対応が日々変化する中、新たな視点に立って、催し物や発表会等だけでなく、各種会議や研修会など多種多様で多目的で幅広い利活用を図り、利用者の増加に努めたい。 また、施設や設備の老朽化が著しい中ではあるが、社会環境の変化に対応できるよう、計画的に更新整備を行い、顧客満足度をさらに向上させる。 さらに、自主事業を令和3年度より試験的に再開している、今後も新たな取り組みによる自主事業を積極的に開拓し、生涯学習の機会を計画的に提供して行く。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	生涯学習の場として、市民の期待と要望は、年々増々増大しており、今後の多種多様化する市民ニーズに応えるため、事業を確実に継続していく必要がある。財政状況厳しい中ではあるが、崇高な理念である「教育は人を育てる」を忘れず、更なる利用促進とサービスの向上に努めること。		



# 事務事業評価シート（1/2）

814 頁  
令和 5年 9月 5日

整理番号 0272  
 評価年度 令和 4年度  
 所属 2481  
 事務事業番号 00197

進捗区分 評価完了  
 所属長名 遠藤 健  
 記入者 古川 恵子

教育委員会科学館  
 科学館事業

## 【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画	
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります	
基本政策	003	生き生きと健康に過ごせるまちにします	
施策	009	生涯学習の推進	
取組の方向性	001	生涯にわたって学べる環境づくり	
事務事業	010	科学館事業	
新規継続区分	継続		
運営方法	直営		
評価区分	対象	主な取組区分	対象

根拠法令等	生涯学習センター条例 第3条		
事業概要	(事業概要) 児童・生徒や一般市民の科学への興味関心を育て、科学知識の普及や向上を図るため、下記の科学館事業を実施する。 ・サイエンス屋台村・わくわくサイエンス・科学講演会・星空観望会・昼間の星観察・太陽黒点観察・科学工作教室・子育て支援		
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 科学技術の進展が飛躍的に進む中であっても、基礎的な科学知識の未修得な状況や子どもの理科離れが見られるため、子どもが身近な自然や科学の現象に触れ、体感的に学び理解を深める機会が必要とされている。  (見直しや改善等の経過) 新型コロナの状況に応じて、参加定員や規模を縮小していたものを、徐々に復活させるべく、事業の進め方を工夫した。		

【事業分析】	
対象(何又は誰を)	幼児・児童・生徒及び一般市民を対象に、
目的(何のために)	科学への興味・関心を高め、科学知識の普及や向上を図るため、
手段(どのようなやり方で)	館内施設を活用した諸事業を企画することで科学に関する学習や体験の場を提供し、
成果(どのような状態にするのか)	科学の振興や科学知識の幅広い習得を図る。また、幼児から一般市民向けまで様々な年齢層を対象にした事業を実施することで、多様な年齢層の来館が見込める。

【コスト】		(単位：千円)						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
		決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト		5,102	5,068	5,805	5,922	5,892	5,942	5,892
事業費		1,140	1,126	1,538	1,655	1,625	1,675	1,625
国庫支出金		0	0	0	0	0	0	0
県支出金		0	0	0	0	0	0	0
地方債		0	0	0	0	0	0	0
その他		0	0	0	0	0	0	0
一般財源		1,140	1,126	1,538	1,655	1,625	1,675	1,625
人件費計		3,962	3,942	4,267	4,267	4,267	4,267	4,267
事務・技術(人)		0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10
技能労務(人)		0.00	0.00	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05
再任用(人)		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)		1.02	1.02	1.02	1.02	1.02	1.02	1.02
嘱託(人)		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費		0	0	0	0	0	0	0



# 事務事業評価シート（2/2）

815 頁  
令和 5年 9月 5日

整理番号 0272  
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 評価完了  
 所属 2481 教育委員会科学館  
 事務事業番号 00197 科学館事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-50-05-40-36-00-02-00	科学館事業費	教育委員会科学館

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)実施回数	回	100.00	150.00	150.00	150.00	150.00	150.00	150.00
		135.00	152.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)参加者数	人	2,000.00	3,100.00	4,200.00	4,200.00	4,200.00	4,200.00	4,200.00
		3,011.00	4,115.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	幼児や小中高生、大人まで、幅広い年齢層を対象としている		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	館内施設を活用した諸事業を企画し、多くの参加者を得た		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	B
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	限られた予算と人員の中で、職員の努力の度合いが大きい		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	多様な事業の実施とその内容により参加者の満足を得て、貢献した		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	withコロナから、afterコロナとなり、世間の活気が復活している。令和2年度、3年度、4年度と右肩上がり で事業の実績を上げてきた。引き続き令和5年度も、科学館の存在意義を認識しつつ、各事業を魅力的に実施し ていくことに取り組んでいく。 一方、令和2年度より会計年度任用職員制度が始まった。まさにコロナの情勢とともに科学館運営を適切に調整 して乗り越えてきたのだが、会計年度任用職員の現状の人員配置や勤務時間では、本来の科学館運営をするには 困難が伴うことが大きな課題である。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	科学教育の振興や普及を目的に、小学生を中心に、市民に対して多彩な科学現象や自然に触れる機会を提供し ている。このことが科学全般に対する興味や関心を高めることにつながり、今後も引き続き新たな創意工夫のもの と各種事業を展開していく。		



# 事務事業評価シート（1/2）

817 頁  
令和 5年 9月 5日

整理番号 0273  
 評価年度 令和 4年度  
 所属 2481  
 事務事業番号 02510

進捗区分 評価完了  
 所属長名 遠藤 健  
 記入者 古川 恵子

教育委員会科学館  
 科学の子育成事業

## 【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	003	生き生きと健康に過ごせるまちにします				
施策	009	生涯学習の推進				
取組の方向性	002	地域人材の育成				
事務事業	004	科学の子育成事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			
根拠法令等	生涯学習センター条例 第3条					

事業概要	(事業概要) 子どもたちに科学館施設を使った学習機会を設けると共に、科学やものづくりに興味・関心を持つ児童・生徒に対し、ものづくり活動や先端科学技術に触れる機会を提供する。 ・移動教室 ・大津少年少女発明クラブ ・I Fクラス ・出張科学教室				
------	---	--	--	--	--

事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 科学技術の進歩が著しい昨今においても児童生徒の理科離れの傾向が見られることから、魅力ある科学教室を実施し、科学に関する興味関心を高める取り組みが求められている。 (見直しや改善等の経過) 市内全小学校6年生にプラネタリウムや科学実験による理科授業を実施している。また、企業や大学の協力により、最先端の科学技術に触れる科学教室を実施している。コロナ対策のため、事業の一部中止や変更をして継続してきた。				
----------------------	--	--	--	--	--

## 【事業分析】

対象(何又は誰を)	幼児・児童・生徒を対象に、				
目的(何のために)	子どもたちの科学技術や自然環境に対する興味・関心を高め、生き生きと学びながら「生きる力」を育むため、				
手段(どのようなやり方で)	科学館施設を活用した学習や魅力ある科学教室、ものづくり活動や最先端の科学技術に触れる機会を提供し、				
成果(どのような状態にするのか)	科学やものづくりを身近に感じることで生活に密着した科学技術の有用性を理解し、さらに発展的な学習意欲の向上につなげる。				

## 【コスト】 (単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	6,086	6,198	7,546	7,937	7,937	7,937	7,937
事業費	2,822	2,966	3,989	4,380	4,380	4,380	4,380
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	1,869	1,051	1,100	0	0	0	0
一般財源	953	1,915	2,889	4,380	4,380	4,380	4,380
人件費計	3,264	3,232	3,557	3,557	3,557	3,557	3,557
事務・技術(人)	0.16	0.16	0.16	0.16	0.16	0.16	0.16
技能労務(人)	0.00	0.00	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.64	0.64	0.64	0.64	0.64	0.64	0.64
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

# 事務事業評価シート（2/2）

818 頁  
令和 5年 9月 5日

整理番号 0273  
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 評価完了  
 所属 2481 教育委員会科学館  
 事務事業番号 02510 科学の子育成事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-50-05-40-36-00-03-00	科学の子育成事業費	教育委員会科学館

【定量評価】 上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)実施回数	回	50.00	70.00	70.00	70.00	70.00	70.00	70.00
		62.00	79.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)参加者数	人	3,000.00	3,300.00	3,500.00	3,400.00	3,400.00	3,300.00	3,300.00
		2,929.00	3,626.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	学習指導要領で科学館やプラネタリウム等の活用が求められている		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	魅力ある移動教室、ものづくり、最先端の科学技術が実施できた		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	B
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	子どもの実態が変化してきており、効率的とはいえない		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	参加した児童たちの満足度が高い		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	「移動教室」は科学の子育成事業の中核となる事業で、令和4年度は全校実施ができた。さらに令和5年度は、選択希望制で実験を復活させて、さらなる充実を図っている。発明クラブやIFクラスについても、年々、子どもたちの実態の変化から、職員の負担が増える傾向にあるが、予算や手間をかけて、これらの事業を継続、充実させていくことが科学館の使命と考え、取り組んでいく。 一方で、科学館事業同様、令和2年度より始まった会計年度任用職員制度による会計年度任用職員の現状の人員配置や勤務時間では、事業の現状維持だけでも、なかなかの困難さを伴っていることが課題である。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	次代を担う子どもたちの科学技術や自然環境に対する興味や関心を高め、科学の基礎から先端までを学べる機会を提供することは大変意義深いものがあり、引き続き質の高い事業の実施に努めていく。将来的に人口減少により対象者の減少が見込まれるが、更なる創意工夫を凝らして施設の魅力向上に取り組んでいく。		



# 事務事業評価シート（1/2）

820 頁  
令和 5年 9月 5日

整理番号 0274  
 評価年度 令和 4年度  
 所属 2414  
 事務事業番号 00822

進捗区分 評価完了  
 教育委員会図書館  
 図書資料整備事業

所属長名 谷口 信子  
 記入者 松本 まどか

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	003	生き生きと健康に過ごせるまちにします				
施策	009	生涯学習の推進				
取組の方向性	001	生涯にわたって学べる環境づくり				
事務事業	003	図書資料整備事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			

根拠法令等	図書館法 読書バリアフリー法 大津市立図書館条例 大津市立図書館の管理運営に関する規則				
事業概要	(事業概要) 市民の読書要求に応え学習の機会を保障し、生活に根ざした知識・情報提供の拠点として、市民にとって常に魅力的で新鮮な蔵書構成を維持するために必要な図書、雑誌、郷土・行政資料、視聴覚資料、バリアフリー資料、オーディオブック、電子図書等の収集、保存、整備を行う。また、特に子どもの育ちを支援することに重点を置き、本を通して子どもの読書習慣や自ら学ぼうとする意欲の形成を支援する。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 市民生活と生涯学習を支援する社会教育施設として、利用者の多様化するニーズやコロナ後の状況を的確に把握しながら資料や情報提供すると共に、特に若者の活字離れが危惧される中、より一層の魅力ある資料の充実と提供が求められている。 (見直しや改善等の経過) 的確なニーズの把握に努めて利用者サービスの充実を図った。電子図書やオーディオブックを導入して非来館型電子図書館の導入や子ども読書活動推進に向けた児童書等の幼保小中学校及び子育て施設等への貸出用図書整備充実にも努めた。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	市民（市内在住、在勤、在学）を対象に
目的(何のために)	市民の読書要求に応え、生涯学習、教養、調査研究、レクリエーション等に資するため
手段(どのようなやり方で)	資料の収集、整理、保存、提供、除籍をすることで
成果(どのような状態にするのか)	市民一人ひとりが、自分の知りたい情報（内容）を有する図書を読み、仕事・勉強・生活に役立てることにより、市民の自己実現（個性を発揮し自分らしく活動できる）を図る。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	66,983	64,833	64,771	64,845	64,845	64,845	64,845
事業費	50,458	48,415	48,353	48,427	48,427	48,427	48,427
国庫支出金	7,599	3,489	3,000	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	50	74	45	45	45	45	45
一般財源	42,809	44,852	45,308	48,382	48,382	48,382	48,382
人件費計	16,525	16,418	16,418	16,418	16,418	16,418	16,418
事務・技術(人)	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	2.75	2.78	2.78	2.78	2.78	2.78	2.78
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

# 事務事業評価シート（2/2）

821 頁  
令和 5年 9月 5日

整理番号 0274  
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 評価完了  
 所属 2414 教育委員会図書館  
 事務事業番号 00822 図書資料整備事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-50-25-40-16-00-01-00	図書資料整備事業費	教育委員会図書館

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)蔵書数	冊	881,000.00	899,000.00	900,000.00	900,000.00	900,000.00	900,000.00	900,000.00
		891,443.00	894,364.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)図書貸出冊数	冊	1,394,000.00	1,518,000.00	1,518,000.00	1,518,000.00	1,518,000.00	1,518,000.00	1,518,000.00
		1,505,101.00	1,467,854.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)新規図書購入等冊数	冊	30,000.00	31,000.00	30,000.00	30,000.00	30,000.00	30,000.00	30,000.00
		33,644.00	30,265.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)開架に占める新規図書比	%	9.10	9.10	9.10	9.10	9.10	9.10	9.10
		8.40	7.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1	妥当性 実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
		評価理由	
2	有効性 事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	B
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
		評価理由	
3	効率性 事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
		評価理由	
4	施策への貢献度 施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
		評価理由	
		評価理由	

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	生涯学習の基盤となる市民にとって身近な社会教育施設として、多岐にわたる情報提供サービスの充実にに向けた幅広い資料の収集に努める。また、子どもの読書活動を推進するため、児童書を中心とした資料の充実を図るとともに、学校園等への団体貸出や移動図書館の出前特別巡回など、資料提供の拡大にも努めていく。さらに、高度化、多様化していく市民ニーズにも応えられるよう、新鮮で魅力ある資料収集に努めることにより貸出業務の充実を図っていく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	市民の読書要求に応え、学習の機会を保障するため、幅広い資料の確保に努め、さらに、子どもの読書活動の推進に寄与し、誰もが利用しやすい図書館を目指した資料の整備を図っていく。		





# 事務事業評価シート（1/2）

823 頁  
令和 5年 9月 5日

整理番号 0275  
 評価年度 令和 4年度  
 所属 2416  
 事務事業番号 00881

進捗区分 所属評価  
 所属長名 今井 公夫  
 記入者 橋本 正輝

進捗区分 所属評価  
 教育委員会少年センター  
 大津少年センター運営事業

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	003	生き生きと健康に過ごせるまちにします				
施策	010	青少年の健全育成				
取組の方向性	001	子ども・若者の健やかな育成				
事務事業	007	大津少年センター運営事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			

根拠法令等	大津市生涯学習センター条例・運営規則				
事業概要	(事業概要) 青少年の非行防止と健全育成を図るため、少年問題に関する情報・資料の収集や整備を行い、学校、地域、警察等関係機関との連携を図り、少年補導活動・相談活動・環境浄化活動・広報啓発活動、学校支援アドバイザー派遣事業等を推進する。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 少年の課題の背景は、本人の発達の特性や虐待・子育て不安など家庭の課題等、多様化している。さらには、これらの要因が複雑に絡み合っている場合もある。また、問題行動の低年齢化の傾向が見られ、不登校や引きこもりは教育課題となっている。 (見直しや改善等の経過) 複雑化し解決困難な相談ケースに対応するため、週1回ケース会議や支援会議、関係機関との連携会議を持ち、共通理解と職員の協働体制、生徒理解や支援についての研修による職員の指導力の向上を図ることで、相談者や学校等に対し適切な支援を組織的に行う体制作りを進めている。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	少年等20歳未満の者と対象として
目的(何のために)	少年の非行防止と健全育成を図るため
手段(どのようなやり方で)	相談活動の充実を図り、少年及び保護者に対する支援をあずくる活動や無職少年対策と連携し行うこと、また、各学校の状況を把握し、そのニーズや課題に応じて学校支援を行うこと、更には、学校、地域、警察等関係機関等と連携し、少年補導や立入調査を実施するとともに広報誌等の発行等を行い、少年問題や課題の市民の啓発を行なうことで
成果(どのような状態にするのか)	非行(犯罪やぐ犯行為)や問題行動の未然防止ができ、少年等の倫理意識の高揚とともに少年等の非行防止・健全育成に係る環境や機運の醸成が図られる社会の実現を図る。

【コスト】

(単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	18,405	18,148	18,304	18,283	18,047	18,074	18,101
事業費	1,992	1,895	2,051	2,030	1,794	1,821	1,848
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	230	230	230	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	1,762	1,665	1,821	2,030	1,794	1,821	1,848
人件費計	16,413	16,253	16,253	16,253	16,253	16,253	16,253
事務・技術(人)	0.80	0.80	0.80	0.80	0.80	0.80	0.80
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	3.23	3.23	3.23	3.23	3.23	3.23	3.23
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0





# 事務事業評価シート（1/2）

826 頁  
令和 5年 9月 5日

整理番号 0276  
評価年度 令和 4年度  
所属 8834  
事務事業番号 00882

進捗区分 所属評価  
教育委員会堅田少年センター  
堅田少年センター運営事業

所属長名 松井 昭浩  
記入者 松井 昭浩

## 【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	003	生き生きと健康に過ごせるまちにします				
施策	010	青少年の健全育成				
取組の方向性	001	子ども・若者の健やかな育成				
事務事業	008	堅田少年センター運営事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			
根拠法令等	北部地域文化センター条例・運営規則					
事業概要	<p>(事業概要)</p> <p>青少年の非行防止と健全育成を図るため、少年問題に関する情報・資料の収集や整備を行い、学校、地域、警察等関係機関との連携を図り、少年補導活動・相談活動・環境浄化活動・広報啓発活動等を推進する。</p>					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	<p>(事業を取りまく社会環境)</p> <p>少年の課題の背景は、本人の発達の特性や虐待・子育て不安など家庭の課題等、多様化している。さらには、これらの要因が複雑に絡み合っている場合もある。</p> <p>(見直しや改善等の経過)</p> <p>複雑化し解決困難な相談ケースに対応するため、週1回ケース会議や支援会議、関係機関との連携会議を持ち、共通理解と指導員の研鑽を深め、相談者や学校等に対し適切な支援を組織的に行う体制作りを進めている。</p>					

## 【事業分析】

対象(何又は誰を)	少年（20歳未満の者）を対象に
目的(何のために)	少年の非行防止と健全育成を図るため
手段(どのようなやり方で)	学校、地域、警察等関係機関と連携を図り、少年補導と実態把握をして学校支援を行うこと、また、相談活動の充実で少年及び保護者に対する支援を行うこと、更に、広報誌の発行等、少年問題に対する市民への啓発を行うこと
成果(どのような状態にするのか)	少年の非行（犯罪やぐ犯行為）の未然防止ができ、少年の倫理意識の高揚が図られる社会の実現を図る。

## 【コスト】

(単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	14,155	14,183	14,188	14,109	14,103	13,992	14,103
事業費	1,012	1,126	1,131	1,052	1,046	935	1,046
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	230	230	230	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	782	896	901	1,052	1,046	935	1,046
人件費計	13,143	13,057	13,057	13,057	13,057	13,057	13,057
事務・技術(人)	0.43	0.43	0.43	0.43	0.43	0.43	0.43
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	3.13	3.13	3.13	3.13	3.13	3.13	3.13
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

# 事務事業評価シート（2/2）

827 頁  
令和 5年 9月 5日

整理番号 0276  
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 所属評価  
 所属 8834 教育委員会堅田少年センター  
 事務事業番号 00882 堅田少年センター運営事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-50-25-30-40-00-07-00	堅田少年センター運営事業費	教育委員会少年センター

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)街頭補導回数	回	301.00	283.00	251.00	251.00	251.00	251.00	251.00
		215.00	185.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)少年相談件数	件	465.00	394.00	387.00	387.00	387.00	387.00	387.00
		397.00	371.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)相談の結果改善がみられた人数	人	15.00	15.00	15.00	15.00	15.00	15.00	15.00
		16.00	12.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
	C あまり妥当ではない		
	D 妥当ではない		
評価理由	相談支援や学校支援、環境浄化の取組が適切に行われている		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
	C あまり上がっていない		
	D 上がっていない		
評価理由	学校や警察等関係機関と連携した取組が効果的に行われている		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
	C あまり効率的でない		
	D 効率的でない		
評価理由	少年支援や環境改善の取組が組織的・効果的に行われている		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
	C あまり貢献していない		
	D 貢献していない		
評価理由	支援や環境改善の取組が、少年非行防止と健全育成に寄与している		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	日常の相談活動を通して個々の課題やニーズを把握し課題のある少年や保護者への支援につながるよう努める。また、学校、地域、警察等関係機関と連携し、補導活動、環境浄化活動を通して、地域の見守りや健全に成長できる環境の醸成に努めるとともに、広報啓発活動を推進することにより健全育成や非行防止の機運を高め、少年問題や課題の市民の啓発を行なう。そして、ケース会議等で支援の方向性や問題点を分析し、積極的に学校、保護者、少年等に寄り添いながら粘り強く支援する。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	相談活動を通じての、少年や保護者支援、学校支援アドバイザー派遣事業や職員による学校支援は、少年等の健全育成に寄与している。また、補導活動、環境浄化活動を通じて、少年等の健全育成に資する地域環境や機運の醸成を図ることは少年等の非行防止や健全育成における重要な取り組みである。今後も粘り強く、非行防止・健全育成に努めていく事が必要であり、更なる充実を図りたい。		

